

健康福祉学科教育課程

(令和6年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義 演習 実習の別	単位数		担当教員名 () 内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目										備考	
						1 学 年		2 学 年		介護職員 初任者研修	社会福祉 主事任用 試験	介護福祉 士受験 要領	介護福祉 士実務 試験	介護福祉 士実務 試験 補修	介護福祉 士実務 試験 補修	介護福祉 士実務 試験 補修	介護福祉 士実務 試験 補修	介護福祉 士実務 試験 補修	介護福祉 士実務 試験 補修		
						前期	後期	前期	後期												
健康福祉学科	健康福祉論	講	1		中 島	1														8 回	
	運動と健康	講	1		小 椋	1														8 回	
	健康スポーツ	演	1		小 椋	2															
	アクティビティ概論	講		2	小 椋																
	人間の尊厳と自立	講		2	吉牟田			2													
	現代社会と人間Ⅰ	講		1	担当教員	1														8 回	
	現代社会と人間Ⅱ	講		1	担当教員	1														8 回	
	コミュニケーション論	講	2		小 平	2															
	チームマネジメントの基礎	講		2	小 平			2													
	人間と情報	講	2		春 名	2															
	情報処理演習Ⅰ	演	1		吉牟田	2															
	情報処理演習Ⅱ	演	1		吉牟田		2														
	ボランティア演習	演	1		関		2														
	教養演習	演	1		吉牟田・専任全員	2															
外国語	英 語	演	1		山西(ホズリー)	2															
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	山 田			2													
小 計			12	10		14	2	4	2	0	4	0	2								
専門福祉分野	介護福祉論Ⅰ	講	2		奥 野	2															
	介護福祉論Ⅱ	講	2		関		2														
	チームワークと多職種連携	講		2	井 上				2												
	感染症予防とリスクマネジメント	講		2	(平 田)				2												
	介護従事者の安全	講		2	(矢 後)				2												
	介護予防論	講		2	小 椋				2												
	コミュニケーション技術Ⅰ	演	1		関	2															
	コミュニケーション技術Ⅱ	演	1		(定塚・山崎)	2															
	生活支援技術Ⅰ	演	2		井 上	4															
	生活支援技術Ⅱ	演	1		奥 野		2														
	生活支援技術Ⅲ	演		1	井 上			2													
	生活支援技術Ⅳ	演		1	(大 掛)			2													
	生活支援技術Ⅴ	演	1		奥 野		2														
	生活支援技術Ⅵ	演		2	中島・(松島)				4												
	生活支援技術Ⅶ	演	1		(川 端)				2												
	生活支援技術Ⅷ	演		1	奥 野				2												
	介護過程Ⅰ	演	1		井 上	2															
	介護過程Ⅱ	演		1	井 上			2													
	介護過程Ⅲ	演		2	奥 野				4												
	介護過程Ⅳ	演		1	奥 野				2												
	実習指導Ⅰ	演	1		井上・中島・関・小椋・奥野	2															
	実習指導Ⅱ	演		1	井上・中島・関・小椋・奥野			2													
	実習指導Ⅲ	演		1	奥野・中島・関・小椋・井上				2												
	実習指導Ⅳ	演		1	奥野・中島・関・小椋・井上				2												
	基礎実習Ⅰ－1	実	1		井上・中島・関・小椋・奥野	*															
	基礎実習Ⅰ－2	実	1		井上・中島・関・小椋・奥野			*													
	介護計画実習	実	3		井上・中島・関・小椋・奥野			*													
	介護過程実習	実	3		奥野・中島・関・小椋・井上				*												
	多職種連携実習	実		2	奥野・中島・関・小椋・井上				*												
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	講	2		中島・(白井)	2															
	こころとからだのしくみⅡ	講	2		(白 井)	2															
	こころとからだのしくみⅢ	講		2	(白 井)			2													
	こころとからだのしくみⅣ	講		2	(金 谷)				2												
	発達と老化の理解Ⅰ	講	2		中島・(堀)	2															
	発達と老化の理解Ⅱ	講	2		(山 本)			2													
	認知症ケア論Ⅰ	講	2		(四 日)			2													
	認知症ケア論Ⅱ	講		2	井上・(松島)				2												
	障害者ケア論Ⅰ	講	2		中 島	2															
	障害者ケア論Ⅱ	講		2	中 島			2													
医療的ケア	医療的ケアⅠ	講		4	中島・(松居)				4												
	医療的ケアⅡ	演		1	中島・(松居)				4												

区 分	授業科目		講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目											備 考
							1 学 年		2 学 年		介護職員 初任者研 修	社会福祉 主事任用 試験	介護福祉 士受験 資格	介護福祉 士実務 試験	介護福祉 士実務 試験 補修	介護福祉 士実務 試験 補修 2	介護福祉 士実務 試験 補修 3	介護福祉 士実務 試験 補修 4	介護福祉 士実務 試験 補修 5	介護福祉 士実務 試験 補修 6	介護福祉 士実務 試験 補修 7	介護福祉 士実務 試験 補修 8
							前 期	後 期	前 期	後 期												
専 門 科 目	人間と社会 ソーシャルワーク分野	社会 保 障 論	講	2		小 平	2															
		高 齢 者 福 祉 論	講	2		関			2													
		障 害 者 福 祉 論	講	2		関			2													
		児 童 家 庭 福 祉 論	講	2		明 柴			2													
		地 域 福 祉 論 I	講	2		関				2												
		地 域 福 祉 論 II	講	2		関				2												
		ソーシャルワークの理論と方法-1	講	2		(村 上)			2													科目履修
		ソーシャルワークの理論と方法-2	講	2		(村 上)				2												科目履修
	福祉ビジネス分野	福 祉 ビ ジ ネ ス	講	1		小 平				1												※福祉ビジネス分野選択者は全て履修すること
		介 護 事 務 概 論	講	1		小 平		1														8回
		介 護 事 務 演 習	演	1		(松 島)		2														8回
		医 療 事 務 概 論	講	1		小 平			1													
		医 療 事 務 演 習	演	1		(小 野)			2													
		介 護 福 祉 経 営 論	講	2		小 平				2												
		医 療 ・ 福 祉 と ICT	講	2		吉 牟 田				2												
		富山型福祉特別講義	講	1		小 平				1												8回
		インターンシップ	演	1		小平・吉牟田		*														
	キャリア支援	介護福祉総合演習	演	1		吉牟田・専任全員				2												
		キャリアデザイン演習	演	1		小 平	2															
	総合支援	総 合 的 研 究	演	2		吉牟田・専任全員		2		2												
	小 計			36	63		26	0	12	15	8	27	0	30								
	計			48	73		40	2	16	17	8	31	0	32								

◎必修科目 ○選択科目 (推奨)

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護福祉論					
関連科目	障害者福祉論、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護職が活躍する介護サービスなどを俯瞰し、介護福祉士を取巻く状況と歴史を紐解き、介護福祉の基本となる尊厳と自立について学習します。介護福祉士の役割と専門性、職業倫理、安全の確保など専門職のあるべき姿を学ぶ。								
学習目標	1．介護職がかかわる多様なサービスを理解することができる。 2．介護福祉士を取り巻く状況から介護問題の背景について説明できる。 3．「尊厳を支える介護」や「自立に向けた介護」について、具現化できる。 4．専門職としての役割や職業倫理など、理解することができる。								
キーワード	介護の仕事の魅力、介護福祉士、介護サービス、尊厳の保持、多職種、自己の健康管理								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	わが国の介護福祉の歴史や関連する法律、および社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景や介護の定義、義務規定など、介護福祉士を取り巻く状況に関する知識を有する。また、尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理								
LO-2	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技能を有する								
LO-3	介護福祉の基本となる理念の理解と、介護福祉の専門性と倫理の理解を基盤にした思考力・判断力・表現力を備える。								
LO-4	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、多職種等への関心・意欲等を有する。								
LO-5	介護福祉士としての倫理に基づき、尊厳の保持や自立支援を尊重できる人間性・社会性を備える。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60		10				100
LO-1		30							30
LO-2			20						20
LO-3					10				10
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	小テストの解答は、模擬解答を示し解説する。授業の中で、グループワークやディスカッションを実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	職務の理解 介護職の魅力と多様なサービスの理解	
	【予習】介護職のイメージを考えてくる。	90分
	【復習】介護保険サービスの種類についてまとめる	90分
第2回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解（１）介護保険サービスなど	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2～31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した介護サービスの内容をまとめる	90分
第3回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解（２）介護保険サービスなど	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2～31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した介護サービスの内容をまとめる	90分
第4回	職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解（３）障がい者福祉サービスと地域における障がい者のスポーツ、余暇活動の取組みや推進状況などを理解	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2～31を読んでくる	90分
	【復習】本日授業で説明した障がい者福祉サービスの内容をまとめる	90分
第5回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉を取り巻く状況	
	【予習】介護の基本 テキストP2～19を読んでくる。	90分
	【復習】介護福祉を取り巻く状況の変化について整理する。	90分
第6回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉の歴史	
	【予習】介護の基本 テキストp21～51を読んでくる	90分
	【復習】本日の授業で解説した内容をまとめる。	90分
第7回	介護福祉の基本となる理念 介護福祉の歴史	
	【予習】これから起こりうる介護問題を考えてくる。	90分
	【復習】本日の授業で解説した内容をまとめる。	90分
第8回	人権と尊厳を支える介護 人権と尊厳の保持、ICF	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp44～67を読んでくる	90分
	【復習】尊厳の意味とその内容をまとめる。	90分
第9回	人権と尊厳を支える介護 QOL, ノーマライゼーション、虐待防止など	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp44～67を読んでくる	90分
	【復習】ノーマライゼーションの意味と内容をまとめる。	90分
第10回	自立に向けた介護 自立支援	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp68～75を読んでくる	90分
	【復習】自立支援のポイントをまとめる。	90分

第11回	自立に向けた介護 介護予防	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp 7 6 ～ 7 9を読んてくる	90分
	【復習】介護予防の視点をまとめる。	90分
第12回	介護の基本 介護職の役割、専門性と多職種連携	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp 8 4 ～ 1 0 1を読んてくる	90分
	【復習】介護の専門性と介護環境の特徴について理解を深める	90分
第13回	介護の基本 介護職の職業倫理	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp 1 0 2 ～ 1 0 5を読んてくる	90分
	【復習】介護職が守るべき行動倫理をまとめる。	90分
第14回	介護の基本 介護における安全の確保とリスクマネジメント 安全の確保、リスクマネジメント	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp 1 0 6 ～ 1 1 7を読んてくる	90分
	【復習】リスクマネジメントの必要性と起こりうる弊害をまとめる。	90分
第15回	介護の基本 介護従事者の安全 介護従事者を守る団体と法制度、環境の整備、心身の健康管理	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp 1 1 8 ～ 1 2 9を読んてくる	90分
	【復習】1回目から15回目まで復習をする	90分

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論		後継科目	介護従事者の安全、介護予防論					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護の基本では、介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その役割と機能である、介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、多職種連携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を理論的に学ぶ。								
学習目標	１．複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解できるようにする。 ２．地域や施設・在宅の場や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、介護福祉士の役割と機能を理解できるようにする。								
キーワード	生活を支えるしくみ、介護従事者の倫理、安全の確保、リスクマネジメント、個人の権利								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 ３ 「介護の基本」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座 ４ 「介護の基本」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、多職種連携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を理論的に理解できる。								
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。								
LO-3	尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解でき、それをもとに物事を考え、判断し、表現することができる。								
LO-4	新聞やＴＶなど報道を通して介護福祉を取巻く最新情報を自ら入手し、発表できるなど、授業への意欲や関心を有する。								
LO-5	複雑化・多様化・高度化する介護ニーズ及び介護福祉を取り巻く状況を社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	「その他」とは授業態度を意味します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 フォーマルサービス 介護保険制度の目的・動向	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護サービスや地域連携等、フォーマルな支援を理解できたかふりかえる。	90分
第2回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 フォーマルサービス 介護保険制度のしくみの基礎理解	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】フォーマルサービスについてまとめる。	90分
第3回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 フォーマルサービス 介護保険制度の財源や組織、団体の機能と役割	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】【復習】介護保険を支えるしくみへの理解を深める。介護保険に関係する組織・団体についてまとめる。	90分
第4回	「介護の基本」第4章 協働する多職種の機能と役割 第3節、第4節 医療との連携とリハビリテーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】【復習】医療職の役割への理解を深める。多職種連携・協働について理解を深める。	90分
第5回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 障害者支援のサービス 障害者福祉制度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】障害者福祉サービスの活用について理解を深める。	90分
第6回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第2節 障害者総合支援法	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】障害者総合支援法の全体について理解を深める。	90分
第7回	「介護の基本」第1章 介護福祉の基本となる理念 第3節 介護福祉の基本理念 人権と尊厳を支える介護	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】個人の尊厳を守る制度について整理しておく。	90分
第8回	「介護の基本」第1章 介護を必要とする人の理解 第1節 私たちの生活の理解 生活の個性と多様性、	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】高齢者の生活について整理しておく。	90分
第9回	「介護の基本」第1章 介護を必要とする人の理解 第2節 介護福祉を必要とする人たちの暮らし 障害者の生活、家族介護者の理解と支援	
	【予習】テキストの街頭ページを読んでくる。	90分
	【復習】総会社の暮らしについて整理しておく。	90分
第10回	「介護の基本」第1章 介護を必要とする人の理解 第3節 その人らしさと生活ニーズの理解、第4節 生活のしづらさの理解と支援 生活ニーズへの支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】その人と家族介護者への支援を整理しておく。	90分

第11回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第3節 インフォーマルサービス	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護分野のインフォーマルサービスを整理しておく。	90分
第12回	「介護の基本」第2章 介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 第4節 地域連携	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】地域連携に関わる機関の役割について整理しておく。	90分
第13回	「介護の基本」第2章 介護福祉士の役割と機能 第1節 社会福祉士及び介護福祉士法、第2節 介護福祉士の活動の場と役割	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護人材の中核となるリーダーとしての役割、地域共生社会と介護福祉士の役割、介護予防と介護福祉士の役割、災害と介護福祉士の役割、人生の最終段階と介護福祉士の役割、医療的ケアと介護福祉士の役割を整理する。	90分
第14回	「介護の基本」第2章 介護福祉士の役割と機能 第3節 介護福祉士に求められる役割とその養成、第4節 介護福祉士を支える団体	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】地域や施設・在宅の場や、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における、介護福祉士の役割と機能を整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】該当箇所を読んで、興味関心時について深めてくる。	90分
	【復習】これまでの配布資料の内容を整理しておく。	90分

授業科目名	介護従事者の安全			科目コード	W111-12				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	矢後 正乃					
実務経験	介護老人福祉施設、居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基本知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉概論 介護福祉論		後継科目						
関連科目	介護福祉分野								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	介護従事者のこころと身体の健康管理や労働環境の管理について学ぶ								
学習目標	介護従事者として心身共に健康に介護を実践するための健康管理や労働環境の管理が理解できる								
キーワード	こころの健康管理 身体の健康管理 労働環境の管理								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本 中央法規出版株式会社								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護従事者として知っておくべき心身の健康や安全を守るための労働環境についての知識を十分に有している								
LO-2	自己の日常生活や実習に基づく経験から、心身の健康や安全を守るための予防対策の体験を聞き手(読み手)が追体験できるように描写することができる								
LO-3	自己の心身の健康や安全について、他者の経験や意見を自分事として捉え、グループワークでの意見を参考に自己評価・分析することができる								
LO-4	自己分析を基に、より良い心身の健康や安全を守るための予防対策をとるために、今後自分は何をどうするのか行動計画を記述することができる								
LO-5	自己と異なる意見も多様性として尊重し、発表内容について質問し、受容、共感したことを表現できる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		15	75			10			100
LO-1		15							15
LO-2			15						15
LO-3			30						30
LO-4			30						30
LO-5						10			10
備考	発表内容、レポートについてコメントする グループワーク、プレゼンテーションを実施								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 働く人の健康や生活を守る法制度	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第2回	介護従事者の健康問題	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第3回	健康に働くための健康管理	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第4回	ストレスとこころの健康との関係	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第5回	介護従事者のこころの病気と管理方法	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第6回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】グループ発表の準備	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第7回	介護従事者の身体の健康障害の現状と要因	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第8回	介護従事者の身体の健康管理	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第9回	介護従事者の身体の健康管理	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第10回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】授業を振り返り整理する	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分

第11回	労働条件の整備 けがを防ぐための労働環境の予測	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第12回	けがを防ぐための労働環境の予測	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第13回	けがを防ぐための環境の改善	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第14回	けがを防ぐための環境の改善	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分
第15回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】グループ発表の準備	90分
	【復習】授業を振り返り整理する	90分

[illegible]

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み フォーマルサービス	
	【予習】テキストP48～P60まで読む	90分
	【復習】フォーマルサービスである介護保険サービスの特徴をまとめる	90分
第2回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み インフォーマルサービスと地域連携	
	【予習】テキストP61～P82まで読む	90分
	【復習】インフォーマルサービス、地域連携についての基本的知識をまとめる	90分
第3回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて	
	【予習】他職種協働・連携を要請する社会の動きについて調べる	90分
	【復習】全国で展開された事例についてまとめる	90分
第4回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて 発表	
	【予習】全国で展開された事例についてまとめる	90分
	【復習】他職種協働・連携を要請する社会の動きについて理解を深める	90分
第5回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者について調べる グループワーク	
	【予習】社会福祉士、介護支援専門員など、保健・医療・福祉職の職種について調べる	90分
	【復習】福祉職の職種とサービスについて考える	90分
第6回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者について調べる グループワーク	
	【予習】社会福祉士、介護支援専門員など、保健・医療・福祉職の職種について調べる	90分
	【復習】医療職とサービスについて考える	90分
第7回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者についてプレゼンする グループ発表	
	【予習】発表を聴く人に伝わりやすいプレゼンテーション方法を考える	90分
	【復習】リハビリに関する職種とサービスについて考える	90分
第8回	保健・医療・福祉職の役割と機能 介護を必要とする人を支えるさまざまな職種についての確認とサービス連携	
	【予習】第7回でプレゼンテーションをした職種について理解を深める	90分
	【復習】介護を必要とする人を支える職種とチームについて考える	90分
第9回	介護実践の場で他職種協働・連携が求められる意義、多職種連携・協働を成功させるチームづくり	
	【予習】テキストP144～P162まで読む	90分
	【復習】他職種協働・連携を必要とする社会の動きを整理する	90分
第10回	【特別講義】多職種連携・協働を成功させるチーム作り	
	【予習】テキストP152～P162まで読む	90分
	【復習】他職種との協働・連携が必要な理由をまとめる	90分

第11回	【特別講義】多職種連携・協働に求められるコミュニケーション能力	
	【予習】テキストP163～P162まで読む	90分
	【復習】コミュニケーションスキルについてまとめる	90分
第12回	【特別講義】多職種連携・協働の実際	
	【予習】地域ケア会議について調べる	90分
	【復習】地域で生活する人を支えるチームケアの具体例を考える	90分
第13回	【特別講義】多職種連携・協働の実際	
	【予習】施設ケアに関わるチームについて調べる	90分
	【復習】施設におけるチームケアの事例を考える	90分
第14回	【特別講義】多職種連携・協働の実際	
	【予習】地域包括支援センターの役割を調べる	90分
	【復習】地域包括支援センターでの事例を考える	90分
第15回	まとめ	
	【予習】テキスト、資料をまとめる	90分
	【復習】試験に備えてポイントをまとめる	90分

授業科目名	感染症予防とリスクマネジメント			科目コード	W111-14				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	平田 洋介 奥野 勝太					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を展開する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 ・ 介護福祉論		後継科目						
関連科目	チームワークと他職種協働 介護従事者の安全 介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解するとともに、安全の確保のための基礎的な知識や事故への対応を学ぶ。								
学習目標	介護における安全の確保とリスクマネジメント、感染症対策を学び、理解する。								
キーワード	安全の確保 事故防止 安全対策 感染対策 ポリファーマシー								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 介護の基本 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	セーフティマネジメントの考え方を理解し、福祉サービスに求められる安心や安全、介護福祉士に必要な感染に関する正しい知識を十分に身につけている。								
LO-2	自己の日常生活や実習に基づく体験から安全対策や感染症対策の体験を聞き手（読み手）が追体験できるように描写することができる。								
LO-3	他者の体験や意見を自分事としてとらえ、グループワークでの意見を参考に自己を評価・分析することができる。								
LO-4	自己分析を基に、よりよい安全対策や感染症対策をとるために、自分は今日から何をどうするのか行動計画を記述することができる。								
LO-5	自己と異なる意見も多様性として尊重し、発表内容について質問したり、受容・共感したことを表現できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		16	75			9			100
LO-1		16							16
LO-2			15						15
LO-3			30						30
LO-4			30						30
LO-5						9			9
備考	発表内容、レポートにコメントする。 「右記のアクティブラーニングを授業で実施します：PBL、グループワーク、プレゼンテーション、リフレクション」								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション セーフティマネジメントの考え方	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第2回	自分のヒヤリとした場面をもとにセーフティマネジメントを考える	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】発表の準備	90分
第3回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第4回	尊厳ある暮らしの継続のためのリスクマネジメント	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第5回	身体拘束について	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第6回	福祉サービスに求められる安全・安心	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第7回	予測する力	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第8回	予測する力	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第9回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】発表の準備	90分
第10回	感染対策に必要な知識	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分

第11回	感染症対策	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第12回	事故防止・予防のための対策	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第13回	事故防止・予防のための対策	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第14回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】発表の準備	90分
第15回	まとめ	
	【予習】テキスト全体と、配布資料を振り返る	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分

授業科目名	介護予防論			科目コード	W111-15				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康の分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 介護福祉論 高齢者福祉論		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論 認知症ケア論 生活支援技術 生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護予防運動トレーナー								
授業の概要	(1)高齢者の生活と運動、介護予防に関する基礎的な知識を学ぶ。 (2)福祉(介護福祉)職として、知見しとくべきリハビリテーション、健康支援・介護予防の考え方と基礎的知識を学ぶ。 (3)介護予防運動トレーナーに必要な理論を学ぶ。								
学習目標	(1)高齢者の健康と運動について介護予防と関連させて理解する。 (2)介護予防運動トレーナーに求められる諸理論を理解する。 (3)介護予防の展開プログラムについて理解する。 運動(CGT、体操等)、身体レクリエーション...等。								
キーワード	介護予防、機能訓練、健康支援、リハビリテーション								
テキスト・ 参考書等	介護予防運動トレーナー養成テキスト(改訂2版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象となる施設利用者・地域で暮らす人々に、介護予防による運動・健康支援に必要な基礎理論について十分に理解している。								
LO-2	【技能】基礎となる理論を理解したうえで、介護予防における必要な運動の技能を有する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】基礎となる理論を理解したうえで、体力の状況や身体的な変調に対する対応能力を備える。								
LO-4	【関心・意欲・態度】介護予防に必要な理論や技術力に対し、積極的に学ぼうとする興味や関心を有する。								
LO-5	【人間性・社会性】介護従事者として、対象者への社会的・身体的な配慮をしたうえで、介護予防による運動・健康支援への態度を養う。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60				40			100
LO-1		60							60
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他 A については、個別・グループワークでの活動・課題の提出に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 介護予防重要性和背景、資格制度	
	【予習】シラバスをみておく	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第2回	リハビリテーション - 目的・体系と領域 -	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】ノートを整理しておく	90分
第3回	廃用症候群、老年症候群	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストを振り返る	90分
第4回	高齢者筋力向上トレーニングと転倒予防(1)	
	【予習】テキストで関連項目の範囲を読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第5回	高齢者筋力向上トレーニングと転倒予防(2)	
	【予習】前回の配布資料とテキストを読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第6回	高齢者筋力向上トレーニングと転倒予防(3)	
	【予習】前回の配布資料とテキストを読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第7回	健康行動科学	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストの範囲を読む	90分
第8回	低栄養予防理論	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストの範囲を読む	90分
第9回	まとめと小テスト	
	【予習】これまでの配布資料とテキストの範囲、練習問題を読んでおく	90分
	【復習】配布資料とテキストで振り返る	90分
第10回	介護予防におけるウォームアップ	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストを読んでおく	90分

第11回	介護予防における身体レクリエーション	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストを読んでおく	90分
第12回	ストレッチングとトレーニング(1) - 座位・つかまり立ち・立位 -	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】本時で気づいたことを中心に配布資料と教科書を読んでおく。	90分
第13回	ストレッチングとトレーニング(2) - プログラムと運動指導 -	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】本時で気づいたことを中心に配布資料と教科書を読んでおく。	90分
第14回	体力測定方法(1)	
	【予習】テキストを読んでおく	90分
	【復習】配布資料、テキストを読んでおく。	90分
第15回	体力測定方法(2) - 評価方法とまとめ -	
	【予習】前回の配布資料とテキストを読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を生かして、介護福祉士として必要な知識と技術を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ　　。								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目　介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデルや実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜小テストを行い、技術や知識を確認していきます。								
学習目標	1.生活支援の目的・方針を理解する　2.介護の必要性や根拠を考え、理解することができる　3.「住環境の整備」「移動」「身じたく」「食事」「排泄」の意義・目的を理解し、自立に向けた基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術、移動・移乗、身じたく、食事、排泄								
テキスト・ 参考書等	最新　介護福祉士養成講座6「生活支援技術　」中央法規出版　「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活支援の理解 介護の基本的な考え方 理論に基づく介護	
	【予習】テキスト目次を確認する。	90分
	【復習】配布されたプリントを確認する。心地よい環境について考える	90分
第2回	生活支援の理解 介護の基本的な考え方 理論に基づく介護 ICFの視点	
	【予習】生活について考える	90分
	【復習】ICFについて考えたことをまとめる	90分
第3回	介護の基本的な考え方 法的根拠にもとづく介護	
	【予習】テキストを確認する 初任者テキストP7～P9	90分
	【復習】テキスト、資料の復習しておく。	90分
第4回	自立に向けた家事の介護 生活と家事	
	【予習】初任者テキストP66～P91までを読む	90分
	【復習】生活にしずらさがある人が少しでも一人でできる方法を考える	90分
第5回	自立に向けた居住環境の整備 快適な居住環境整備と介護	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第6回	自立に向けた身じたくの介護 身体状況に合わせた衣服の選択・着脱	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第7回	自立に向けた身じたくの介護 身体状況に合わせた衣服の選択・着脱 整容	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】家事方法についてまとめる	90分
第8回	身じたく、整容行動（洗面、口腔ケア）	
	【予習】口腔ケア、洗面についてテキストで確認する	90分
	【復習】介護が必要な人が、みじたくを整えることについてどのような意義があるのかを考える	90分
第9回	身じたく、整容行動のケア	
	【予習】爪切り、整髪、髭剃り、メイクについて調べる	90分
	【復習】身だし並みのケアを実施する際のポイントをまとめる	90分
第10回	洗面の介護 ベッドメイキング	
	【予習】ベッドメイキングの方法を確認する 洗面の必要性などについて考える	90分
	【復習】自宅で自分の寝床を快適なものにする ベッドメイキングを手際よく、シワのない出来上がりに仕上げる 洗面のポイントをまとめる	90分

第11回	自立に向けた移動・移乗の介護	
	【予習】移動・移乗の基礎知識について教科書で確認する。	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる	90分
第12回	自立に向けた移乗。移動の介護	
	【予習】介護が必要な人の、ベッド上での体の動かし方を考える	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる 水平移動・上方移動・側臥位	90分
第13回	移動・移乗に関する基礎知識	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第14回	自立に向けた移動の介護 基本的な身体動作、ベッド上での寝返り動作等	
	【予習】こころとからだのしくみのテキストを用意し読む。(骨格・筋肉)	90分
	【復習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
第15回	シーツ交換の確認テスト実施 自立に向けた移動の介護 起き上がり・立ち上がりから歩行動作介助を学びます。	
	【予習】前回の復習。シーツ交換の練習 イメージトレーニング	90分
	【復習】ベッドメイキングの自己評価を行う。 ベッド上の動作の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第16回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第17回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第18回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第19回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第20回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分

第21回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第22回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分
第23回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第24回	口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防	
	【予習】安全に食事をするための工夫についてまとめておく	90分
	【復習】実技をととしての学びをまとめる	90分
第25回	排泄に関する基礎知識	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第26回	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義・目的、排泄介護の実際・トイレ誘導	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第27回	課題事例による演習 前期末実技試験オリエンテーション	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第28回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第29回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第30回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目	生活支援技術 、生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデル実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜テストを行い、技術や知識を確認していきます。講義やグループワーク・演習をとおしてよりよい支援を考え実践できるように、学習していきます。								
学習目標	1.安全・安楽、プライバシーに配慮し、自立に向けた基本的な介助方法を習得する。2.介護の必要性や支援の根拠を考え、理解することができる。3.「身じたく」「清潔」「排泄」「睡眠」介護の意義・目的を理解し、自立を支援する基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	入浴、清拭、ポータブルトイレ、電法								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 6「生活支援技術」 中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座 7「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自立に向けた排泄の介護 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第2回	自立に向けた排泄の介護 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第3回	自立に向けた排泄の介護 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】介助方法についてまとめる	90分
第4回	自立に向けた排泄の介護 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第5回	自立に向けた排泄の介護 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第6回	休息・睡眠の介護	
	【予習】寝不足になった時の状態を考える。	90分
	【復習】快適な睡眠の効果を振り返る	90分
第7回	休息・睡眠の介護	
	【予習】テキストを確認	90分
	【復習】観察の復習	90分
第8回	休息・睡眠の介護	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第9回	人生の最終段階における介護 終末期に関する基礎知識	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第10回	総合生活支援技術演習 事例演習 排泄にこだわりがある人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分

第11回	総合生活支援技術演習 事例演習 排泄にこだわりがある人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第12回	総合生活支援技術演習 事例演習 外出希望の人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第13回	総合生活支援技術演習 事例演習 外出希望の人への支援	
	【予習】テキストの確認	90分
	【復習】観察とポイントの復習	90分
第14回	総合生活支援技術演習 介護技術の総合評価	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第15回	総合生活支援技術演習 介護技術の総合評価	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-22				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を生かして、介護福祉士として必要な知識と技術を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術 ・		後継科目	生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ ・ ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	環境整備、移動、排泄、食事、清潔、着脱の支援についての復習を行い、事例にもとづいて技術の確認を行う。								
学習目標	介護過程の展開を踏まえて、生活支援技術の基礎を再確認し、技術を評価することで生活支援技術の向上を図る。								
キーワード	自立支援 技術の向上 尊厳の保持								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 6「生活支援技術 」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト 2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識を習得している。								
LO-2	さまざまな生活場面において自立支援の観点から根拠に基づい介護技術を実践できる。								
LO-3	ICFの視点をを用いてアセスメントを行い、生活環境を含めた人物像を把握し、根拠に基づいた介護が実践できる思考力が身についている。								
LO-4	状況に合わせ計画的に技術および福祉用具を自ら調査し、選択・活用することができる。								
LO-5	各事例についてチームで考え、助言をし合うなど`、協力しながら課題を実施することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	居住環境の整備	
	【予習】安全に快適に暮らすための生活環境について復習する	90分
	【復習】居住環境の整備における多職種との連携について考える	90分
第2回	移動の介護 上方移動、水平移動、側臥位、ポジショニング	
	【予習】テキストP101～P116、P128～P135	90分
	【復習】スライディングシートの活用方法と安楽な体位と姿勢について復習する。	90分
第3回	移動の介護 上方移動、水平移動、側臥位	
	【予習】テキストP101～P116、P128～P135	90分
	【復習】スライディングシートの活用方法と安楽な体位と姿勢について復習する。	90分
第4回	排泄の介護 ベッド上での排泄	
	【予習】排泄の用具と使用方法について調べる	90分
	【復習】下痢をしている人への支援方法の留意点をまとめる	90分
第5回	排泄の介護 ベッド上での排泄	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】下痢をしている人への支援方法の留意点をまとめる	90分
第6回	排泄の介護 ベッド上での排泄 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第7回	移動・口腔ケアの介護	
	【予習】ウォーカーケインを使用した移動方法、口腔ケアについて復習する	90分
	【復習】安定した立位への支援方法の留意点をまとめる	90分
第8回	移動・口腔ケアの介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】利き手交換をした口腔ケアの支援について復習をする	90分
第9回	食事・移動・口腔ケアの介護 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第10回	食事の介護	
	【予習】食事の介護について復習する	90分
	【復習】食事時の姿勢、美味しく食べる食事の支援方法の留意点をまとめる	90分

第11回	食事の介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】利き手交換をした食事の支援、口腔ケアの支援について復習をする	90分
第12回	食事・移動・口腔ケアの介護　確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第13回	着脱の介護	
	【予習】着脱の介護について復習する	90分
	【復習】入浴前中後の状態観察の必要性についてまとめる	90分
第14回	着脱の介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】復習をする	90分
第15回	着脱の介護　確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-23				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護			担当教員名	大掛 恵美子				
実務経験	管理栄養士として、病院および併設社会福祉施設において実務経験あり								
開講時期	1年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	医学一般　、生活支援技術　・　、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者が生活の中で求めている幸せとは何かを的確に捉える力と、個別性のある自立・自律や社会参加に向けた生活支援ができるようになることを目指す。自立に向けた家事の介助の技法、家事に参加することを支える介護を学習する。日本の食文化、摂食嚥下機能や疾病と食事の関係についても学習し、健やかな人生を送るための適正な食生活のあり方に関する知識を習得する。								
学習目標	栄養バランスのとれた食事、高齢者の嗜好に合った食べやすい食事、生活習慣病を予防できる食事等、命をつなぎ、ＱＯＬの向上に欠く事のできない食の重要性を認識し、臨機応変に対応できる介護実践力を養うこと。								
キーワード	健康　　食生活　　生活習慣病　　介護食								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会：『最新　介護福祉士養成講座6　生活支援技術　』第5章 自立に向けた家事の介護（pp.227-263）、『最新　介護福祉士養成講座7　生活支援技術　』第5章								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ特性について理解し、正しく答えることができる。								
LO-2	ニーズを踏まえ、個別性に応じた安全でおいしい食事作りができる。								
LO-3	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活に努めている。								
LO-5	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	20			20			100
LO-1	50	10							60
LO-2						10			10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	実習あり。答案やレポートのフィードバック(解説など)をする その他：Aは授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業のねらい、食事の意義と目的、食事の介護における多職種連携について講義する。	
	【予習】自分の食生活について、献立を数日分書き出すなどして振り返り、食事をする意義・目的について考えてみる。 「生活支援技術」テキスト5章及び「生活支援技術」テキスト2章の家事(食事)の介護における多職種との連携について予習しておく。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる。よく食べる商品の食品表示を確認する。	30分
第2回	身体の機能と3大栄養素の役割について講義する。	
	【予習】医学一般のテキストをもとに、身体の機能について復習を行い、要点を確認しておく。 「こころとからだのしくみ」のテキストをもとに栄養素の役割についてまとめておく。	15分
	【復習】自分の食生活について見直しを行い、講義から課題を見出し解決方法を考える。	30分
第3回	栄養素の役割 5 大栄養素について講義する。	
	【予習】「こころとからだのしくみ」のテキストをもとに栄養素の役割についてまとめておく。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第4回	基本の調理技術、食品の加工と保存について講義する。	
	【予習】我が家の食事ができるまでの流れを把握する。買い物に行ってみる。 「生活支援技術」テキストの5章：調理の介護について予習しておく。	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる。 調理の基本技術の練習をしてみる。	30分
第5回	調理実習（1）基本調理法（炊飯、出しのとり方等）／「日本料理」	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第6回	調理実習（1）基本調理法（炊飯、出しのとり方等）／「日本料理」	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。調理作業の復習をする。	30分
第7回	栄養のバランスと献立作成について講義する。	
	【予習】「生活支援技術」テキストの5章：調理の介護について予習しておく。	15分
	【復習】高齢者に適した食事について献立検討する。	30分
第8回	食事と生活習慣病等の疾病との関係を理解する。	
	【予習】生活習慣病について、関連する病気を調べる。 「こころとからだのしくみ」のテキストをもとに身体機能と食事への影響について予習しておく。	15分
	【復習】生活習慣病を予防するための食事のポイントをまとめる。	30分
第9回	高齢者・障害者の食生活のあり方を理解する。	
	【予習】老化に伴う身体面や心理面からの機能低下の状態や、障害によって生じる食事摂取の不都合さについて把握する。 「生活支援技術」テキストの2章：自立した食事について予習しておく。	15分
	【復習】高齢者・障害者が安全においしく食べられる調理の手法をまとめる。 高齢者向けの簡単に作れる主菜について調べる。	30分
第10回	咀嚼・嚥下と食事について理解する。	
	【予習】摂食嚥下機能について調べる。 「生活支援技術」テキストの2章：自立に向けた食事の介助について、摂食嚥下機能について予習しておく。	15分
	【復習】高齢者・障害者が安全においしく食べられる食事と支援についてまとめる。	30分

第11回	調理実習（２）「介護食」 嚥下調整食を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。 食事介助における配慮・注意点を考えながら試食し課題を見つける。	30分
第12回	調理実習（２）「介護食」 嚥下調整食を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。 食事介助における配慮・注意点を食前・中・後にわけまとめる。	30分
第13回	調理実習（３）高齢者向けの食事を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第14回	調理実習（３）高齢者向けの食事を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第15回	調理実習（４）「自由献立」各自考えた高齢者のための食事を調理する。	
	【予習】レシピを事前に把握し、材料の準備、作業工程の確認・段取りを確認しておく。 課題について：	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。課題レポートを作成する。 課題レポートについて：	30分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-24				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	生活支援技術、介護福祉論		後継科目						
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護ロボット・ICTが求められる背景、介護ロボット・ICTの効果を学ぶとともに、学生が介護ロボット・ICT機器を調査や体験をととして理解を深める。また、介護ロボットを導入活用するための組織体制について学習する。								
学習目標	1.介護ロボット・ICTを活用できる基礎的能力を習得する。 2.介護ロボット・ICT活用の重要性を利用者・介護職員・組織の3つの視点から理解する。								
キーワード	介護ロボット・ICT、安全と倫理、組織								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術」								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護ロボット・ICTの定義や意義を理解できる。								
LO-2	介護ロボット・ICTの使用方法を理解し、活用したケアができる。								
LO-3	対象者の心身の状況に応じた介護ロボット・ICTの活用や自身の調べた介護ロボット・ICTを分かりやすく表現することができる。								
LO-4	介護ロボット・ICTの積極的に見学・体験・調査することができる。								
LO-5	他者の考えや発言を聴き、自分の意見を丁寧に伝えることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	レポートは、コメントをつけて、学生に返却する。グループワークやプレゼンテーションを授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護ロボット・ICTの基礎知識	
	【予習】介護現場が抱える介護問題を考える。	60分
	【復習】介護ロボットの定義、介護ロボットが導入される背景をまとめる。	60分
第2回	利用者に適した介護ロボット・ICTの活用	
	【予習】介護ロボットには、どのような機器があるのか調べる。	60分
	【復習】グループで調査した介護ロボット・ICTをまとめる。	60分
第3回	利用者に適した介護ロボット・ICTの活用	
	【予習】介護ロボットには、どのような機器があるのか調べる。	60分
	【復習】グループで調査した介護ロボット・ICTをまとめる。	60分
第4回	ICT機器の操作体験	
	【予習】介護現場で活用しているICTを調べる。	60分
	【復習】ICT活用の効果と課題についてまとめる。	60分
第5回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】移乗介助ロボット「HUG」について調べる。	60分
	【復習】演習「ベッドから車イスへの移乗」を振り返り、まとめる。	60分
第6回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】移乗介助ロボット「HUG」について調べる。	60分
	【復習】演習「ベッドから車イスへの移乗」を振り返り、まとめる。	60分
第7回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】とやま介護テクノロジー普及・推進センターの概要を調べる。	60分
	【復習】体験した介護ロボット・ICT機器をまとめる。	60分
第8回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】とやま介護テクノロジー普及・推進センターの概要を調べる。	60分
	【復習】体験した介護ロボット・ICT機器をまとめる。	60分
第9回	介護ロボット・ICT活用におけるリスクマネジメント	
	【予習】介護ロボット・ICT活用による介護事故を調べる。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTの留意点をまとめる。	60分
第10回	介護ロボット・ICT活用における倫理	
	【予習】介護における倫理について復習する。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用と倫理についてまとめる。	60分

第11回	介護現場での介護ロボット・ICT導入にむけた組織のあり方と課題	
	【予習】実習先での介護ロボット・ICTの導入活用状況を振り返る。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用した組織についてまとめる。	60分
第12回	介護現場での介護ロボット・ICT導入にむけた組織のあり方と課題	
	【予習】実習先での介護ロボット・ICTの導入活用状況を振り返る。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用した組織についてまとめる。	60分
第13回	介護ロボット・ICTの実践的活用	
	【予習】見学に行く介護施設の概要をまとめる。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用している介護施設の実際からの学びをまとめる。	60分
第14回	介護ロボット・ICTの実践的活用	
	【予習】見学に行く介護施設の概要をまとめる。	60分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用している介護施設の実際からの学びをまとめる。	60分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業のまとめを振り返る。	60分
	【復習】「介護ロボット・ICTの効果と課題」、「介護ロボット・ICTを組織で活用するために」についてまとめる。	60分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-25				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護			担当教員名	中島 眞由美 松島 紘子				
実務経験	【中島】市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説 する。								
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)	生活支援技術 、生活支援技術 、こころとからだのしくみ ～ 、障害者ケア論 、障害者ケア			後継科目	生活支援技術				
関連科目	生活支援技術 、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害・疾病の特性を理解し、適切な介護技術を用いて安全・安楽に援助できる知識や技術・倫理について学ぶ。病気や障害によって生活のしづらさを抱えた利用者が望む暮らしに近づけるための、よりよい支援を考え実践できる様に、グループでの活動を中心に、授業の聴講、個人ワーク、演習を通して学ぶ。								
学習目標	1.障害や疾病のある人について、医学的・心理的側面から理解ができる。 2.病気や障害、利用者の状態や生活の状況等に応じた適切な介護技術を身につける。 3.利用者の望む暮らしに向けた支援について介護福祉士の役割の理解と多職種連携のイメージを持つことができる。								
キーワード	自立支援・エンパワメント・福祉用具の活用・ＩＣＦ・障害特性・合理的配慮・意思決定支援								
テキスト・ 参考書等	生活支援技術 中央法規								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	利用者の疾病・障害に応じた、生活支援技術についての知識を身につけ、理解した事を説明することができる								
LO-2	利用者の疾病・障害の状態に応じた生活支援技術を学生同士、演習の中で実施する事ができる。								
LO-3	利用者の疾病・障害に応じた生活支援の方法をテキストやグループワークでの情報収集と分析により考える事ができる								
LO-4	利用者の疾病・障害について、テキスト以外にも調べる等の学ぶ意欲がある								
LO-5	疾病や障害がある方の望む暮らしやその思いを理解し、尊厳を大切にする人間力を身につけている								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		5	35		30	25			95
LO-1		5	5		5	5			20
LO-2			5		10	5			20
LO-3			10		5	5			20
LO-4			10		5	5			20
LO-5			5		5	5			15
備考	１．事例を通してグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行い、全員で事例を深めていく ２．学生自身が課題を見つけ、その解決に向けて学びを深める ３．成果発表について 事前に出された課題についてのワークシートの記入と当日の実技発表の内容について評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	利用者の状態・状況に応じた生活支援技術とは 求められる介護福祉士像	
	【予習】生活支援技術 テキスト「はじめに」を読む	45分
	【復習】学習の振り返り・意見交換を行う	45分
第2回	1年の学習内容の再確認気持ちよく過ごせる生活環境について	
	【予習】シーツ交換についての確認を行う。	45分
	【復習】授業の振り返り、アンケートの入力	45分
第3回	肢体不自由に応じた介護 移乗・移動の介助（一部介助、全介助を対象者の場合） ・移乗、移動の小テスト	
	【予習】1年時の学習内容の確認・生活支援技術 p146 車椅子の介助、p99体位交換の介助の実際	45分
	【復習】資料の確認	45分
第4回	肢体不自由に応じた介護 移乗・移動の介助（一部介助、全介助の対象者の場合）	
	【予習】前回授業の振り返り、テキスト確認。	45分
	【復習】授業の振り返り	45分
第5回	重症心身障害に応じた介護（利用者が臥床したままで行う衣類の着脱）	
	【予習】生活支援技術 テキストp60衣服着脱介助の実際をみる	45分
	【復習】授業の振り返り、学生同士を意見交換	45分
第6回	重症心身障害に応じた介護（利用者が臥床したままで行う衣類の着脱）	
	【予習】前回授業の振り返り	45分
	【復習】チェックリストの確認、復習を行う	45分
第7回	高次脳機能障害に応じた介護 ・高次脳機能障害とは ・失語症	
	【予習】テキストp219～高次脳機能障害に応じた介護を読む	45分
	【復習】授業の振り返り	45分
第8回	高次脳機能障害に応じた介護 ・生活上の困りごととその支援方法	
	【予習】授業の振り返り	45分
	【復習】感想を記入する	45分
第9回	パーキンソン病に応じた介護 ・パーキンソン病の理解、生活上の困りごととその支援方法	
	【予習】テキストp262～264を読む	45分
	【復習】四大症状を覚える ウェブシラバスで小テスト実施	45分
第10回	ALSに応じた介護 病気の理解と生活上の困りごと 事例をとおして支援について考える	
	【予習】授業の振り返り	45分
	【復習】授業のまとめを記録する	45分

第11回	悪性関節リウマチに応じた介護 病気の理解、生活上の困りごととその支援方法	
	【予習】テキストP277～278を読む	45分
	【復習】テキストP277～278を読む、資料の確認	45分
第12回	筋ジストロフィーに応じた介護 病気の理解、利用者の生活や意識について知る	
	【予習】テキストp 293、レスパイトケアについて	0分
	【復習】授業の感想をまとめる、学生同士の意見交換 小テスト実施	0分
第13回	事例に基づいた介護技術の展開	
	【予習】事前に出された課題を読んでおく	45分
	【復習】授業の振り返り、学生同士の意見交換	45分
第14回	事例に基づいた介護技術の展開	
	【予習】事前に出された課題を読んでおく	45分
	【復習】授業のまとめを記録する ワークシートの提出	45分
第15回	視覚障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 31～P 45までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】視覚障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第16回	聴覚障害・言語障害・重複障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 46～P 73までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】聴覚障害・言語障害に応じた介護のポイントをまとめる 重複障害に応じた介護について考える：レポート提出	45分
第17回	車椅子の人の外出支援	
	【予習】車椅子の操作方法を確認しておく	45分
	【復習】段差や坂道、障害物を上手く操作で来たか振り返る	45分
第18回	車椅子の人の外出支援	
	【予習】車椅子の操作方法を確認しておく	45分
	【復習】車椅子の人が安心して安全に外出を楽しめる街を考える	45分
第19回	膀胱・直腸障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 121～P 133までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】膀胱・直腸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第20回	膀胱・直腸障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 121～P 133までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】膀胱・直腸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分

第21回	心臓機能障害・呼吸機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 75～ P 107までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】心臓機能障害、呼吸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第22回	腎臓機能障害・免疫機能障害、肝臓機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 108～ P 120、P146～ P157，P158～ P169までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】腎臓機能障害・免疫機能障害、肝臓機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第23回	小腸機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 134～ P 145までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】小腸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第24回	知的障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 190～ P 197までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】知的障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第25回	精神障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 198～ P 218までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】精神障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第26回	発達障害に応じた介護	
	【予習】テキストP 232～ P 247までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】発達障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第27回	障害者の育児支援	
	【予習】「障害者総合支援法上の居宅介護（家事援助）等の業務に含まれる「育児支援」の取扱いについて」を読んでくる	45分
	【復習】障害者の育児支援の方法をまとめる	45分
第28回	障害者の育児支援	
	【予習】「障害者総合支援法上の居宅介護（家事援助）等の業務に含まれる「育児支援」の取扱いについて」を読んでくる	45分
	【復習】障害者の育児支援の方法をまとめる	45分
第29回	まとめ 障害の特性に応じた支援	
	【予習】疾病、障害とケアの特性について、教科書を読んでおく。	45分
	【復習】これまでの授業を振り返り、障害の特性に応じた支援についてまとめる	45分
第30回	まとめ 障害の特性に応じた支援	
	【予習】疾病、障害とケアの特性について、教科書を読んでおく。	45分
	【復習】これまでの授業を振り返り、障害の特性に応じた支援についてまとめる	45分

授業科目名	生活支援技術				科目コード	W111-26			
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護				担当教員名	川端 明美			
実務経験	1 家庭科教員、福祉科教員として介護福祉士養成の学科のある高等学校に勤務していた経験がある 2 生活者の視点と福祉の視点での衣生活、住生活に関する基本的な知識と技術と生活支援について解説する								
開講時期	2年前期				授業の方法	演習			
必修・選択	選択				単位数	1単位			
前提科目(知識)					後継科目				
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	居住環境整備と被服管理について学習する								
学習目標	生活者、支援者としての視点で住生活、衣生活についての基本的な知識と技術を身につける								
キーワード	生活支援 居住環境整備 被服管理								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 第2版」 中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術 第2版」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	居住環境整備と被服管理に関する基本的な知識を理解することができる								
LO-2	生活支援のための住生活、衣生活の基本的な技術を理解することができる								
LO-3	住生活、衣生活について、支援を必要としている人のニーズを捉えることができる								
LO-4	安全で快適な生活に関心をもち、課題解決のための工夫をすることができる								
LO-5	生活支援のための多様な考え方に気づき協働して行動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70	10	20				100
LO-1			20						20
LO-2			10	10					20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5					20				20
備考	ワークシート、レポートの提出に対する取り組みを重視します 安全に配慮し、グループワーク、プレゼンテーション、製作実習を実施します								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活の理解と生活支援	
	【予習】生活やそれを支える家事（洗濯、掃除、ごみ捨てなど）への関心、取り組み状況を考える	30分
	【復習】積極的に洗濯、掃除、ごみ捨てを行う	30分
第2回	住まいの機能と日本住宅の特徴 高齢化と住宅政策	
	【予習】日本の伝統的な住宅の特徴を考える	30分
	【復習】空間の高さ、幅、広さなどをイメージできるように人体寸法のおおよそを覚える 住空間の種類とその各生活空間の動作の特徴をまとめる	30分
第3回	住環境アセスメント 高齢者の心身の特徴と住居内での事故とその予防 居住環境の整備（空間構成、広さ、動線、材質、バリアフリー）	
	【予習】（自分の）住空間の高さ、幅、広さ、動線などを測る	30分
	【復習】住宅内での転倒の原因と予防についてまとめる	30分
第4回	居住環境の整備（住宅改修、福祉用具の活用）	
	【予習】自分の住んでいる地域の介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修費支給申請をWebで調べる	30分
	【復習】介護保険制度を利用した住宅改修についてまとめる	30分
第5回	居住環境の整備（空気環境、温熱環境、光環境、音環境）	
	【予習】（自分の）住空間の空気環境、温熱環境、光環境、音環境の評価をする	30分
	【復習】ヒートショックを説明し、予防についてまとめる	30分
第6回	高齢者の住まいの種類とその特徴	
	【予習】高齢者向けの住宅の特徴をWebで調べる	30分
	【復習】高齢者の多様な住まいに関する新聞記事を読んでまとめる	30分
第7回	装いへの関心とQOLの関係 被服の機能と被服の素材	
	【予習】自分の衣服の表示（サイズ表示、組成表示、取り扱い表示）を調べる	30分
	【復習】高齢者の休養着を選ぶとき気をつけたいことをまとめる	30分
第8回	手縫いによる小物製作	
	【予習】玉結び、なみ縫い、糸こき、玉止めの仕方をWeb動画で調べる	30分
	【復習】玉結び、なみ縫い、糸こき、玉止めの仕方をWeb動画で調べる	30分
第9回	被服の管理（衣服による事故・健康障害とその予防、環境や活動に合わせた着装）	
	【予習】衣服による事故・健康障害について体験したことをまとめる	30分
	【復習】衣高齢者の外出着を選ぶとき気をつけたいことをまとめる	30分
第10回	手縫いによる小物製作	
	【予習】まつり縫い、コの字とじ仕方をWeb動画で調べる	30分
	【復習】まつり縫い、コの字とじ仕方をWeb動画で調べる	30分

第11回	被服の管理 （衣服のサイズ表示、洗濯と保管の方法、修繕）	
	【予習】ドラッグストアなどで衣料用の洗剤を観察する	30分
	【復習】衣服用洗剤メーカーのWebを調べてわかったことをまとめる	30分
第12回	手縫いによる小物製作	
	【予習】ボタンつけ、スナップつけの仕方をWeb等で調べる	30分
	【復習】ボタンつけ、スナップつけの仕方をWeb等で調べる	30分
第13回	高齢者にも配慮したモノ・コト （グループワーク）	
	【予習】高齢者の心身の特徴を踏まえて、公共施設、商業施設の広さ、商品等の配置を観察する	30分
	【復習】地域のつながりを活性化する工夫を考える	30分
第14回	高齢者にも配慮したモノ・コト （グループワーク）	
	【予習】高齢者にも配慮した商品、サービスを考える	30分
	【復習】グループで協力してプレゼンテーションの練習する	30分
第15回	高齢者にも配慮したモノ・コト （グループワーク）	
	【予習】グループで協力してプレゼンテーションの練習する	30分
	【復習】「生活支援技術」の学習内容を振り返って、生活にいかす	30分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-27				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護			担当教員名	奥野 勝太				
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	生活支援技術　～　、こころとからだのしくみ　～			後継科目	なし				
関連科目	介護福祉論　、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	前半は、自分の命を守るための知識、技能や防災・減災に向けた地域や介護施設の取り組みを学習します。また、災害発生時、介護福祉職としての支援のあり方をグループワークなどから理解します。 後半は、こころとからだのしくみ　と連携しながら人生の最終段階の意義と介護の役割、具体的な介護、多職種連携について学習します。								
学習目標	1　災害時の自助、共助に関する知識、技能を養います。 2　介護福祉士の災害支援の役割や支援方法を理解する。 3　死をむかえる人、死をむかえた人の介護、亡くなったあとの介護・グリーフケアについて理解する。 4　在宅・施設における看取り介護におけるチームアプローチの中で介護福祉士としての役割を理解する。								
キーワード	自助力、災害情報、地域防災、災害時要配慮者、災害支援 終末期、アドバンス・ケア・プランニング、看取り介護、グリーフケア、多職種連携								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座　介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術　」「介護の基本　」　中央法規 最新・介護福祉士養成講座　介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術　」　中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	災害発生時および平常時における対策、災害に関連する制度、災害による被害、災害支援のあり方などの知識を十分有している。人生の最終段階にある人及びその家族に寄り添い、安全で安楽なより人間的なケアの基礎的な知識がある。								
LO-2	災害時、尊厳と自立支援を踏まえた生活支援技術を有している。 人生の最終段階にある人及びその家族に寄り添い、安全で安楽なより人間的なケアの基礎的な技術がある。								
LO-3	自身を取り巻く災害リスクに合わせた災害対策や対象者に合わせた生活支援を展開できる。 人生の最終段階にある人とその家族に寄り添い、安全で安楽なより人間的なケアについて考える思考力・判断力がある。								
LO-4	災害への危機意識をもち、災害への備え、支援方法を積極的に理解する姿勢が見られる。 人生の最終段階にある人及びその家族に寄り添い、より人間的なケアについて、主体的に学ぶ意欲や態度がある。								
LO-5	他者の考えや発言を傾聴、共感しつつ、自身の考えを丁寧に伝えることができる。人生の最終段階にある人及び家族の物語に共感し、寄り添い、人権を尊重したケアを行う人間性、多職種連携への社会性がある。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	グループワーク、ディスカッションを用いた授業を展開します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	身近で起こりうる災害への備え	
	【予習】近年日本で発生している災害を調べておく。	90分
	【復習】多様な災害への対応をまとめる	90分
第2回	災害に関する情報とその活用	
	【予習】気象庁のホームページの防災情報を閲覧し、どのような防災情報があるの把握する。	90分
	【復習】災害時に活用できるツールをまとめる。	90分
第3回	防災・減災にむけた平常時対策	
	【予習】自分の住まいの備蓄（非常食など）を調べておく。	90分
	【復習】家族と災害時のわが家のルールを話し合い、まとめる	90分
第4回	地域の防災活動と多様性の配慮	
	【予習】災害時、高齢者や障がい者が困ることを考える。	90分
	【復習】災害発生時、災害時要配慮者になりうる人をまとめる	90分
第5回	介護施設の災害対策	
	【予習】介護施設における災害のリスクを考える	90分
	【復習】介護施設が取り組んでいる災害対策をまとめる	90分
第6回	災害による様々な弊害と支援の在り方と多職種連携	
	【予習】災害時に起こりうる弊害を考える。	90分
	【復習】介護福祉職としての災害支援の役割と留意点をまとめる	90分
第7回	避難所における災害時要配慮への支援	
	【予習】災害時要配慮者にあたる対象者を振り返っておく	90分
	【復習】災害時要配慮者への留意点をまとめる	90分
第8回	人生の最終段階の意義について	
	【予習】教科書P269～273を読んでくる	90分
	【復習】人生の最終段階の意義と介護の役割について振り返る	90分
第9回	人生の最終段階の意義と介護の役割 エンディングノート DVD鑑賞	
	【予習】エンディングノートについて調べておく	90分
	【復習】DVDを振り返りレポートをまとめる	90分
第10回	人生の最終段階における介護 その人らしい生活を最期まで支えるためのアドバンス・ケア・プランニング(意思決定支援)	
	【予習】アドバンス・ケア・プランニングについて調べる。	90分
	【復習】アドバンス・ケア・プランニングの重要性と具体的内容をまとめる。	90分

第11回	人生の最終段階における介護 死をむかえる人の介護（食事・排泄・清潔・苦痛の緩和等）	
	【予習】 教科書P269～P273を読んでくる	90分
	【復習】 全人的苦痛について振り返る	90分
第12回	人生の最終段階における介護 コミュニケーション、家族支援	
	【予習】教科書274～277を読んでくる	90分
	【復習】人生の最終段階におけるコミュニケーションを振り返りまとめる	90分
第13回	人生の最終段階における介護 亡くなったあとの介護（グリーフケア）	
	【予習】 教科書P278～P283について読んでくる	90分
	【復習】グリーフケアについて振り返りまとめる	90分
第14回	人生の最終段階における多職種との連携と死をむかえた人の介護（エンゼルケア）	
	【予習】 教科書P284～P290を読んでくる	90分
	【復習】エンゼルケアについて振り返る。	90分
第15回	人生の最終段階における介護、まとめ	
	【予習】人生の最終段階における介護職に必要な知識・技術・倫理をまとめてくる	90分
	【復習】人生の最終段階に応じた介護を振り返る	90分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習 - 1					
関連科目	コミュニケーション技術 （手話・点字）								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。								
学習目標	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養う学習とする。								
キーワード	チームのコミュニケーション、障害の特性に応じたコミュニケーション、家族とのコミュニケーション、介護を必要とする人とのコミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を理解している。								
LO-2	【技能】様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術を備えている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】コミュニケーション技術をとおり、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲を持ち、専門職としての態度を備えている。								
LO-5	【人間性・社会性】目的・意図的なコミュニケーションによって、信頼に基づく援助関係を築くことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			40						40
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						30			30
LO-5			10						10
備考	評価のその他は、授業態度に関わるものです。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1章 介護におけるコミュニケーションの基本 第1節 介護におけるコミュニケーションとは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめてみる。	15分
第2回	第1章 介護におけるコミュニケーションの基本 第2節 介護におけるコミュニケーションの対象	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第3回	第1章 介護におけるコミュニケーションの基本 第3節 援助関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第4回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第1節 コミュニケーション態度に関する基本技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	60分
第5回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第2節 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第6回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第3節 目的別のコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	60分
第7回	第2章 コミュニケーション態度に関する基本技術 第4節 集団におけるコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第8回	第3章 対象者の特性に応じたコミュニケーション 第1節 コミュニケーション障害への対応の基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第9回	第3章 対象者の特性に応じたコミュニケーション 第2節 さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第10回	第4章 家族とのコミュニケーション 第1節 家族との関係づくり、第2節 家族への助言・指導・調整	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分

第11回	第4章 家族とのコミュニケーション 第3節 家族関係と介護ストレスへの対応	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第12回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第1節 チームのコミュニケーションとは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第13回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第2節 報告・連絡・相談の技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第14回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第3節 記録の技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第15回	第5章 介護におけるチームのコミュニケーション 第4節 会議・議事進行・説明の技術、第5節 事例検討に関する技術、第6節 情報の活用と管理のための技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	定塚 剛成 山崎 清之					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	障害者ケア論 ・ 生活支援技術 介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	1．聴覚及び言語障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。 2．視覚障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。								
学習目標	1．手話 ・ 基本的な手話技術の習得 ・ 障害のとらえ方の理解 ・ 聞こえないことの不便や聴覚障害者のおかれている社会環境、関連制度等の理解								
キーワード	1．手話 聴覚障害者 点字 視覚障害者 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	1．「新・手話教室 入門」 - 厚生労働省手話奉仕員養成講座入門課程対応 - 2．「初めての点訳」 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識を理解する。								
LO-2	(技能) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が身につく。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力) その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を考えられる。								
LO-4	(関心・意欲・態度) 手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることができる。								
LO-5	(人間性・社会性) 手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	1.手話 ・ テキストをもとに、ほぼ毎回ビデオを使用して学習を進めます ・ ネイティブスピーカー(ろう者)に、2回程度参加してもらいます ・ 必要に応じて、グループ等に分かれて進めます * 授業態度・意欲(25%程度)・節目ごとのレポート(30%程度)・修了試験(45%)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の概要、点字と墨字、点字の組み立て・特徴、 点字器の種類・扱い方	
	【予習】シラバス確認	45分
	【復習】点字の組み立てを振り返る	45分
第2回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 視覚障害者の状況 点字の歴史	
	【予習】次の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】視覚障害者について、テキストノートから振り返る	45分
第3回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(1) ・点字を書く器具 点字を書く時のポイント	
	【予習】次の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】本日学習した点字の書き方、読み方を振り返る	45分
第4回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(2) 点字の標記 ・語の書き表し方(かな使い、数字、アルファベット)	
	【予習】次の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の読み方を振り返る	45分
第5回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(3) ・分かち書 (文節分かち書、複合語、固有名詞)	
	【予習】次の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第6回	2. 点字	
	【予習】次の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第7回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	
	【予習】次の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】点字の表記について振り返る 視覚障害者のガイドについてテキスト等で見直す	45分
第8回	2. 点字 まとめ 試験 (点訳 墨訳 作文と点字についての設問)	
	【予習】点字の組み立てから、点字の表記について復習しておく 視覚障害者と点字の歴史、概要をまとめておく	45分
	【復習】点字標記についての規則をもう一度振り返る。	45分
第9回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 聞こえないってどんなことか 言葉を使わないで伝えてみよう	
	【予習】本科目のシラバスを確認する。	45分
	【復習】授業の振り返りをする。	45分
第10回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう教育	
	【予習】次の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】授業の振り返りをする。	45分

第11回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 指文字を覚えよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第12回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話そう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第13回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう者の生活 家族を紹介しよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第14回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 趣味を表してみよう・誕生日を表してみよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分
第15回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話をしてみよう	
	【予習】 次回の授業内容のテキストを一読する	45分
	【復習】 授業の振り返りをする。	45分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の立場に近づき、利用者が求めている支援を提供する視点に立ち、生きてきた時間と生活からその人を理解していくことを目的に、広い視点から学習を進めていきます。介護過程という思考過程の基本を学習します。								
学習目標	人間は生きている環境が違い、考え方や生き方は様々であることを客観的に捉えることができる。個々のニーズとは何かを知り、「分析的思考」と「総合的思考」を養います。								
キーワード	生活 幸せ 情報収集 アセスメント I C F								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9「介護過程」、「介護職員初認者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	I C F の概要や考え方を理解することができる。								
LO-2	一人の人間の全体像を様々な視点から捉え、それに関連することを分析する能力を習得する。								
LO-3	これまでの生活から学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている。 円滑なコミュニケーションをとり、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70		30				100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			20		10				30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の意義 介護過程とは プロセス	
	【予習】シラバスを読み、科目の内容や目的を抑える	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第2回	介護過程とチームアプローチ	
	【予習】初任者研修テキスト P321～P323まで読んでくる	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第3回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。(1) コンセンサスゲーム 課題を通してグループワークをおこなう。グループ発表	
	【予習】「コンセンサスゲーム」について調べる	60分
	【復習】グループで検討した意見をワークシートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の意義 相手の立場にたって物事を考える 事例1について考える。個人ワーク	
	【予習】相手の立場になって考えることとは、どのようなことが 具体的に考える	90分
	【復習】みかさんの生き方と自分の生き方を比較し、生きることの支援について考えをまとめる	90分
第5回	介護過程の意義 事例1についてグループワークをおこない、考えられる様々な方法を話し合う。グループ発表をおこなう。	
	【予習】前回の事例1のワークシートを見ておく	90分
	【復習】他のグループで発表された意見をワークシートを見て振り返る。	90分
第6回	介護過程の意義 グループワーク 物事を多面的な視点でとらえる グループでカテゴリ分けを行い、根拠を明確にして発表する	
	【予習】ペットボトルの準備 「ペットボトル」について考える	90分
	【復習】テキスト、ノートから学習したことを振り返る	90分
第7回	介護過程の基礎的理解(1) 観察する 記録する	
	【予習】情報収集をする上での観察するにはどのような方法があるのかを調べる	60分
	【復習】本時の資料と作成したワーク、グループでの話し合いをまとめる	120分
第8回	介護過程の基礎的理解 ロールプレイをとおして聞き方、聴き方について学ぶ	
	【予習】前回の自己のワークシートとグループでの話し合いの結果をまとめる	90分
	【復習】本時のノート、資料から振り返る。	90分
第9回	介護過程の基礎的理解 聞く、聴く、訊くについて	
	【予習】聞く、訊く、聴くの違いを考える	60分
	【復習】本時のノート、資料から振り返る。	120分
第10回	介護過程の基礎的理解(2) 目標志向型アプローチ ICFとICIDHについて	
	【予習】「ICF」と「ICIDH」について調べる	60分
	【復習】ICFとICIDHの違いが分かる。また、ICFの構成要素について理解する。	120分

第11回	介護過程の展開 課題解決型アプローチ キットカットを用いて 普段行っている動作が起こる理由を考え、客観的情報と経験から考察したことを文章化する。	
	【予習】自分が普段行っている「食べる」という活動についての根拠を考える。また、その活動の順序を細かく分析する。	60分
	【復習】本時のノート、テキスト範囲からニーズについて振り返る。	120分
第12回	介護過程の展開 問題解決型思考を事例をとおして考える	
	【予習】介護過程の展開方法について復習する アセスメントの方法について	90分
	【復習】アセスメントについてノート及びテキスト範囲から振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント（2）アセスメント情報収集について分かる。身近な人の事例課題2をICFの視点でワークシートに記述する（自己ワーク）	
	【予習】問題解決思考について復習する	90分
	【復習】本時の課題から事実を情報収集することを振り返る。	90分
第14回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント（3） 身近な事例2について情報収集をICFの視点を用いたワークシートに記述したものをを用いて発表をし、他グループからの意見を聞く。	
	【予習】ICFの構造モデルをしっかり覚える	90分
	【復習】グループで情報収集した内容を見直してみる。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント（4）グループで集めた情報をアセスメントする。 既定のシートにグループから出た情報を記述し、アセスメントを行う。グループ発表	
	【予習】グループで情報収集した内容をテキストP50を参考に見直し、発表の準備をしておく。	90分
	【復習】他のグループ発表を聞いて、情報収集について振り返る。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	様々な利用者の生活場面とその環境から適切な支援ができるよう、習得した知識や経験を介護過程の展開に活用していきます。 介護計画実習において介護過程のプロセスである、アセスメントと計画立案ができるよう事例をとおして学びます。 専門職として必要な知識・技術を身につけ、多職種との連携を理解します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、アセスメントの意味を理解し、利用者個々のニーズを把握する能力を養います。 また、介護計画を立案するために必要な具体的な情報収集能力を身につけ、介護計画を立案する能力を養います。								
キーワード	情報収集 アセスメント ICF ニーズ 本人の思い								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9介護過程 中央法規出版 2021年度「介護実習の手引き」 富山短期大学								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	情報収集の必要性を理解する能力を有する。情報収集の必要性と方法について十分理解をしている。								
LO-2	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を十分に有する。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開（情報収集と計画立案）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			30						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程全体のプロセスについて復習する。また、インテークの意味と意義、共感や受容と肯定の違いを理解する。	
	【予習】前期に学んだ介護過程のプロセスを復習する。	60分
	【復習】介護過程とは何のためにあるのかを説明することができるようにする。また介護過程の各段階の内容を説明する。	120分
第2回	アセスメントの実際 観察や言語的コミュニケーションを通じた情報収集について学ぶ。	
	【予習】テキストP75～P78まで読む	60分
	【復習】客観的で根拠にもとづいた情報を収集することの必要性についてまとめる	120分
第3回	アセスメントの実際 情報収集の実際 個別ワーク	
	【予習】情報収集の方法や視点について確認する	60分
	【復習】ICFの概念を用いての情報収集方法について理解を深める	120分
第4回	アセスメントの実際 情報収集の実際 グループワーク	
	【予習】小規模多機能型サービスを利用している白井さんの事例をふり返る	60分
	【復習】ICFを基準とした情報収集シートに事例の情報を完成させる	120分
第5回	アセスメントの実際 情報の統合化について学ぶ	
	【予習】テキストP79～P82まで読む	60分
	【復習】ICFの概念を用いての情報の統合方法理解する	120分
第6回	アセスメントの実際 課題の分析・明確化 整理・統合された情報から、生活課題を分析し、明確化する。生活課題を優先順位を考え、並び変えて整理する。	
	【予習】テキストP83～P86まで読む	60分
	【復習】生活課題を餅引き出した根拠を理解し、わかりやすく図解する。	120分
第7回	介護目標の設定 具体的に設定する意義を理解し、書き方を身につける	
	【予習】テキストP87～P90まで読む	60分
	【復習】長期目標、短期目標の違いをまとめ、利用者が主体で自らこういう状態になることができることを忘れないでまとめる	120分
第8回	介護過程の実践的展開 事例学習2について、グループのまとめを発表する	
	【予習】テキストを確認する。生活支援技術のテキスト確認する。発表する内容を確認しておく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞き振り返り、事例2における情報収集についてまとめておく。	120分
第9回	介護過程の実践的展開 事例学習1・2のまとめ 実際の情報収集の場面を体験し、気付いたことを発表する。	
	【予習】事例1と2におけるICFの視点で、グループワークしたワークシートを見直す。	60分
	【復習】実際の情報収集の場面から気付けたことをまとめておく。	120分
第10回	介護過程の実践的展開 介護計画実習に向けて、実際に用いる記録用紙(D1～3)の記述方法と留意点について理解する。	
	【予習】本学の平成27年度実習の手引きP37～39を読んでおく。	60分
	【復習】説明を受けたことの留意点、記述方法について手引きP51～53を読み振り返る。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 事例学習 3 Mさんの事例について説明後、実習記録D 1～3に記述する。	
	【予習】手引き P 37～39、51～53を確認しておく。	60分
	【復習】手引き P 37～39を参照しながら見直し、Mさんの事例 D 1～3を完成させておく	120分
第12回	介護過程の実践的展開 事例学習 3 Mさんの事例 情報収集したD 1～3の内容について気がついたこと、迷ったところなどグループ話し合う。教員が提示したMさんのD 1～3を見て理解できる。	
	【予習】手引き P 37～39を確認する。	60分
	【復習】Tさんの事例からD 1～3の記述について振り返る。	120分
第13回	介護過程の実践的展開 事例学習 3 Mさんの情報からアセスメント（解釈、意味づけ、統合）を実践し、課題の発見、分析を理解する	
	【予習】実習の手引き P 37～41を見てくる。	60分
	【復習】テキスト P 97～108を事例をよく読む。	120分
第14回	介護過程の実践的展開 事例学習 3 Mさんの事例について、得られた情報から実習記録E - 1表を記述する。	
	【予習】手引き P 37～39、51～53を見直す。	60分
	【復習】事例 4 Mさんの情報を確認してE - 1表を完成させる	120分
第15回	介護過程の実践的展開 事例学習 3 Mさんの介護上の課題を考える。 グループで、E - 1表から意見をだし、E - 2 表を完成させる。	
	【予習】テキスト P 66～108、手引き P 37～39、51～53を読み直す。	60分
	【復習】計画実習まで、手引きを見直し情報収集についてまとめておく。	120分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-42				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の介護計画の作成や多職種連携などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護過程 、 介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	介護福祉論 ・ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習で作成した受け持ち利用者の介護計画の立案の理解を多様なアプローチから深める。介護計画の実施、評価していく際の観点や留意点を学ぶ。事例を用いて、実施、評価を中心に、介護過程の展開をグループワークなどから実践的に取り組む。また、介護過程とケアマネジメントの関連性について学び、介護過程とチームアプローチの必要性について理解を深めます。								
学習目標	１．ＩＣＦの視点をとおしてアセスメントし、計画,実践,評価することを理解する。 ２．利用者の状況に応じて、介護過程を展開できる能力を身につける。 ３．事例検討を通して、司会や参加者の役割などカンファレンスに必要な能力を身につける。								
キーワード	個人因子、計画立案・実施・評価、再アセスメント								
テキスト・ 参考書等	アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック みらい、「ヘルプマン！」に学ぶ介護過程 中央法規								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護計画の立案、実施・評価する方法を理解している。								
LO-2	介護過程の展開を本学作成のＩＣＦモデルシートに的確に記録し、記述することができる。								
LO-3	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術をＩＣＦの視点を基にして、介護過程の展開に生かすことができる。								
LO-4	介護過程を展開（アセスメント・計画立案・実施評価）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと授業に取り組んでいる。								
LO-5	事例検討会などにおいて、司会や記録などの役割を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5					20				20
備考	介護過程を展開した事例については、ポイントなどを授業の中で解説します。 適宜、グループワークやロールプレイングを取り入れた授業を展開します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の展開(Ⅰ アセスメントから立案まで)の復習	
	【予習】介護計画実習で記述したD 1～3、E,Fの記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集から立案までについて見直す。	120分
第2回	計画実習での介護過程の展開を振り返り、自己の課題と思考過程の特徴などを自己覚知する。	
	【予習】計画実習で取組んだ介護過程(D～F表)を読み返す。	60分
	【復習】グループメンバーからの意見をまとめる。	120分
第3回	各自、計画実習で立案した介護計画をグループ内で共有し、課題や良かった点などについて意見交換をする。	
	【予習】計画実習で取組んだ介護過程(D～F表)を発表できるよう準備をする。	60分
	【復習】グループメンバーからもらった意見をまとめる。	120分
第4回	各自の受け持ち利用者のD 1～3 記録をもとに、アセスメント～立案する。グループワーク	
	【予習】グループワークで検討する事例を1つ決めてくる。	60分
	【復習】事例の介護目標や援助内容を検討する。	120分
第5回	各自の受け持ち利用者のD 1～3 記録をもとに、アセスメント～立案。グループワーク	
	【予習】グループワークで検討する事例を1つ決めてくる。	60分
	【復習】事例の介護目標や援助内容を検討する。	120分
第6回	各自の受け持ち利用者のD 1～3 記録をもとに、アセスメント～立案。グループワーク	
	【予習】発表の準備をする。	60分
	【復習】発表を聴き、各自、計画実習の立案を見直す。	120分
第7回	各グループのアセスメント～立案を発表	
	【予習】発表の準備をする。	60分
	【復習】発表を聴き、各自、計画実習の立案を見直す。	120分
第8回	各グループのアセスメント～立案を発表	
	【予習】発表の準備をする。	60分
	【復習】発表を聴き、各自、計画実習の立案を見直す。	120分
第9回	受け持ち利用者の時代背景を調査し、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD 1～3 の記録を見直す	90分
	【復習】調査した時代背景をまとめる。	90分
第10回	受け持ち利用者の時代背景を調査し、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD 1～3 の記録を見直す	90分
	【復習】調査した時代背景をまとめる。	90分

第11回	受け持ち利用者の時代背景を調査、まとめ、発表する。	
	【予習】時代背景の発表準備をする。	90分
	【復習】時代背景を踏まえ、D1～3の記録を修正する。	90分
第12回	計画実習の立案内容に関すること（趣味や特技など）を調べ、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	90分
	【復習】調査した趣味や特技などをまとめる。	90分
第13回	計画実習の立案内容に関すること（趣味や特技など）を調べ、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	90分
	【復習】調査した趣味や特技などをまとめる。	90分
第14回	立案内容に関すること（趣味や特技など）を発表	
	【予習】調査した趣味や特技などの発表準備をする。	90分
	【復習】介護計画実習で記述したE,Fの記録を見直す	90分
第15回	介護過程の実施について	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第16回	介護過程の実施について(自分たちが立案した介護計画をロールプレイングしよう)	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第17回	介護過程の実施について(自分たちが立案した介護計画をロールプレイングしよう)	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第18回	介護過程の実施について(自分たちが立案した介護計画をロールプレイングしよう)	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第19回	介護過程の評価と総合評価について	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分
第20回	自分たちが立案した介護計画から評価してみよう	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分

第21回	自分たちが立案した介護計画から評価してみよう	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分
第22回	自分たちが立案した介護計画から評価してみよう	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分
第23回	介護過程の実践的展開 事例1 アセスメント～立案	
	【予習】介護過程の展開(I アセスメントから評価まで)の復習	90分
	【復習】事例1を記録用紙D1～3、E、Fにまとめる。	90分
第24回	介護過程の実践的展開 事例1 アセスメント～立案	
	【予習】介護過程の展開(I アセスメントから評価まで)の復習	90分
	【復習】事例1を記録用紙D1～3、E、Fにまとめる。	90分
第25回	介護過程の実践的展開 事例1 アセスメント～立案	
	【予習】介護過程の展開(I アセスメントから評価まで)の復習	90分
	【復習】事例1を記録用紙D1～3、E、Fにまとめる。	90分
第26回	介護過程とケアマネジメントの関係性	
	【予習】ケアマネジメントとは何か調べてくる。	90分
	【復習】介護過程におけるケアマネジメントについてまとめる。	90分
第27回	介護過程とケアマネジメントの関係性	
	【予習】ケアマネジメントとは何か調べてくる。	90分
	【復習】介護過程におけるケアマネジメントについてまとめる。	90分
第28回	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	
	【予習】介護福祉士の役割を考える。	90分
	【復習】チームアプローチにおける介護福祉士の役割をまとめる。	90分
第29回	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	
	【予習】介護福祉士の役割を考える。	90分
	【復習】チームアプローチにおける介護福祉士の役割をまとめる。	90分
第30回	介護過程の実践的展開 まとめ	
	【予習】介護過程の展開方法を確認する。	90分
	【復習】介護過程実習に向けて、自己の課題を確認する。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-43				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の介護計画の作成や多職種連携などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護過程 、介護過程 介護過程		後継科目	なし					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護過程実習の自己の事例発表(ケーススタディ発表)や事例展開を行い、介護過程の一連の展開に必要な知識、思考力を養います。 また、社会参加の視点からのアプローチ方法やMD S方式、包括的自立支援プログラムなど、介護の現場で活用されるアセスメントシートについて知識を深めていきます。								
学習目標	1.利用者の状況に応じて、応用・活用できるよう能力を養います。2.専門職として必要な知識・技術を身に付け、多職種との連携ができる能力を身に付けます。3.利用者を取り巻く生活環境を意識して、社会の動向に関心を寄せ、よりよい生活支援に取り組むことができる能力を身に付けます。								
キーワード	介護過程の展開、アセスメント、 I C F、施設ケアプラン、事例検討								
テキスト・ 参考書等	アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック みらい								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	実習での経験を踏まえて、実践的な「介護過程の展開」を習得している知識や技術と結びつけていくことができる								
LO-2	既存のアセスメントツールを理解し、オリジナルのアセスメントツールを作成することができる								
LO-3	I C Fの視点をもとに、利用者の状況に応じた介護過程の展開を応用・活用することができる。								
LO-4	事例検討会などに積極的に参加し、介護過程の理解を深めることができる。								
LO-5	円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			10						10
LO-5			20						20
備考	課題レポートは、コメントをつけて返却する。グループワークやディスカッションを授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自己の介護過程実習を振り返る 情報収集D 1～3 アセスメントEを振り返る (1)	
	【予習】介護過程実習で作成した受け持ち利用者のD1.2.3E1.2F G表を見直してくる	60分
	【復習】自分の事例を発表できるようにまとめる	120分
第2回	介護過程実習を振り返る 自己の事例におけるアセスメントから介護計画F、Gまでを見直し発表できるようまとめる。 (2)	
	【予習】自己の事例を見直す	60分
	【復習】自己の事例を振り返りシートに記入する	120分
第3回	介護過程実習を振り返る ケーススタディの発表準備	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員に助言を受け自己の事例を振り返る	120分
第4回	介護過程実習を振り返る ケーススタディ発表	
	【予習】発表の準備をする。	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第5回	介護過程実習を振り返る ケーススタディ発表	
	【予習】前回までのグループメンバーの発表を見直す	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第6回	介護過程実習を振り返る ケーススタディ発表	
	【予習】前回までのグループメンバーの発表を見直す	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第7回	介護過程の展開、社会参加へのアプローチ	
	【予習】社会参加のアプローチ方法を復習する	60分
	【復習】社会参加のアプローチの評価方法を復習する	120分
第8回	介護過程の展開、社会参加へのアプローチ	
	【予習】社会参加のアプローチ方法を復習する	60分
	【復習】社会参加のアプローチの評価方法を復習する	120分
第9回	介護過程の展開、社会参加へのアプローチ	
	【予習】社会参加のアプローチ方法を復習する	60分
	【復習】社会参加のアプローチの評価方法を復習する	120分
第10回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分

第11回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第12回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第13回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第14回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第15回	介護過程に展開におけるアセスメントシート（包括的自立支援プログラム）	
	【予習】これまで学んだ介護過程の展開のまとめをする	60分
	【復習】専門職としてあるべき姿を見据える	120分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-50				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。 基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。 基本的態度を理解し、利用者と接することができるようにロールプレイングを実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。 基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。 基本的態度を理解し、利用者と接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、居宅介護、コミュニケーション、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	令和4年度 介護実習の手引き 最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。 各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	介護実習生としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。 ポスターツアー、ワールドカフェなどを用いた授業の展開も実施								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習の基礎的理解 実習の意義と目的 内容など	
	【予習】テキストP2～P22まで読む	90分
	【復習】感想・気づきを書く	90分
第2回	介護実習区分について 介護実習の施設を調べる	
	【予習】テキストP23～P37まで読む	90分
	【復習】グループワークで調べている施設について詳しく調べてまとめる	90分
第3回	実習施設の理解 2年生の実習報告会に参加する	
	【予習】報告集を読む 質問・感想などをまとめる	90分
	【復習】発表を聞いての感想をまとめ、提出する	90分
第4回	実習施設の理解 施設・認知症ケアの歴史を知る	
	【予習】1つの施設を選択し、沿革を調べる	90分
	【復習】調査したことと今回の学びを連動されて報告できるようにまとめる	90分
第5回	利用者の理解 認知症にいて知る	
	【予習】認知症とは何かを調べる	90分
	【復習】実習で出会う認知症の方へのかかわり方をイメージできる	90分
第6回	介護実習の方法 基礎実習の目的・目標と実習の流れ（ -1）（ -2）	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に向けて具体的な取り組みをイメージする	90分
第7回	特別講義 認知症とともに生きる 丹野智文氏	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第8回	介護実習の方法 到達目標を達成するための取り組みについて考える	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】意見交換した内容を振り返り、まとめて課題を提出する	90分
第9回	介護実習における記録 日々の活動記録について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分
第10回	介護実習における記録 「利用者とのかかわりの記録」について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分

第11回	介護実習に対する準備　実習の心得・カンファレンスについて	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第12回	介護実習に対する準備　基本的な接遇と感染症予防について	
	【予習】一般的なマナーを調べる	90分
	【復習】自己行動を振り返り、マナーと感染予防の実践を生活に取り入れる	90分
第13回	オリエンテーション　実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】施設に電話をかけアポイントメントを取り、報告する	90分
第14回	特別講義　「居宅・施設介護における介護と介護職員の役割・実習生に望むもの」	
	【予習】実習の手引きを確認し読む	90分
	【復習】A-1表作成	90分
第15回	実習スケジュール、評価について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に必要な物品準備、試験に向けての復習	90分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-51				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護福祉論、生活支援技術、コミュニケーション論、コミュニケー		後継科目	実習指導、介護過程実習					
関連科目	介護過程、生活支援技術、介護計画実習、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	基礎実習 -1を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、新たな学習課題を明確にします。また、グループワーク等により情報・体験を共有化を図り学びを深めます。基礎実習 -2、介護計画実習に向けてシャドーイングを取り入れた視点、介護過程の展開を基に、介護計画立案に必要な情報収集に関する知識を習得します。								
学習目標	基礎実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。介護計画実習に向けての目標を理解し、実習記録の書き方や利用者理解の方法が習得できる。								
キーワード	基礎実習 -2、シャドーイング、介護計画実習、ICFの視点、情報収集、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座10介護総合演習・介護実習 富山短期大学 健康福祉学科 「介護実習の手引き」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習 -2、介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の全体像を I C F の視点から捉え、生活を説明できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。 各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70		10	20			100
LO-1			20						20
LO-2			30						30
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワーク活動、参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習指導 授業の概要説明 基礎実習 -1 振り返り	
	【予習】基礎実習 -1 実習ファイルの確認をする。実習の手引き参照	30分
	【復習】基礎実習 --1を終えて明らかになった課題を、指示された用紙に記入する。	60分
第2回	基礎実習 事後学習 記録用紙の確認	
	【予習】介護実習の手引きの記録の書き方、前期配布資料などを確認する	30分
	【復習】自分の記録用紙を再確認し、基礎実習 -2に生かせるよう書き方や視点のポイントをまとめる	60分
第3回	基礎実習 -2 事前準備 実習の目標、配属箇所などの確認	
	【予習】介護実習の手引き、基礎実習 -2についてよく読んでくる	30分
	【復習】基礎実習 -2 自分の目標の設定を行う	60分
第4回	基礎実習 -1報告会	
	【予習】発表原稿の再確認をする 他のメンバーの報告内容をよく読み質問等を考える	30分
	【復習】報告会の感想をまとめる	60分
第5回	基礎実習 -2 経験録について	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】生活支援技術のテキスト等で内容を確認する。	60分
第6回	基礎実習 -2 オリエンテーション	
	【予習】手びきを読む。	30分
	【復習】配布物、実習内容など確認する	60分
第7回	介護計画実習 事前学習（１） 実習のねらいと到達目標について説明します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】介護計画実習の流れを確認します。	60分
第8回	介護計画実習 事前学習（２） 受け持ち利用者像について明確にします。	
	【予習】平成27年度介護計画実習報告集を読んでくる。興味・関心を持った事例を3例取り上げる。	30分
	【復習】介護計画実習での各自の受け持ちたい利用者像を用紙に記入する。	60分
第9回	介護計画実習 事前学習（３） 実習課題の明確化 日々の実習目標の作成	
	【予習】実習の手引き「今日の実習目標」要点を読んでくる。	30分
	【復習】授業中の課題を完成する。	60分
第10回	介護計画実習 事前学習（４） 生活支援技術の確認 受け持ち利用者像の最終確認をして、実習での具体的な行動を計画します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】課題作成、提出。	60分

第11回	特別講義 介護計画実習にむけて、実習指導者から講義を受けます。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】事前レポート作成、提出。	60分
第12回	実習で想定される問題点に対する対応策を検討します。	
	【予習】事前レポート作成、提出	60分
	【復習】授業で提示された事例を振り返る。	60分
第13回	レクリエーション企画立案・報告書の書き方について説明	
	【予習】実習の手引きを読んでくる	30分
	【復習】レクリエーション企画書・報告書の確認	60分
第14回	介護計画実習で使用する記録用紙の配布。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】定期試験対策	60分
第15回	事前打ち合わせの オリエンテーション	
	【予習】定期試験対策	30分
	【復習】定期試験対策	60分

授業科目名	実習指導				科目コード	W111-52			
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護			担当教員名	奥野 勝太 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵				
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	実習指導 、 介護過程 、 介護過程			後継科目	介護過程				
関連科目	実習指導 、 介護福祉論 、 社会保障、介護過程 、 介護過程								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理する。また、実習課題の自己到達度を評価し、介護過程実習に向けての課題を明確にする。また、グループワーク等により、各々の体験の共有化を図り、学びを深める。								
学習目標	介護過程実習の目的や到達目標などの概要について理解する。実習先のサービスや役割を理解したうえで、自己の実習目標を明確にし、実習記録に記入する。								
キーワード	介護過程、情報収集、アセスメント、介護計画立案・実施・評価 夜勤実習								
テキスト・ 参考書等	令和7年度年度富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護過程実習の目的・目標、実習記録の内容や書き方を理解できる。介護過程の展開（情報収集から評価まで）方法を理解できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	実習での学びや課題、他者の助言などをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し意見を述べることができる。グループワークの趣旨を理解し主体的にディスカッションに参加できる。								
LO-5	協調性や責任感をもち、他者の意見を尊重しつつ、授業に参加することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	採点した課題レポートは、コメントをつけて返却する。グループワークや発表会を授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護計画実習事後指導（１） 介護計画実習を振り返る 介護過程実習、総合実習の配属について説明を受け、希望する施設・事業所の希望を考える。	
	【予習】介護計画実習のファイルやメモを見て、自分で振り返りを行う。	90分
	【復習】実習希望施設の場所の確認、概要の確認を行う。	90分
第2回	介護計画実習事後指導（２） グループ別実習報告を行い、利用者との関わりからの気づきや学び、介護職員や関連職種の態度や姿勢から学んだこと、指導で指摘されたこと等を話し合い、自分の体験と照らし合わせての差異から考え方を深める。	
	【予習】グループ演習ワークシートを記入してくる。	90分
	【復習】他の学生の体験も自分の体験を通して学んだことと同様になるよう、討議で出た意見をまとめ、さらなる利用者理解や専門職としてのあり方についての理解を深める。	90分
第3回	介護計画実習報告会	
	【予習】介護計画実習報告会の発表準備をする。	90分
	【復習】介護計画実習発表会からの学びをまとめる。	90分
第4回	介護過程実習事前指導（１） 介護過程実習の目的、目標、課題を理解する。	
	【予習】介護実習手引きの過程実習の内容を読む。	90分
	【復習】介護過程実習の全体の進め方を確認する。	90分
第5回	介護過程実習事前指導（２） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】介護過程実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第6回	介護過程実習事前指導（３） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】介護過程実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第7回	介護過程実習事前指導（４）介護過程実習における自己の課題を明確にする。	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目的と到達目標を確認する	90分
	【復習】介護計画実習からの自己課題を明確にし、設定した自己目標を確認し、どのようにすれば達成できるか、具体的な行動目標を明らかにする。	90分
第8回	介護過程実習事前指導（５） 夜勤実習について	
	【予習】介護過程実習の内容を見直す。	90分
	【復習】夜勤中の介護職の役割と特徴をまとめる。	90分
第9回	介護過程実習事前指導（６） 事前レポートを作成する	
	【予習】第7回の実習指導で明確になった目標・課題を思い出し、シートに記入してくる。	90分
	【復習】事前レポートを完成させる。	90分
第10回	介護過程実習事前指導（７） 「受け持ちしたい利用者像」を作成する。	
	【予習】介護計画実習で受け持ちした利用者との関わりを振り返りや見出した課題から、介護過程実習で受け持ちしたい利用者を考える。	90分
	【復習】「受け持ちしたい利用者像」と自己課題との関連性を確認する。	90分

第11回	介護過程実習事前指導（8）経験録より生活支援技術の到達度と自己評価を振りかえり、自己の実習プログラムを計画する。	
	【予習】介護課程実習の内容を見直す。手引きを基に、3週間のシミュレーションを行う。	90分
	【復習】実習の手引きを参考に、3週間の介護過程実習の自己プログラムを見直す。	90分
第12回	介護過程実習事前指導（9）事前オリエンテーション実習記録の記述方法、注意事項について理解できる。	
	【予習】受け持ちたい利用者像と自己の課題を見直す。	90分
	【復習】介護過程実習の記録方法、注意事項について確認する	90分
第13回	介護過程実習事前指導（10）事前訪問	
	【予習】事前訪問時の注意事項を確認しておく	90分
	【復習】事前訪問で受けた説明についてA表に記載する	90分
第14回	介護過程実習事前指導（11）カンファレンスについて	
	【予習】D-1.2.3表、E-1.2表、F表、G表の記入方法や書き方の視点をしっかり理解する。	90分
	【復習】カンファレンスにむけた準備資料と進め方を復習する。	90分
第15回	介護過程実習事前指導（12）介護過程実習に向けて最終オリエンテーション	
	【予習】手引きやこれまでの資料から介護過程実習の意義と目的、自己目標を関連付けて考えをまとめる。	90分
	【復習】介護過程実習の自己課題・目標が達成できるよう、より考えを深める。	90分

授業科目名	実習指導				科目コード	W111-53			
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護			担当教員名	奥野 勝太 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵				
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)	実習指導 介護過程実習			後継科目					
関連科目	実習指導 生活支援技術 ～								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護過程実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価する。多職種連携実習を振り返り、介護の魅力を考え、自己の課題を明確にする。								
学習目標	多職種連携実習の目的や到達目標などの概要について理解する。実習先のサービスや役割、多職種連携について理解し、自己の目標を明確にし、実習記録に記入する。また、多職種連携実習を振り返り、介護の魅力を考える。								
キーワード	多様な介護サービス 自主的 自己課題 介護観								
テキスト・ 参考書等	2024年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	多職種連携実習の目的・目標をもとに、尊厳と自立を支える介護、多職種連携について理解できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	実習での学びや課題、他者の助言などをまとめることができる。								
LO-4	意欲的に授業に参加し、各自の介護の魅力について理解を深めることができる。								
LO-5	協調性や責任感をもち、他者の意見を尊重しつつ、授業に参加することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	採点した課題レポートは、コメントをつけて返却する。グループワークや発表会を授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程実習の事後指導（１）実習を振り返り自己の達成度を確認する	
	【予習】実習記録、経験録を見直す	30分
	【復習】自己評価を見ながら振り返る	30分
第2回	介護過程実習の事後指導（２）実習を振り返り自己の達成度を確認する	
	【予習】受け持った利用者の記録D1～3、E-1・E-2,F,G表を見直す	30分
	【復習】受け持った利用者の記録で、情報や内容があいまいなところを訂正する。既定の方法で整理する	30分
第3回	多職種連携実習事前指導（１） 総合実習の目的、目標、課題を理解する。	
	【予習】介護実習手引きの総合実習の内容を読む。	90分
	【復習】多職種連携実習の全体の進め方を確認する。	90分
第4回	多職種連携実習事前指導（２） 多職種連携実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】多職種連携実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第5回	多職種連携実習事前指導（２） 多職種連携実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】多職種連携実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第6回	多職種連携実習の記録用紙の配布と説明	
	【予習】今までの実習を振り返る	30分
	【復習】実習の手引きを読み返す	30分
第7回	多職種連携実習の心得について	
	【予習】実習の手引き「実習の心得」を読んでくる。	20分
	【復習】実習の心得を振り返る。	25分
第8回	多職種連携実習事前訪問	
	【予習】事前訪問時の注意事項を確認しておく	20分
	【復習】事前訪問で受けた説明についてA表に記載する	25分
第9回	自己の課題を踏まえ、自主的な実習になるための自己プログラムを作成する	
	【予習】実習の手引き 多職種連携実習のプログラムを見ておく	20分
	【復習】他者の意見を聞き自己のプログラムを見直す	40分
第10回	実習事前報告 事前訪問で気づいたこと、注意事項を報告する。他者の意見を受け実習の課題を確認する	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】他者の意見を聞き、自己の課題を確認しておく	40分

第11回	多職種連携実習最終オリエンテーション	
	【予習】実習に必要なことを確認しておく	20分
	【復習】自己のプログラムを見直して実習に備える	25分
第12回	多職種連携実習の振り返りと報告会についてのオリエンテーション	
	【予習】実習記録を整理しておく。	20分
	【復習】クラスメイトの意見を聞いて、学んだことを整理しておく。	25分
第13回	多職種連携実習報告会 発表	
	【予習】自己の多職種連携実習の記録すべてを整理しておく	20分
	【復習】報告会における意見、感想を受け振り返りを行いレポートを提出する	40分
第14回	多職種連携実習報告会 発表	
	【予習】自己の多職種連携実習の記録すべてを整理しておく	20分
	【復習】報告会における意見、感想を受け振り返りを行いレポートを提出する	40分
第15回	介護実習のまとめ	
	【予習】これまでの実習記録をふりかえる	20分
	【復習】授業での意見や感想をもとに課題レポートをまとめる。	40分

授業科目名	基礎実習 -1				科目コード	W111-60			
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護			担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太				
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期			授業の方法	実習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	実習指導			後継科目	介護計画実習 実習指導				
関連科目	生活支援技術 ところとからだのしくみ コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人が利用する施設・事業所で、実習指導者のシャドーイングをとおして、介護の仕事の魅力を感じることができる。								
学習目標	1. 観察をとおして、利用者がどのようにサービスを利用しているか理解することができる 2. 観察をとおして、指導者がどのように利用者と関わっているか理解することができる。 3. 指導者のもとで利用者とコミュニケーションをとることができる。 4. 介護職の仕事の内容と働く場を理解する。								
キーワード	シャドーイング コミュニケーション 介護の魅力 観察								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	利用者とコミュニケーションをとることができる								
LO-2	生活支援技術 初歩的なコミュニケーションができる。 利用者が暮らしやすいように、安全に配慮した工夫がわかる。								
LO-3	記録と計画 見学・実施した事柄を実習記録に記録することができる。 利用者とのかかわりの事実が記録できる。								
LO-4	チームワーク 介護職員の業務内容を理解できる。 社会的役割 施設・事業所について理解できる。 家族とのかかわりが理解できる。								
LO-5	実習課題 自己の課題を設定し、計画的に取り組むことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】A表追記	90分
第2回	2日目 1.2.3.6.7同様 8.職員に同行し、利用者を知る・いい介護に触れる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第3回	3日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第4回	4日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第5回	5日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる 気づきをまとめる 最終カンファレンス	
	【予習】B表記入 最終カンファレンスの準備をする	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。 C表を記入する。 経験録を記入確認する。	90分

授業科目名	介護計画実習			科目コード	W111-61				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 奥野 勝太					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	3単位					
前提科目(知識)	基礎実習 -1、基礎実習 -2		後継科目	介護過程実習					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士国家資格								
授業の概要	実習区分 に該当する施設・事業所で介護過程をととした介護計画の立案と、生活支援技術の基礎的な体験を行う。								
学習目標	受け持ち利用者の個別援助計画立案までのプロセスをとおして、介護の魅力を理解することができる								
キーワード	介護計画立案 受け持ち利用者 アセスメント 生活支援技術 時差勤務								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学健康福祉学科 2024年度「介護実習の手引き（介護計画実習）」								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。 配属された実習場所で生活をしているその他の利用者を大まかに捉える事ができる。								
LO-2	生活支援技術 個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる								
LO-3	利用者の現在の心身の状況が分かるように、具体的に記録する。受け持ち利用者の思いを開度計画を立案し、簡潔に記録で きる。								
LO-4	チームワーク 受け持ち利用者を中心に多職種との協働を経験できる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が理解できる。 社会的役割								
LO-5	実習課題 設定した課題を実践し、評価することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定 1.配属先の利用者の特性を知る。2.『受け持ちしたい利用者像』と照らし合わせる。3.指導者より、複数の利用者を紹介してもらう。4.いろいろな場面をととして利用者にかかわる。 1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。経験録をチェックする。	30分
第2回	受け持ち利用者の選定 1.配属先の利用者の特性を知る。2.『受け持ちしたい利用者像』と照らし合わせる。3.指導者より、複数の利用者を紹介してもらう。4.いろいろな場面をととして利用者にかかわる。 1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。経験録をチェックする。	30分
第3回	受け持ち利用者の決定 指導者、スタッフ、巡回指導教員等に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し同意を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。 実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」「模倣」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。	30分
第4回	受け持ち利用者の情報収集 個人ファイル、利用者、実習指導者、担当職員、多職種の方々から情報を収集しD-1.2.3表を記入する。情報の記入にあたっては「実習の手引き」を参照する。介護職以外の職種からも情報を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。	30分
第5回	受け持ち利用者の情報収集 個人ファイル、利用者、実習指導者、担当職員、多職種の方々から情報を収集しD-1.2.3表を記入する。情報の記入にあたっては「実習の手引き」を参照する。介護職以外の職種からも情報を得る。1事例について情報収集・アセスメント・計画立案までのプロセスについて説明を受けて理解する。実習指導者または担当職員の指導のもと、生活支援技術を「見学」	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第6回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第7回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第8回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う D表の完成 実習指導者又は担当職員に提出し、内容の確認をする。指導者から助言をもらい、再び情報収集を行い記入する。追加・訂正したものを実習指導者または担当職員に提出し、内容の確認をする。介護職以外の職種の方々からも情報をもらいD表に記載する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第9回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う アセスメントを行う。 「実習の手引き」の記入上の留意点を再度確認し、全体像を把握する。介護上の課題の方向性について、考え実習指導者、担当職員、多職種と意見交換をする。E表に記入する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第10回	自分の受け持ち利用者の情報収集・アセスメントを行う アセスメントを行う。 「実習の手引き」の記入上の留意点を再度確認し、全体像を把握する。介護上の課題の方向性について、考え実習指導者、担当職員、多職種と意見交換をする。E表に記入する。実習指導者または担当職員の指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の「見学」「模倣」する。可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分

第11回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。アセスメントの完成 指導者の指導を受けながらアセスメントを完成する。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第12回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的に達成可能な目標を設定する。具体的援助内容（具体策）を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第13回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的に達成可能な目標を設定する。具体的援助内容（具体策）を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第14回	アセスメントを基に個別援助計画を立案する。介護計画の立案 生活課題に添って、具体的に達成可能な目標を設定する。具体的援助内容（具体策）を立案し、F表に記入する。F表を記入後、指導者の確認を得る。今まで経験できなかった生活支援技術を「見学」「模倣」する。受け持ち利用者への生活支援技術を可能であれば「実施」する。	
	【予習】A-1・2表を確認し、不足しているところは記入する。B表の目標を設定し、記入する。	30分
	【復習】A-1・2表、B表1日目を仕上げる。翌日の予定を確認し、自己の目標を設定し、B表に記入する。D表記入、経験録をチェックする。C表を記入する。	30分
第15回	情報収集・アセスメント・個別援助計画の立案という一連の介護過程を振り返る。 2.他職種との関わりについて振り返る	
	【予習】B表記入 反省会の準備をする。	30分
	【復習】A-1・2表・B表・C表・D表・経験録・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	30分

授業科目名	介護過程実習			科目コード	W111-62				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	3単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護計画実習		後継科目	総合実習 実習指導					
関連科目	介護過程 、 、 、 基礎実習 実習指導 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための「受持ち利用者」の介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正という介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。								
学習目標	「受け持ち利用者」のアセスメント・計画・立案・実践・評価・修正といった介護過程のプロセスを全面的に理解する。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実践することができる。								
キーワード	介護計画立案・実施・評価 受け持ち利用者 生活支援技術 夜勤実習 通所介護・通所リハビリ実習								
テキスト・ 参考書等	令和7年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。さまざまな社会資源を知り、活用の仕方が理解できる。								
LO-2	個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。生活支援技術の習得には、積み重ねが必要であることを理解できる。								
LO-3	ニーズを踏まえた実行可能な介護計画を立案し、実施、評価、修正ができる。介護過程や実施した事柄を具体的に簡潔に記録することができる。								
LO-4	受け持ち利用者の援助を中心に、他の職種・職員との協働を体験する。専門性のあり方について理解できる。								
LO-5	居宅サービスを体験し、施設と地域とのつながりが理解できる。個別性を尊重した自立支援について理解を深めることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	実習中は、適宜カンファレンスを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とはかる。指導のもと、A D Lの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンフ	
	【予習】1日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。持ち物の確認を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第2回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とはかる。指導のもと、A D Lの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンフ	
	【予習】2日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。受け持ち利用者を決定するための情報を整理する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第3回	受け持ち利用者の決定。(候補者を2、3人あげ、指導者に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し、同意を得る) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とはかる。指導のもと、A D Lの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】3日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第4回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とはかる。指導のもと、A D Lの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンフ	
	【予習】4日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第5回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とはかる。指導のもと、A D Lの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンフ	
	【予習】5日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にして記入していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受持ち利用者の情報を整理して記録をする。	0分
第6回	受け持ち利用者の情報収集・確認(再度、不足している情報を多方面から収集する。追加・訂正したものを指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とはかる。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】6日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報を記入し、仕上げる。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受持ち利用者の情報を整理して記録をする。	0分
第7回	受け持ち利用者の情報収集完成(実習の手引きの記入上の留意点を再度確認し、全体像を捉えていく。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とはかる。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】7日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。完成したD1.2.3表を基に、10の介護の視点を文章化していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受持ち利用者の全体像から課題を介護上の課題を明確にするために、介護の10の視点から情報の意味づけ、統合を行う。	0分
第8回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とはかる。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験し	
	【予習】8日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第9回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とはかる。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験し	
	【予習】9日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表、F表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第10回	中間カンファレンス(D-1.2.3表、E-1.2表、F表を基に、生活上の課題及び援助の方向性、具体的援助内容について説明し、助言を得る) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とはかる。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】10日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。中間カンファレンスの準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。中間カンファレンスの振り返りをし、記録を整理する。	0分

第11回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】11日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第12回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】12日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第13回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第14回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第15回	介護計画の評価・修正（実施した結果を考察する。再度アセスメントをする。） 生活支援技術の習得（指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者と交流を図る。ターミナルケアの実践に関する取り組みの説明を聞く。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。）	
	【予習】15日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分

授業科目名	多職種連携実習			科目コード	W111-63				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	実習指導					
関連科目	実習指導 、 基礎実習 計画実習 過程実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士資格取得								
授業の概要	介護施設・事業所の介護過程の展開方法(アセスメント・介護計画の立案・実施・評価)やこれまで実施していない生活支援技術を体験する。また、実際の多職種連携における各専門職の役割を理解する。								
学習目標	利用者の尊厳と自立を支える介護をととして、介護の魅力を理解することができる。多職種連携の役割とその重要性について理解することができる。								
キーワード	利用者理解 多職種連携 尊厳と自立支援								
テキスト・ 参考書等	令和7年度富山短期大学健康福祉学科実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者理解 さまざまな利用者の全体像を総合的に理解する。個別性を踏まえたうえでのケアの在り方を理解する								
LO-2	記録と計画 利用者の全体像が分かるように具体的に記述する 見学・体験した事柄を実習記録に記述することができる								
LO-3	生活支援技術 自立に向けた技術・意欲を引き出すコミュニケーションを工夫し、技術の到達レベルを確認できる								
LO-4	チームワーク チームの一員として介護の実践に携わり、介護福祉士の役割について総合的に理解できる								
LO-5	実習課題自己の課題の達成に向け計画的に取り組み、介護観について理解を深める								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	施設の一日の流れを知る 利用者の生活環境と一日の過ごし方を理解する 利用者と意図的なかかわりを実践する	
	【予習】実習の計画表を立て確認する	90分
	【復習】一日の実習を振り返り、見学・体験したことを記録に記載していく 翌日の自己の目標を考える	90分
第2回	実習指導者の説明を受け、基本的な生活支援技術を見学・体験していく ミニカンファレンスで気づいたことを発表し助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第3回	実習指導者の説明を受け基本的な生活支援技術の見学・体験をする ミニカンファレンスで気づいたことを発表し、助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第4回	利用者と意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する。多職種が連携しているサービス担当者会議やケースカンファレンス、利用者の入退所などの体験をする。	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第5回	利用者と意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する。多職種が連携しているサービス担当者会議やケースカンファレンス、利用者の入退所などの体験をする。	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第6回	利用者と意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する。多職種が連携しているサービス担当者会議やケースカンファレンス、利用者の入退所などの体験をする。	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第7回	利用者と意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する。多職種が連携しているサービス担当者会議やケースカンファレンス、利用者の入退所などの体験をする。	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第8回	利用者と意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する。多職種が連携しているサービス担当者会議やケースカンファレンス、利用者の入退所などの体験をする。	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第9回	利用者と意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する。多職種が連携しているサービス担当者会議やケースカンファレンス、利用者の入退所などの体験をする。	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する	90分
第10回	利用者と意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する。多職種が連携しているサービス担当者会議やケースカンファレンス、利用者の入退所などの体験をする。	
	【予習】前日の実習内容を振り返る 最終カンファレンスの準備をする	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する A-1表記入する	90分

授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美 白井 聡美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。（中島）								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	こころとからだのしくみ					
関連科目	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	介護実践に必要なこころとからだのしくみの導入科目として、健康の概念、こころとからだのしくみの基礎的理解をはかり、こころのしくみについて基礎的な知識を得る内容とする。 認知症や障害のある人がその人らしい生活を実現できるよう、心理的側面から介護実践を考えることができる内容とする。								
学習目標	1.健康の概念、人間の脳のしくみと働きを理解する。 2.人間の欲求、自己実現、認知のしくみ、学習、記憶、感情、意欲、動機づけをはじめとしたこころのしくみを理解する。								
キーワード	介護、認知症、脳、尊厳								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について理解する。								
LO-2	健康の概念、こころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について説明できる。								
LO-3	こころのしくみについて学生自身の体験や身近な高齢者等を通して考察することができる。								
LO-4	こころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がある。								
LO-5	こころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトに共感できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50	20			30			100
LO-1		30							30
LO-2		10							10
LO-3		10	10			10			30
LO-4						10			10
LO-5			10			10			20
備考	Aは普通の授業の中で評価する。 授業アンケートの質問等は、次の講義で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	こころとからだのしくみの基礎：オリエンテーション、健康とは何か （中島眞由美）	
	【予習】シラバスを読んで授業の内容について確認する。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第2回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解 （中島眞由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第3回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解 （中島眞由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第4回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解 （中島眞由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第5回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解 （中島眞由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第6回	こころのしくみの理解：こころのしくみについて （白井聡美）	
	【予習】こころのしくみについて本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第7回	こころのしくみの理解：人間欲求の基本的理解・自己実現 （白井聡美）	
	【予習】テキストp14～18を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第8回	こころのしくみの理解：自己概念について （白井聡美）	
	【予習】テキストp19～23を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第9回	こころのしくみの理解：脳のつくりと働きの理解 （白井聡美）	
	【予習】テキストp25～27を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第10回	こころのしくみの理解：認知のしくみ （白井聡美）	
	【予習】テキストp25～28を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

第11回	こころのしくみの理解：学習・記憶・思考のしくみ （白井聡美）	
	【予習】テキストp28～32を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第12回	こころのしくみの理解：感情・情動のしくみ （白井聡美）	
	【予習】テキストp32～33を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第13回	こころのしくみの理解：意欲・動機づけのしくみ （白井聡美）	
	【予習】テキストp33～34を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第14回	こころのしくみの理解：適応のしくみ （白井聡美）	
	【予習】テキストP35～38を読む。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第15回	こころのしくみの理解：まとめ （白井聡美）	
	【予習】これまでの学びを振り返っておく。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	こころとからだのしくみ 、発達と老化の理解、					
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）や機能（生理学）、生体機能を維持するしくみを学ぶ。								
学習目標	対象の理解や介護技術の基礎となる人体の構造と機能に関する基礎知識を身につける。								
キーワード	解剖、生理、生命、ヒト、細胞、組織、器官								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 1 1 こころとからだのしくみ 第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能に関する基礎知識がある。								
LO-2	人体を構成している各組織や器官の構造と機能が説明できる。								
LO-3	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて考えることができる。								
LO-4	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講できる。								
LO-5	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境に気を配ることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	30								30
LO-2	20								20
LO-3	10		20						30
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	Aは普段の授業の中で評価する。 授業アンケートの質問等は、次の講義で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション からだのしくみの理解 組織・器官、身体各部の名称	
	【予習】テキストp42～47を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第2回	からだのしくみの理解 細胞、遺伝	
	【予習】テキストp46～49を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第3回	からだのしくみの理解 脳神経、神経系	
	【予習】テキストp49～53、p71～72を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第4回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56、p122～127を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第5回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56、p122～127を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第6回	からだのしくみの理解 呼吸器、循環器	
	【予習】テキストp56～60を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第7回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第8回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第9回	からだのしくみの理解 泌尿器、生殖器	
	【予習】テキストp63～64、p72～73を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第10回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分

第11回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第12回	からだのしくみの理解 内分泌	
	【予習】テキストp74～78を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第13回	からだのしくみの理解 血液、体液、リンパ液	
	【予習】テキストp78～80を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第14回	からだのしくみの理解 生命を維持するしくみ	
	【予習】テキストp81～82を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分
第15回	からだのしくみの理解 介護福祉職に必要な葉の知識、まとめ	
	【予習】テキストp82～86を読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	90分

授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-12				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ ・ 、生活支援技術 、発達と老化の理解 ・ 障害者ケア論		後継科目	こころとからだのしくみ					
関連科目	発達と老化の理解 ・ 生活支援技術 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識として、移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に応じたこころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について学ぶ。								
学習目標	1.移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に必要なこころとからだのしくみに関する基本的な知識を身につける。 2.介護実践時の観察のポイントや対応に関する基礎的な知識を身につける。								
キーワード	移動、身じたく、食事、入浴、清潔保持								
テキスト・ 参考書等	・最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」第2版／中央法規（テキスト） ・最新介護福祉士養成講座7「生活支援技術」第2版／中央法規（参考書）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。								
LO-2	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントを説明できる。								
LO-3	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力がある。								
LO-4	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力がある。								
LO-5	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力がある。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		25			25			100
LO-1	35								35
LO-2	15					10			25
LO-3			10			5			15
LO-4			10			5			15
LO-5			5			5			10
備考	その他Aは授業の中で評価する。 個人ワーク、グループワークを取り入れる。 授業アンケートでの質問は必要に応じ、次回授業で全体で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第3章 移動に関連したところからだのしくみ 第1節 移動のしくみ	
	【予習】教科書P90～P104までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第2回	第3章 移動に関連したところからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が移動に及ぼす影響	
	【予習】教科書P106～P111までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第3回	第3章 移動に関連したところからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P112～P115までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第4回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ グループワーク：身じたくに関わる部位の加齢に伴う変化や機能低下、障害についてまとめる	
	【予習】教科書P118～P142まで目を通してくる。	90分
	【復習】自分のグループが担当するページを読み直し、不明点を調べる。発表に向けてどのように資料を作成するか考える。	90分
第5回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ グループワークの続き：身じたくに関わる部位の加齢に伴う変化や機能低下、障害についてまとめ、発表の準備をする	
	【予習】教科書P118～P142の間で、自分のグループが担当するページをよく読み、不明点を調べたり、まとめ方を考えてくる。	90分
	【復習】作成した資料を見直す。発表の準備をする。	90分
第6回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響 グループワークの発表	
	【予習】クラスメイトが理解しやすい発表内容を考え、準備する。役割分担を確認する。	90分
	【復習】グループワークの発表内容のおさらい、資料のファイリング	90分
第7回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P143～P151までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第8回	第5章 食事に関連したところからだのしくみ 第1節 食事のしくみ	
	【予習】教科書P154～P160までを読んでくる。 p161演習5-1「摂食嚥下の5期モデルと内容」の空欄を埋めてくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第9回	第5章 食事に関連したところからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が食事に及ぼす影響	
	【予習】教科書P162～P168までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第10回	第5章 食事に関連したところからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P169～P175までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分

第11回	第6章 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第12回	第6章 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第13回	第6章 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響	
	【予習】教科書P190～P199までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第14回	第6章 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P201～P210までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでのノートを振り返りみてる。	90分
	【復習】移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみについてまとめる	90分

授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-13				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ			担当教員名	白井 聡美				
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	2年後期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ ・ ・			後継科目	なし				
関連科目	発達と老化の理解 ・ 、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	排泄、休息・睡眠の介護実践の場面に応じたこころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について学ぶ。 。人生の最終段階にある人と家族を支援するため、終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響、生活支援を行うために必要となる基礎的な知識を学ぶ。								
学習目標	排泄、休息・睡眠の介護に必用なこころとからだのしくみに関する基本的知識を身につける。 本人と家族の自立した生活を維持するために必要な心理・社会的支援の基礎的知識を身につける。 人生の最終段階にある人と家族を支援するための基礎的知識を身につける。								
キーワード	排泄、休息、睡眠、人生の最終段階、死の兆候								
テキスト・ 参考書等	・最新介護福祉士養成講座11「こころとからだのしくみ」第2版 / 中央法規（第1回～7回まで使用） ・介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア / 翔泳社（第8回～15回で使用）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	排泄、休養・睡眠のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。人生の最終段階にある人と家族を支援するための基礎的知識がある。								
LO-2	排泄、休養・睡眠の観察のポイントについて説明できる。人生の最終段階にある人と家族への観察点や留意点が説明できる。								
LO-3	心身の機能低下が排泄、休養・睡眠に及ぼす影響とその対応についての思考力・判断力がある。人生の最終段階にある人と家族への支援について思考力・判断力がある。								
LO-4	排泄、休養・睡眠のケアについて科学的根拠に基づき主体的に学び続ける力がある。人生の最終段階にある人と家族への支援について主体的に学び続ける力がある。								
LO-5	排泄、休養・睡眠のケアが必要な人の思いに共感する力がある。人間の尊厳について考え、人生の最終段階の人に共感する力がある。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50	35			10	5		100
LO-1		40	5						45
LO-2		10					5		15
LO-3			15						15
LO-4			5			5			10
LO-5			10			5			15
備考	その他 A は授業での発表や態度をもって評価する。 個人ワーク、グループワークを取り入れる。 授業アンケートでの質問は必要に応じ、次回授業で全体で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第7章 排泄に関連したところとからだのしくみ 第1節 排泄のしくみ	
	【予習】教科書p214～224をよく読んでくる。 P225演習7-1「排尿と排便のしくみ」の空欄を埋める。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第2回	第7章 排泄に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響	
	【予習】教科書227～236をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	第7章 排泄に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響	
	【予習】教科書p227～236をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第4回	第7章 排泄に関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書p238～244をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第5回	第8章 休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ 第1節 休息・睡眠のしくみ	
	【予習】教科書p246～253をよく読んでくる。 p254演習8-1「レム睡眠とノンレム睡眠」の空欄を埋める。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第8章 休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響	
	【予習】教科書p256～262をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第7回	第8章 休息・睡眠に関連したところとからだのしくみ 第3節 変化の気づくためのポイント	
	【予習】教科書p264～267をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第8回	小テスト（第1回～7回の内容での） 看取りとは 看取りケアの考え方	
	【予習】小テストの学習 テキスト「介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア」PART1「看取りケアの考え方」p12～32の内容に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	看取りケアの進め方	
	【予習】テキスト「介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア」PART2「看取りケアの進め方」p34～78の内容に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第10回	看取りケアの進め方 人生の最終段階に向かうところとからだの変化	
	【予習】テキスト「介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア」PART2「看取りケアの進め方」p34～78の内容に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

第11回	看取りケアの技術	
	【予習】テキスト「介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア」PART3「看取りケアの技術」p80～106の内容に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	死後のケア、グリーフケア	
	【予習】テキスト「介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア」PART4「死後のケア」p108～122の内容に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第13回	自宅における看取り	
	【予習】テキスト「介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア」PART5「自宅における看取り」p124～134の内容に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第14回	スタッフの教育とケア	
	【予習】テキスト「介護スタッフのための医療の教科書 看取りケア」PART6「スタッフの教育とケア」p136～154の内容に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの講義内容や学習を整理したノートなどを見直し、自分の考えをまとめられるよう必要なものを整理し、準備する。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美 堀 英子					
実務経験	市の職員（看護師）として病院に勤務し、高齢者のケアや家族の相談、社会資源との連携をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	発達と老化の理解					
関連科目	こころとからだのしくみ 、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士、介護職員初任者研修								
授業の概要	人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病について学ぶ。 老化理論、老化に伴う身体的・心理的・社会的変化と生活への影響について学ぶ。								
学習目標	1.人間の成長と発達の基礎を理解する。 2.老化理論、老年期の発達と成熟を理解する。 3.老化に伴うこころとからだの変化と生活を理解する。								
キーワード	成長と発達 発達理論 老化 高齢者の心理 高齢者に多い症状・病気								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規、 介護職員初任者研修テキスト1介護のしごとの基礎 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活について、基礎的な知識がある。								
LO-2	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活について、説明する力がある。								
LO-3	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活について考える力がある。								
LO-4	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活について関心をもち学ぶ意欲がある。								
LO-5	エイジズムに陥ることなく高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容する力がある。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	60			30			100
LO-1		10	10						20
LO-2			10			10			20
LO-3			30						30
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	レポートにコメントする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 第1節 成長・発達の考え方 / 第2節 成長・発達の原則・法則	
	【予習】発達と老化の理解 P2～9を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第2回	人間の成長と発達の基礎的理解 第3節 成長・発達に影響する要因	
	【予習】発達と老化の理解 P10～P17を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	人間の発達段階と発達課題 第1節 発達理論	
	【予習】発達と老化の理解 P20～P23までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第4回	人間の発達段階と発達課題 第2節 発達段階と発達課題	
	【予習】発達と老化の理解 P24～P27までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第5回	人間の発達段階と発達課題 第2節 発達段階と発達課題 / 第3節 身体機能の成長と発達	
	【予習】発達と老化の理解 P26～P39までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	人間の発達段階と発達課題 第3節 身体的機能の成長と発達	
	【予習】発達と老化の理解 P39～P46までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第7回	人間の発達段階と発達課題 第4節 心理的機能の発達	
	【予習】発達と老化の理解 P教科書P47～P54までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第8回	人間の発達段階と発達課題 第5節 社会的機能の発達	
	【予習】発達と老化の理解 P55～P67までを読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	老化に伴うこころとからだの変化と日常	
	【予習】教科書P70～P106、初任者研修テキストP268～P295までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、該当するワークシートを完成させる。	90分
第10回	老化に伴うこころとからだの変化と日常	
	【予習】教科書P70～P106、初任者研修テキストP268～P295までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、該当するワークシートを完成させる。	90分

第11回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章第1節 老化にともなう身体的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P110～P140までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章第2節 老化にともなう心理的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P143～P162までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第13回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】初任者研修テキストP296からP327までよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第14回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章第3節 老化にともなう社会的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P164～P184までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】初任者研修テキストP296からP327までよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	山本 朋子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	発達と老化の理解		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目 社会福祉主事任用資格関連科目								
授業の概要	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を習得するとともに、中年・高齢期にみられる代表的な疾患および生活上の留意点を学ぶ。								
学習目標	1.高齢者の健康について理解する。 2.高齢者の症状・疾患の特徴について理解する。 3.高齢者に多い疾患の原因、症状、治療を知り、生活上の留意点を理解する。 4.保健医療職との連携の必要性やあり方について理解する。								
キーワード	高齢者に多い症状と疾患。疾患の原因、症状、治療。生活上の留意点。保健医療職との連携。								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について理解している。								
LO-2	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点を説明できる。								
LO-3	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化など関連づけながら包括的に疾患を持つ人について考えを深めることができる。								
LO-4	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について関心を持ち意欲的に学ぶ事ができる。								
LO-5	主体的に自分の考えを述べ、他者の意見も尊重することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30				20			100
LO-1	20	20							40
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4	10	10				10			30
LO-5						10			10
備考	試験は疾病に関する原因、症状、治療法、生活上の留意点を中心に出題します。質問やミニテストの解答等は授業で解説します。 第4章「老化にともなうこころとからだの変化と生活」や「こころとからだのしくみ」で学習した知識が所々で必要となります。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 第1節 高齢者の健康 第2節 高齢者の症状・疾患の特徴	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。第4章「老化にともなうこととからだの変化と生活」「こととからだのしくみ」で学習した内容を復習する。これまで接した人の中に授業内容に該当する人がいないか考える。また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。	90分
第2回	第3節 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 骨格系・筋系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第3回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 脳・神経系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第4回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 皮膚・感覚器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第5回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 循環器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第6回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 呼吸器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第7回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 消化器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第8回	これまでのまとめ・・・学習の整理 中間テスト	
	【予習】これまでの授業内容を学習し、中間テストの勉強をする。授業中に実施したミニテストを振り返る。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノート、中間テストを再度復習する。これまでに学んだ疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。「学習の整理」を記載し次回提出できるようにする。	90分
第9回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 腎・泌尿器系 「学習の整理」を提出	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第10回	「学習の整理」記載内容の確認。中間テストの解答。	
	【予習】テキスト、授業の資料、自分のノート、中間テストを再度復習する。これまでに学んだ疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
	【復習】腎・泌尿器系も含めテキスト内容を確認する。	90分

第11回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 内分泌・代謝系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第12回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 歯・口腔疾患 ミニテスト課題提示	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。 配布された「ミニテスト」に取り組む。分からない言葉を調べる。	90分
第13回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 悪性新生物 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 感染症	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第14回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 精神疾患他	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第15回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 その他の疾患 第4節保健医療との連携 ミニテストの解答。まとめ	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。 これまでの授業内容を確認する。理解できていないことや理解が不十分な内容について明らかにし、質問の準備をする。配布されたミニテストの解答。分からない言葉を調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、これまでの学習内容を確認し理解する。 試験勉強	90分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	四日 順子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ こころとからだのしくみ		後継科目	認知症ケア論					
関連科目	発達と老化の理解　、高齢者福祉論、介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	認知症の理念をはじめ、認知症をもつ人の症状の特徴や治療、生活障害や心理状態について学び、本人や家族へのかかわりの基本的な知識を習得します。								
学習目標	1.認知症ケアの理念や視点が理解できる。 2.認知症の原因となる主な病気の症状や特徴とそれに伴うこころとからだの変化が理解できる。 3.認知症の症状・診断・治療・予防の概要が理解できる。 4.認知症を持つ人の家族への支援の基本がわかる。								
キーワード	認知症　中核症状　行動・心理症状（BPSD）　パーソン・センタード・ケア								
テキスト・ 参考書等	介護職員初任者研修テキスト1　介護のしごとの基礎 最新介護福祉士養成講座13　認知症の理解								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症を取り巻く現状、認知症の原因疾患・中核症状・行動・心理症状（BPSD）、パーソン・センタード・ケアについて理解している。								
LO-2	認知症の人の心理に共感し、課題の中で、それに関する自身の思いを表現することができる。								
LO-3	それぞれの認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状にあわせた対応方法を考えることができる。								
LO-4	授業に前向きな姿勢で取り組み、新しい知識を吸収したいという思いで講義に臨んでいる。								
LO-5	相手の立場に立って考えられる姿勢があり、円滑なコミュニケーションをとることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30		10						40
LO-2	10		10						20
LO-3	10		10						20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、普段の授業の中で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 認知症を取り巻く状況（担当：中島）	
	【予習】テキスト p332～337、テキスト p2～13を読む。	60分
	【復習】「認知症を取り巻く状況」について学んだことを資料やノートに整理する。	120分
第2回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 脳の機能と認知症、認知症とは何か（担当：白井）	
	【予習】テキスト p338～342、テキスト p14～21を読む。	60分
	【復習】「脳の機能と認知症」「認知症とは何か」について学習したことを資料やノートに整理する。	120分
第3回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康 認知症ともの忘れの違い、認知症に類似した状態（担当：白井）	
	【予習】テキスト p343～345、テキスト p21～26を読む。	60分
	【復習】「認知症ともの忘れの違い」「認知症に類似した状態」について学習したことをノートや資料に整理する。	120分
第4回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の診断（担当：中島）	
	【予習】テキスト p346～350、テキスト p65～77まで読む。	60分
	【復習】「認知症の診断」について学習したことを資料やノートに整理する。	120分
第5回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の原因疾患とその病態：アルツハイマー型認知症、血管性認知症（担当：白井）	
	【予習】テキスト p351～354、テキスト p78～83を読む。	60分
	【復習】「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について資料やノートに整理する。	120分
第6回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症（担当：白井）	
	【予習】テキスト p355～356、テキスト p83～88、95を読む。	60分
	【復習】「レビー小体型認知症」「前頭側頭葉変性症」について資料やノートに整理する。	120分
第7回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の原因疾患とその病態：クロイツフェルト・ヤコブ病、治療可能な認知症、若年性認知症（担当：白井）	
	【予習】テキスト p357～360、テキスト p88～94までを読んでおく	60分
	【復習】「クロイツフェルト・ヤコブ病」「治療可能な認知症」「若年性認知症」について資料やノートに整理する。	120分
第8回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活＜学外研修＞ 認知症の人の心理、生活障害の理解（担当：中島）	
	【予習】テキスト p21～31、p42～48を読む。	60分
	【復習】「認知症の人の心理」「生活障害の理解」について、資料やノートに整理する。	120分
第9回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活＜学外研修＞ 認知症の人の心理、生活障害の理解（担当：中島）	
	【予習】テキスト p21～31、p42～48を読む。	60分
	【復習】「認知症の人の心理」「生活障害の理解」について、資料やノートに整理する。	120分
第10回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活 認知症の中核症状（担当：白井）	
	【予習】テキスト p366～367、テキスト p34～41を読む。	60分
	【復習】「認知症の中核症状」について、資料やノートに整理する。	120分

第11回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活 認知症のBPSD（行動・心理状況）（担当：白井）	
	【予習】テキスト p366～p367、テキスト p34～41、p49～64を読む。	60分
	【復習】「認知症の中核症状」「認知症のBPSD」について、資料やノートに整理する。	120分
第12回	医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症の治療と予防（担当：中島）	
	【予習】テキスト p361～365、テキスト p96～102、p103～107を読む。	60分
	【復習】「認知症の治療」「認知症の予防」について、資料やノートに整理する。	120分
第13回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活 認知症の中核症状とBPSD（行動・心理状況）振り返り（担当：白井）	
	【予習】テキスト p368～371、テキスト p49～64を読む。	60分
	【復習】「認知症のBPSD（行動・心理状況）」について、資料やノートに整理する。	120分
第14回	認知症にともなうこととからだの変化と日常生活 認知症の人の環境整備とかかわり方（担当：中島）	
	【予習】テキスト p372～379を読む。	60分
	【復習】「認知症の人の環境整備」「認知症の人へのかかわり方」について、資料やノートを整理する。	120分
第15回	家族への支援・まとめ（担当：中島）	
	【予習】テキスト p380～385を読む。	30分
	【復習】認知症のある人のケアについてまとめる。	180分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	井上 理絵 松島 紘子					
実務経験	介護福祉士として勤務した経験と、介護福祉士試験委員、認知症ケア上級専門士としての実績を基に、今後増加する認知症を持つ人個々への適切なケア方法の知識と技術をわかりやすく、実践的な視点から授業を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢者・障害者の心理、認知症ケア論、障害者ケア論		後継科目	ターミナルケア論					
関連科目	障害者ケア論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な心理と行動、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	認知症の人の機能の変化と日常生活への影響を知り、一人ひとりの症状に合った対応方法を考えることができる。								
LO-3	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り、対応方法を説明し、行動することが十分できる。								
LO-4	認知症高齢者支援対策として展開されている行政施策を理解し、自分の住む地域のサポート体制の必要性について知識を深めようと積極的に行動することができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や介護者の思いや感情を体験し、適切な具体的な関わり方について十分理解することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		20		40				100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症の人を取り巻く状況 これまで—今—これから	
	【予習】テキストP110～P120までを読む	90分
	【復習】長谷川和夫先生の著書を1冊読む	90分
第2回	認知症ケアの理念と視点	
	【予習】テキストP121～P134までを読んでくる	90分
	【復習】テキストP135演習	90分
第3回	認知症当事者の視点から見えるもの	
	【予習】テキストP136～P151までを読む	120分
	【復習】テキストP152 演習	60分
第4回	パーソン・センタード・ケア	
	【予習】テキストP154～P163まで読む	90分
	【復習】テキストP163 演習	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式・ひとときシート	
	【予習】センター方式シート・ひとときシートについて調べる	90分
	【復習】センター方式シート・ひとときシートの活用方法を考えまとめる	90分
第6回	認知症の人とのコミュニケーション	
	【予習】テキストP191～P224まで読む	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第7回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】地域におけるサポート体制について調べる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第8回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第9回	家族への支援 家族へのレスパイトケア、エンパワメント	
	【予習】テキストP258～P275まで読む	90分
	【復習】介護者自身の体験を知り、家族介護の深さへの理解を深め、レスパイトの重要性について考える	90分
第10回	介護福祉職への支援	
	【予習】テキストP277～P290まで読む	90分
	【復習】介護福祉職が働きやすい職場環境について考える	90分

第11回	認知症の人の地域支援	
	【予習】テキストP294～P321まで読む	90分
	【復習】認知症の人を支える制度や機関、地域づくりについて理解を深める	90分
第12回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（４）事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第13回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（２） 事例：バリデーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第14回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（３） 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア、園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など	
	【予習】タクティールケアについて調べる 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法を調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法が概説できる	90分
第15回	認知症に関する制度と施策	
	【予習】テキストP 260～P 279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 真由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	障害者ケア論 生活支援技術					
関連科目	障害者福祉論、こころとからだのしくみ ・ 、発達と老化の理解 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等、障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を学ぶとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を学ぶ。								
学習目標	1.障害の概念、障害福祉の基本的理念、障害福祉制度について理解する。 2.それぞれの障害に関する医学的・心理的知識を習得する。 3.障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。								
キーワード	知的障害、精神障害、高次脳機能障害、発達障害、難病、多職種連携、家族支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害の概念や福祉の基本的理念をふまえ、知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を理解する。								
LO-2	障害の概念や福祉に基本理念をふまえ、知的障害、精神障害等の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を説明できる								
LO-3	知的障害、精神障害等の特性をふまえ、支援の方法について考える思考力・判断力がある。								
LO-4	知的障害、精神障害等について、教科書以外に調べ主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	知的障害、精神障害のある人を受容、共感することができる。グループワークを通して多様なメンバーの意見を尊重できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	50			20	10		100
LO-1		10	10						20
LO-2		10	10						20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10				10		20
備考	その他は授業態度、受講後の感想などA、グループワークの参加状況B								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、障害の概念とICF,障害福祉の基本的理念	
	【予習】障害の概念と障害福祉の基礎理念について障害者ケア論 のテキスト・資料を確認してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、障害者ケア論 で学ぶことについてノートを整理する。	90分
第2回	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、家族の心理、かかわり方の支援の理解	
	【予習】テキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴について資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の基礎的理解 障害者スポーツに関する諸施策、障害福祉制度と介護保険制度	
	【予習】障害者福祉制度と介護保険制度について説明できるようにしておく。	90分
	【復習】障害者スポーツに関する諸施策、障害福祉制度と介護保険制度について資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 2章第1節 障害のある人の心理について理解する	
	【予習】障害のある人の心理について説明できるようにしておく。	90分
	【復習】障害のある人の心理について資料・ノートを整理する。	90分
第5回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害とは、障害の原因、障害の特性に応じた支援、ライフステージに応じた関わりについて理解する	
	【予習】テキストP160～P171ページをよく読み、知的障害について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第1節 知的障害 : 知的障害者の支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の講義内容に目を通し、知的障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第7回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第2節 精神障害 : 精神障害とは、障害の種類、障害の特性の理解、障害の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】 テキストP172～P183をよく読んで精神障害の種類と特性について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理し、精神障害者の支援について考える。	90分
第8回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第3節 精神障害 精神障害支援の実際（特別講義）	
	【予習】前回の資料に目を通してくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	第3章 障害の特性に応じた支援について理解する 第3節 高次脳機能障害 高次脳機能障害とは、障害の原因、特性の理解、支援について理解する	
	【予習】高次脳機能障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	第3章 障害の特性に応じた支援について理解する 第3節 高次脳機能障害 高次脳機能障害とは、障害の原因、特性の理解、支援について理解する	
	【予習】高次脳機能障害の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分

第11回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 発達障害とは、障害ごとの特性を理解する。	
	【予習】テキストP196～P207をよく読み、発達障害について調べてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第4節 発達障害 : 生活の特性と生活支援、保護者の支援、支援機関について理解する。	
	【予習】テキストP202～P207をよく読み、発達障害者の支援について考えてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、資料等からノートを整理する	90分
第13回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病とは、おもな難病の理解、難病の特性の理解、難病の特性に応じた支援について理解する。	
	【予習】テキストP208～P217をよく読んで、難病について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第14回	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 第5節 難病 : 難病支援の実際（特別講義）	
	【予習】当事者の方の難病について調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】1回から14回までを振り返り、障害のある人のケアについてわからないことを整理してくる。	90分
	【復習】障害のある人のケアについてまとめる	90分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 真由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ ・ 、発達と老化の理解 、障害者ケア論		後継科目	医療的ケア					
関連科目	発達と老化の理解 、こころとからだのしくみ 、介護の基本 、生活支援技術 、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を学ぶとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を学ぶ。								
学習目標	1.各身体障害に関する医学的・心理的知識を習得する。 2.障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。 3.家族介護負担や地域のサポート体制について理解する。								
キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト 「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について基礎的知識がある。								
LO-2	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面について説明できる。								
LO-3	身体障害の特性をふまえ、本人及び家族の支援について考える思考力・判断力がある。								
LO-4	身体障害者及び家族の支援について、主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に作る人間性を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		30	20			100
LO-1			10		10				20
LO-2			10		10				20
LO-3			10		10				20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他は、授業態度、グループワークでの発言等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・障害者ケア論 の振り返り	
	【予習】障害者ケア論 で学んだことを振り返ってくる。	90分
	【復習】障害者権利条約、ノーマライゼーション、障害受容等についてノートを整理する。	90分
第2回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 肢体不自由のある人の理解	
	【予習】身体的特性の理解、障害の原因となるおもな疾患についてテキストをよく読む。からだのしくみを予習しておく。	90分
	【復習】身体障害その他の障害のある人の心理面・生活面から障害の特性ぬじた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 肢体不自由のある人の理解	
	【予習】身体的特性の理解、障害の原因となるおもな疾患についてテキストをよく読む。からだのしくみを予習しておく。	90分
	【復習】身体障害その他の障害のある人の心理面・生活面から障害の特性ぬじた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第3節視覚障害のある人の理解	
	【予習】眼のしくみについて調べておく。	90分
	【復習】視覚障害のある人の心理面・生活面からあ障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第4節聴覚・言語障害の種類、原因、身体的・心理的・社会的側面の特性をとらえ、支援方法を理解する。	
	【予習】聴覚・言語障害の原因・種類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】聴覚・言語障害のある人の特性を踏まえ、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章5節 重複障害のある人の原因・特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】視覚障害・重複障害、原因についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。目が見えないことからくる生活の支障を考える。	90分
	【復習】視覚障害、重複障害の特性に応じた支援について、生活上の留意点や制度・社会資源の活用についてまとめ、資料・ノートを整理する。	90分
第7回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（呼吸機能障害）の原因、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】呼吸機能障害、原因、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。 からだのしくみ呼吸機能を予習する。	90分
	【復習】呼吸機能障害の特性・支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第8回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節内部障害のある人（心臓機能障害）の原因、治療方法、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】心臓機能障害の原因、治療方法、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。 からだのしくみ心臓の機能について調べる。	90分
	【復習】心臓機能障害のある人の特性と支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第9回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（呼吸機能障害）の原因、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】呼吸機能障害、原因、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。 からだのしくみ呼吸機能を予習する。	90分
	【復習】呼吸機能障害の特性・支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第10回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（腎臓機能障害）の原因、治療・管理、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】腎臓機能障害の原因、治療・管理、特性についてテキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】腎臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分

第11回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害）の症状、特性を知り、支援方法を理解する	
	【予習】膀胱・直腸障害、小腸機能障害の症状、特性についてについてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第12回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（HIV・肝臓機能障害）の症状と特性、支援方法について理解する	
	【予習】HIV・肝臓機能障害の症状・特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】HIV・肝臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第13回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 第2章第7節 重症心身障害の特性と生活、支援方法について理解する	
	【予習】重症心身障害の分類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】重症心身障害者の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第14回	第4章 連携と協働 地域のサポート体制、チームアプローチについて理解する。	
	【予習】テキストP224～P246をよく読んで、地域のサポート体制について調べてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する	90分
第15回	第5章 家族への支援 家族の支援・家族の介護力の評価と介護負担軽減について理解する。まとめ	
	【予習】テキストP250～P274をよく読んで、家族の介護力の評価について調べてくる。	90分
	【復習】家族の介護力を踏まえた支援について考える。定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	医療的ケア				科目コード	W113-10			
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 医療的ケア				担当教員名	中島 真由美 松居 紀久子			
実務経験	【中島】市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し医療的ケアが必要な児・者及びその家族の相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期				授業の方法	講義			
必修・選択	選択				単位数	4単位			
前提科目(知識)	[こころとからだのしくみ ・ ・ ・]				後継科目	医療的ケア			
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	医療的ケアの制度の概要、個人の尊厳と自立、倫理上の留意点、感染予防、安全管理体制等について基礎的知識を学ぶ。喀痰吸引及び経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう基礎知識と実施手順を学ぶ。								
学習目標	1.法制度や倫理、職種の役割、救急蘇生法、感染予防など、医療的ケアを安全・適切に実施する上での基礎的知識を得る。 2.喀痰吸引に必要な人体の構造と機能、喀痰吸引を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。 3.経管栄養に必要な人体の構造と機能、経管栄養を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。								
キーワード	介護業務 医療的ケア 痰の吸引 経管栄養 救急蘇生法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編「医療的ケア」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「こころとからだのしくみ」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「社会の理解」中央法規、介護福祉士養成講座編「介護の基本 」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医行為に関連する法律や医療倫理、たんの吸引や経管栄養の実際の手順や留意点、救急蘇生法など、医療的ケアを安全・適切に実施するための基本的知識がある。								
LO-2	医療的ケアを安全に実施するための感染予防・健康チェックなどの基本的技能をもっている								
LO-3	医療的ケアの対象者とその範囲を理解し、提示された事例で適切に判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	医療的ケアを実施するにあたって本人及び家族に思いに共感し、人間の尊厳を考えることができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	50		10						60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5			10						10
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1章医療的ケア実施の基礎 第1節医療的ケア 医療的ケアとは何か 医療的ケアについて学ぶ意義 医行為について テキストP2～4 中島 1回～2 1回	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護の概念を復習してくる。	90分
	【復習】医療的ケアとは何か、医療行為は法的にはどのような行為が整理する。	60分
第2回	1第1章第1節医療的ケア 医療の倫理について 自己決定 個人の尊厳と自立 利用者・家族の気持ちの理解 テキストP4～11	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】日本介護福祉士会倫理綱領、介護福祉士法の義務規定、個人の尊厳について整理する	60分
第3回	1第1章第1節医療的ケア 喀痰吸引等制度 医療制度とその変遷 社会福祉士及び介護福祉士法の改正 喀痰吸引等制度の概要 テキストP11～21	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】介護福祉士が医療的ケアを行う要件を整理する。	60分
第4回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 喀痰吸引等研修と介護福祉士養成課程における医療的ケア テキストP21～27	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】介護福祉職による喀痰吸引等制度と医療的ケアについて整理する。	60分
第5回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアを取り巻くその他の制度 介護保険法 障害者総合支援法 テキストP28～35	
	【予習】社会保障論で学習した制度について復習してくる。	90分
	【復習】医療的ケアを取り巻くその他の制度について整理する。	60分
第6回	第1章第2節安全な療養生活 喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性 リスクマネジメントの考え方と枠組み ヒヤリハット・アクシデント P37～P44	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護における安全の確保とリスクマネジメントについて復習してくる。	90分
	【復習】安全に喀痰吸引を行う重要性、リスクマネジメントの必要性を再確認する。ヒヤリハットとアクシデントの違いを整理する。	60分
第7回	第1章第3節清潔保持と感染予防 感染予防の基礎知識と正しい手洗い方法 うがい方法について テキストP62～67	
	【予習】介護福祉論 で学習した感染症対策について復習してくる。	90分
	【復習】感染を予防する標準予防策について整理する。	60分
第8回	第1章第3節清潔保持と感染予防 介護福祉職自身の健康管理と感染予防 P68～71	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、介護職の健康管理について理解する。	90分
	【復習】予防接種の種類、ケア内容と防護の必要性について整理しておく。	60分
第9回	第1章第3節清潔保持と感染予防 療養環境の清潔と消毒法 滅菌と消毒 テキストP71～77	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点を整理しておく。	60分
第10回	第1章第4節健康状態の把握 身体・精神の平常状態 バイタルサイン テキストP80～88	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、バイタルサインについて調べておく。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、自分の体温、脈拍をチェックしてみる。	60分

第11回	第1章第4節 健康状態の把握 急変状態 急変時の対応と事前準備 テキストP89～92	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、急変状態とその対応について整理しておく。	60分
第12回	第2章喀痰吸引 第1節高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみとはたらき いつもと違う呼吸状態 テキストP96～102	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、呼吸のしくみを調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、いつもと違う呼吸状態について整理する。	60分
第13回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 喀痰吸引とは テキストP102～106	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引とはどのようなものか説明できるようにする。	60分
第14回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器と吸引 P107～118	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第15回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器装着者の生活支援上の留意点 人工呼吸器装着者の呼吸管理に関する医師・看護職との連携 テキストP113～116	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、人工呼吸器装着者の生活上の留意点について整理する。	60分
第16回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 子どもの吸引 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応 説明と同意 P118～126	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、子どもの吸引について整理し、子ども及び保護者の気持ちと対応をまとめて書く。	60分
第17回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸器系の感染と予防 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全管理 テキストP126～136	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、吸引時に想定されるトラブルと対応事例について整理する。	60分
第18回	第2章第1節高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 急変・事故発生時の対応と事前対策 まとめ テキストP136～141	
	【予習】喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認について復習してくる。	90分
	【復習】第1節を振り返り、喀痰吸引の基礎的知識を整理しておく。。	60分
第19回	第2章第2節高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順 喀痰吸引実施の手順と留意点 1 テキストP142～159	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引前の観察項目についてわからないことは調べて記録する。	60分
第20回	第2章第2節高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引の実施手順と留意点2 P142～159	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、吸引の実施手順について整理する。	60分

第21回	第2章第2節高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引にともなうケア 報告および記録 P154～163	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引におけるケアについて整理する。	60分
第22回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系のしくみと働き P164～170 松居 2 2 回～3 3 回	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、図3-1や簡略な消化器系統図を書く。	60分
第23回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系の主な症状 P170～171	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、消化器のしくみをまとめる。	60分
第24回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養とは P172～177	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第25回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養の実施上の留意点 P178～181	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第26回	第3章 第1節 経管栄養概論 子どもの経管栄養 P181～183	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、成人との違いを考える。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第27回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養に関する感染と予防、利用者・家族の対応、同意と説明 P184～188	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第28回	第3章 第1節 経管栄養概論 危険、注入後の安全確認 急変・事故発生時の対応と事前対策 P188～195	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからないところを出してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第29回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P200～210	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第30回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P212～215	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分

第31回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 経管栄養に必要なケアと報告・記録 P215～219	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、経管栄養についてまとめる。	60分
第32回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 必要物品の準備 P44～57	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、デモンストレーションを実施する。	60分
第33回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 AED P49～59	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第34回	まとめ 医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引、経管栄養についての基礎的知識についてまとめる。	
	【予習】学習したこと全体を復習し、疑問点を出す。	90分
	【復習】期末試験に備えまとめる。	60分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W113-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 医療的ケア		担当教員名	中島 真由美 松居 紀久子					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し政策立案をはじめ医療的ケアが必要な障害児・者、高齢者等の支援をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。看護師・介護支援専門員として大学病院1								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	医療的ケア		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ ・ ・ ・ 、感染予防とリスクマネジメント								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	喀痰吸引及び経管栄養について、根拠に基づき安全かつ確実に実施できるよう、シミュレーターを用いて学習する。 また、救急蘇生をデモンストレーションに見て、手引きに基づき実施する。								
学習目標	1 医療的ケアを安全適切に実施するために基礎的な知識・技術に基づき確実な実施ができる。 たんの吸引をシミュレーターを用いて確実に安全にできる。 経管栄養をシミュレーターを用いて確実に安全にできる。 2 救急蘇生法をシミュレーターを用いて確実に安全にできる。								
キーワード	医療的ケア たんの吸引 経管栄養 救急蘇生法 介護業務								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「医療的ケア」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療的ケアを安全に効果的に実施する上で必要な知識を有している。								
LO-2	医療的ケアを安全・適切に実施するための技能を有しており、5回以上実施手順に基づき全工程を実施できる。								
LO-3	利用者の状態に応じた医療的ケアについて考え判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、積極的に技術を身に着ける意欲がある。								
LO-5	医療的ケアをシミュレーターを用いてグループメンバー同士で協力し合い円滑に進むよう行動できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		50	20			100
LO-1			20						20
LO-2					50				50
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aについては、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業の参加態度に点数をつける。 授業アンケートでの質問は必要に応じ次回授業で全体で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	喀痰吸引演習 1 口腔内吸引・鼻腔内吸引のデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	30分
	【復習】本日実施したおことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	30分
第2回	喀痰吸引演習 2 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第3回	喀痰吸引演習 3 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第4回	喀痰吸引演習 4 口腔内吸引・鼻腔内吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第5回	喀痰吸引演習 5 気管カニューレ内部の吸引デモンストレーション 必要物品・手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	30分
第6回	喀痰吸引演習 6 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第7回	喀痰吸引演習 7 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第8回	喀痰吸引演習 8 気管カニューレ内部の吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第9回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】応急手当WEB講習を受講し修了書を11月2日まで提出する	30分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	30分
第10回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】教科書を読んでくる。	30分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	30分

第11回	経管栄養演習 1 胃ろうデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケアIを復習してくる。	30分
	【復習】本日実施したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	30分
第12回	経管栄養演習 2 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに従い12回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第13回	経管栄養演習 3 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	30分
第14回	経管栄養演習 4 胃ろうのケアまとめ 口腔内・喀痰吸引を一人ずつチェックリストに従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票の基づき、振り返る。	30分
第15回	経管栄養演習 5 経鼻経管栄養のケアデモンストレーション 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】医療的ケア で学んだことを復習してくる。	30分
	【復習】本日学習したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	30分
第16回	経管栄養演習 6 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第17回	経管栄養演習 7 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第18回	経管栄養演習 8 経鼻経管栄養のケアまとめ 一人ずつチェックリストにもとづき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分

授業科目名	社会保障論			科目コード	W121-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	児童家庭福祉論、地域福祉論					
関連科目	介護福祉論 、 ならびに高齢者福祉論 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	わが国の社会保障制度の全体像を学ぶとともに、それがどのように機能し、私たちの暮らしをどう支えているかを理解する。 1 社会保障制度の役割と意義、仕組み 2 介護保険制度、障害者総合支援法など専門領域に関する制度								
学習目標	社会保障制度を構成する社会保険、社会福祉、あるいは社会手当など広く理解を深め、公衆衛生も含めそれぞれの現状と課題までの理解を目指す。								
キーワード	社会保障制度、介護保険、障害者の自立支援、消費者保護法、バリアフリー法								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座2「社会の理解」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。								
LO-2	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活の基本機能、ライフスタイルの変化、家族の機能と役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域福祉の理念、地域福祉の歴史的展開、地域福祉の充実、災害と地域社会に関して、授業内容をまとめておく。	90分
第2回	社会・組織の機能と役割、地域、地域社会、地域社会における生活支援、地域福祉の発展、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域共生社会を目指す社会的背景、地域共生社会の理念、地域共生社会に向けた取り組み、地域包括ケアの理念、地域包括ケアシステムについてまとめておく。	90分
第3回	地域共生社会、地位包括ケア	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】社会保障の範囲、社会保障の意義と役割、社会保障の目的と機能、ライフサイクルから見た社会保障についてまとめておく。	90分
第4回	社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第5回	日本の社会保障制度のしくみ	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第6回	現代社会と社会保障制度、高齢者保健福祉の動向	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第7回	高齢者保健福祉に関する法体系、介護保険制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第8回	介護保険制度、介護保険制度における組織、団体の役割、介護保険制度における介護支援専門員の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第9回	障害者保健福祉の動向、障害者の定義、障害者保健福祉に関する制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第10回	障害児に対する支援制度、障害者総合支援制度の目的、障害福祉サービスの種類と内容、利用手続き	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分

第11回	障害者区分の認定、介護実践に関連する諸制度	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第12回	介護実践にかかわる諸制度（貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第13回	介護実践にかかわる諸制度（地域生活を支援する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第14回	これまでのまとめと振り返り（第1章～第3章）	
	【予習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分
第15回	これまでのまとめと振り返り（第4章～第6章）	
	【予習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-20				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障論		後継科目						
関連科目	障害者福祉論、地域福祉論 ・ 、ソーシャルワークの理論と方法、障害者ケア論 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉士指定科目								
授業の概要	高齢者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を習得する学習とする。								
学習目標	高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。 高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。								
キーワード	老老介護、ダブルケア、8050 問題、高齢者虐待、敬老思想、エイジズム、介護保険法、								
テキスト・ 参考書等	最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識／理解力】高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解できるとともに、法制度や支援の仕組みを理解できる。								
LO-2	【技術・実践力】高齢者介護に関係する技術や実践力に関する能力・技術を備える。								
LO-3	【分析・判断力】高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について考える能力を有している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会の状況や高齢者福祉の動向などに関心を持ち、専門職として意欲的な態度をもつことができる。								
LO-5	【全人的総合力】超高齢社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60					40			100
LO-1	60								60
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他は授業態度です								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	高齢者の定義と特性、高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境（その１）高齢者の生活実態	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第2回	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境（その２）高齢者を取り巻く社会環境、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第3回	高齢者福祉の歴史（高齢者福祉の理念、高齢者観の変遷、高齢者福祉制度の発展過程）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第4回	高齢者に対する法制度（その１）介護保険法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第5回	高齢者に対する法制度（その２）老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待防止法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第6回	高齢者に対する法制度（その３）バリアフリー新法、高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第7回	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割（その１）高齢者と家族等の支援における関係機関の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第8回	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割（その１）高齢者と家族等の支援における関係機関の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第9回	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割（その２）関連する専門職等の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第10回	高齢者と家族等に対する支援の実際（その１）高齢者領域における社会福祉士の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

第11回	高齢者と家族等に対する支援の実際（その2）2 高齢者と家族等に対する支援の実際（多職種連携含む）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第12回	個人の権利を守る制度の概要	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第13回	地域生活を支援する制度や施策の概要（生活困窮者自立支援法、認知症施策、災害要援護者対策、自殺対策など）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第14回	介護と関連領域との連携に必要な制度、生活保護制度の概要	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第15回	これまでのまとめとふりかえり	
	【予習】テキストとノートの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

授業科目名	障害者福祉論			科目コード	W121-30				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障論、障害者ケア論		後継科目						
関連科目	高齢者福祉論、児童家庭福祉論、地域福祉論 ・ ・ 、障害者ケア論 ・ ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉士指定科目								
授業の概要	障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解します。障害者福祉制度の発展過程についても学びます。また、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む。）について理解を持ちます。								
学習目標	障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。 障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 障害による生活課題を踏まえ、福祉専門職としての適切な支援のあり方を理解する。								
キーワード	障害者総合支援法、障害者基本計画								
テキスト・ 参考書等	中央法規 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 8 障害者福祉								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識 / 理解力】障害者福祉の経緯や障害者観の変遷、制度の発展過程などを理解できる。								
LO-2	【技術・実践力】障害者に対する法制度と支援の仕組みを説明できる。								
LO-3	【分析・判断力】障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境のあり方について考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】障害者の福祉・介護需要の実態や、障害者の地域移行や就労の実態など広く関心を深められる。								
LO-5	【全人的総合力】社会的包摂の社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60					40			100
LO-1	60								60
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他は授業態度です								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害概念と特性：国際生活機能分類（ICF）、障害者の定義と特性〔身体障害（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、内部障害、難病等）・知的障害・精神障害・発達障害〕	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、わからない用語は調べておく。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境：障害者の生活実態（地域移行・居住・就学・就労・高齢化・介護需要・障害者の芸術、スポーツ）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境：障害者を取り巻く社会環境（バリアフリー・コンフリクト・障害者虐待・親亡き後問題、きょうだいへの支援）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害者福祉の歴史：障害者福祉の理念（ノーマライゼーション・ソーシャルインクルージョン）、障害観の変遷（偏見と差別・障害者の権利条約の批准の経緯・障害者基本法の変遷）、障害者処遇の変遷（明治以前の障害者の処遇・明治以降の障害者の処遇・戦後の障害者の処遇）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。障害者を取り巻く4つの障壁に関して、具体例を考えてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害者福祉の歴史：障害者の権利条約と障害者基本法（障害者の権利条約の概要・障害者基本法の概要）、障害者福祉制度の発展過程	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害者に対する法制度：障害者総合支援法（障害者総合支援法の概要・障害福祉サービス及び相談支援・障害支援区分及び支給決定・自立支援医療・補装具・地域生活支援事業・障害福祉計画）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	自立支援医療、地域生活支援事業、苦情解決、審査請求、その他	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	国・市町村・都道府県の役割、	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	指定サービス事業者の役割、国民健康保険団体連合会の役割、労働関係機関の役割、教育機関の役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	相談支援専門員の役割、サービス管理責任者の役割、居宅介護従業者の役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	医療関係者との連携、精神保健福祉士との連携、障害程度区分判定時における連携、サービス利用時における連携、労働関係機関関係者との連携、教育機関関係者との連携	
	【予習】資料を復習してくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	相談支援事業所の組織体系、相談支援事業所の活動の実際	
	【予習】難病の種類を予習してくる。	90分
	【復習】国試ナビを使っておさらいをしておく。	90分
第13回	身体障害者福祉法の概要、知的障害者福祉法の概要、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の概要	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第14回	発達障害者支援法の概要、障害者基本法の概要、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の概要	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の概要、障害者の雇用の促進等に関する法律の概要	
	【予習】説明できない語句を調べる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	児童家庭福祉論			科目コード	W121-40				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、児童家庭福祉の現状と課題、児童福祉施設の機能と役割を理解で								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会福祉論		後継科目						
関連科目	社会福祉論								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目指す。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹・波田埜英治編著『児童家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウエルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	20		6						26
LO-2	10		6						16
LO-3	10		6						16
LO-4	10		6			10			26
LO-5			6			10			16
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。 グループワークにより、積極的にディスカッションを行う。また、児童・家庭を取り巻く社会情勢に関心を持ち、今日の課題を問題解決学習とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する。○児童家庭福祉の基本構造について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する	90分
第2回	児童家庭福祉とは - 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】5月8日4限クラスアワー 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章＜まとめてみよう＞	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章＜まとめてみよう＞	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史。欧米の児童家庭福祉。日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章＜まとめてみよう＞	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 ○児童福祉法 / ○児童家庭福祉に関係する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章＜まとめてみよう＞	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 ○児童家庭福祉の行政 / ○児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章＜まとめてみよう＞	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章＜まとめてみよう＞	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス ○母子保健の理念 / ○母子保健サービスの実施と体系 / ○母子保健の取り組み	
	【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章＜まとめてみよう＞	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス ○少子化と働き方改革 ○保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / ＜まとめてみよう＞ 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見てみる。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） ○児童虐待 ○DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章＜まとめてみよう＞	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 ○社会的養護とは ○代替的養護 ○社会的養護の状況と今後	
	【予習】 社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章＜まとめてみよう＞	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ○ひとり親家庭の現状と生活状況 ○ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】 ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章＜まとめてみよう＞	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 ○「障害」観 ○障害児の定義と現状 ○障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章＜まとめてみよう＞	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 ○情緒障害 ○少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章＜まとめてみよう＞	90分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W122-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障論		後継科目	地域福祉論					
関連科目	障害者福祉論、高齢者福祉論、児童家庭福祉論、ボランティア演習、ソーシャルワークの理論と方法								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目（選択）、社会福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、我が事丸ごと、重層的支援								
テキスト・ 参考書等	中央法規：最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向などに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成を進めるための必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	地域福祉計画をはじめとする福祉計画の意義・目的及び展開の思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	包括的支援体制の考え方と多職種及び多機関協働の意義と実際について主体的に学ぶことができる。								
LO-5	地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における相談援助職の役割に対する見識を備えている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	編入学希望者以外も履修できます。ケアクラーク希望者は特に履修してください。評価の「その他」は授業態度などへのものです。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域社会の概念と理論、地域社会の変化	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第2回	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ（１）	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第3回	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ（２）、地域福祉と社会的孤立	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業の内容をノートにまとめる	90分
第4回	地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援の考え方（１）	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第5回	生活困窮者自立支援の考え方（２）、包括的支援体制とは	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第6回	包括的支援体制とは、地域共生社会の構築とは、地域共生社会の実現に向けた各種施策	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第7回	地域福祉ガバナンス、多機関協働を促進する仕組み	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第8回	多職種連携、	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第9回	福祉以外の分野との機関協働の実際	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】授業のノートでふり返しをする。	90分
第10回	地域福祉実践の事例紹介（氷見市社会福祉協議会より）	
	【予習】氷見市社協のホームページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分

第11回	地域福祉の概念と理論	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第12回	地域福祉の歴史、地域福祉の動向	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第13回	地域福祉の推進主体	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第14回	地域福祉の主体と福祉教育	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第15回	これまでのまとめ	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W122-11				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障論、地域福祉論		後継科目	なし					
関連科目	障害者福祉論、高齢者福祉論、児童家庭福祉論、ボランティア演習、ソーシャルワークの理論と方法								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目（選択）、社会福祉士指定科目(選択)、								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、								
テキスト・ 参考書等	中央法規：最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向などに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成を進めるための必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	地域福祉計画をはじめとする福祉計画の意義・目的及び展開の思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	包括的支援体制の考え方と多職種及び多機関協働の意義と実際について主体的に学ぶことができる。								
LO-5	地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における相談援助職の役割に対する見識を備えている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	地域福祉論 と での通年科目として履修してください。ケアクラークの学習科目にも含まれます。評価項目の「その他」とは、授業態度などです。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域を基盤としたソーシャルワークの方法	
	【予習】テキストの知らない用語について調べてくる。	90分
	【復習】授業で取り上げた内容に合致する動画や新聞記事などを探し、さらに学びを深める。	90分
第2回	住民の主体形成に向けたアプローチ	
	【予習】初出や不明な用語は調べてくる。	90分
	【復習】福祉教育について、配布資料も参考にしながらまとめてみる。	90分
第3回	地域福祉の具体的な展開	
	【予習】テキストの事例を読み込んでくる	90分
	【復習】自分なりに必要だと（不足している）と感じた情報はないか、整理しておく。	90分
第4回	地域福祉実践の事例紹介（富山型サービスについて）	
	【予習】YouTubeで富山型デイをキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	90分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	90分
第5回	非常時や災害時における法制度、	
	【予習】災害時における介護福祉士会の取組みなどを調べてくる。	90分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	90分
第6回	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援	
	【予習】福祉避難所について調べてくる。	90分
	【復習】1年次のボランティア演習で学んだ災害救援ボランティアについて振り返りをしておく。	90分
第7回	福祉計画の定義と目的、機能と歴史的展開。市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容	
	【予習】教科書の該当ページに目を通してくる	90分
	【復習】今日の内容の教科書の読み込みとまとめを行っておく。	90分
第8回	福祉計画の策定過程と方法、福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】福祉計画についてのまとめを行う。	90分
第9回	福祉計画における評価、富山県における地域福祉活動の取組み	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】富山県の実地福祉活動の取組みをまとめておく。	90分
第10回	福祉行政システム（国、都道府県、市町村の役割）	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをし、まとめておく。	90分

第11回	国と地方の関係、福祉行政の組織および専門職の役割	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容を自分なりにノートにまとめる。	90分
第12回	福祉における財源	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第13回	地域福祉実践の実際（ビデオ学習）	
	【予習】これまでの授業をふり返っておく	90分
	【復習】学習した内容をノートにまとめる	90分
第14回	社会福祉協議会の役割と取組み	
	【予習】指定された動画を視聴してくる	90分
	【復習】学習した内容をノートにまとめる	90分
第15回	全体のふり返し	
	【予習】これまでに配布した資料に目を通してくる	90分
	【復習】学習してきた内容をレポートにまとめる	90分

授業科目名	ソーシャルワークの理論と方法-1				科目コード	W122-20			
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	村上 満					
実務経験									
開講時期	2年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	2単位				
前提科目(知識)	生活と社会			後継科目					
関連科目	社会保障論								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解する。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法 』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・相談援助とは ソーシャルワークの定義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助とは ソーシャルワークの役割について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの構造について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの機能について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助における援助関係 援助関係の意義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助における援助関係 援助関係の質と自己覚知	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助の展開過程 相談援助のプロセス	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助の展開過程 ケース発見からインテークまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程 問題把握からアセスメントまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程 支援目標の設定から支援の計画まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	相談援助の展開過程 支援の実施から経過観察まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助の展開過程 再アセスメントと支援目標の再設定まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助の展開過程 支援の終結とアフターケアまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助の展開過程 予防的対応とサービス開発について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	前期の振り返りとまとめ これまでの総まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	ソーシャルワークの理論と方法-2			科目コード	W122-21				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	村上 満					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活と社会		後継科目						
関連科目	社会保障論、								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インタークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解できる。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法 』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助のための契約の技術 契約の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助のための契約の技術 契約の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントの特性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントで得た情報の使い方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助のための介入の技術 介入の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助のための介入の技術 介入の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程における技術 経過観察、再アセスメントの技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程における技術 効果測定、評価とサービス開発の技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	相談援助のための面接の技術 面接の目的と展開	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助のための面接の技術 面接におけるコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助のための記録の技術 記録の意義と活用	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助のための記録の技術 記録の方法と今後の課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	相談援助のための交渉の技術 交渉の意義とプレゼンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W131-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	介護福祉経営論、介護事務概論、介護事務演習、医療事務概論、医療事務演習								
資格等 取得との関連	介護福祉経営士2級								
授業の概要	安定した介護福祉事業経営を実現し、より良質な介護福祉サービスを提供すること、さらに介護保険だけではカバーできない地域ニーズに対応する新しいサービスを開発するなど、介護福祉を基盤とした改革を進めるために、「介護福祉経営士」の合格を目指すものである。								
学習目標	介護福祉経営に関して法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識が必要となすが、その基本的知識を修得する。								
キーワード	・日本及び海外の介護保険制度・経営の視点から見る介護保険、・人員設備運営基準、介護福祉経営士への期待								
テキスト・ 参考書等	介護福祉経営士テキスト3（基礎編） 介護福祉産業論								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	介護福祉経営士として介護福祉士経営に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	介護福祉経営士として介護福祉士経営においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	民営化が導いた「経営」 急速な高齢化と肥大化した国家財政 介護保険制度の背景とその特徴 競争がもたらした「経営」	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第2回	高齢化の進展と拡大する介護サービス市場 介護サービス市場の動向と市場規模 介護保険施設・事業所の経営状況 介護保険事業以外の高齢者向けビジネス	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第3回	サービス供給主体の多様性 契約制度下における供給主体の多様化 福祉サービスの供給主体の類型 サービス提供における利用者と供給主体の関係	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第4回	特別養護老人ホームの経営課題 特別養護老人ホームの経営状況 収益構造、コスト構造 サービスマネジメント、リスクマネジメント ユニットケア t p個別ケア、ターミナルケア	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第5回	有料老人ホームの経営 有料老人ホームとは 設立（設置） 有料老人ホームの現場、 有料老人ホームの展望・要望	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第6回	小規模介護事業所の経営 介護保険サービスの担い手としての小規模介護事業所 小規模事業所の経営 小規模事業所の今後の課題	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第7回	地域密着型サービスの課題 地域密着型サービスとは 小規模多機能型居宅介護とは 多様化するビジネスモデル 新しい制度でのサービス 既存制度を組み合わせたサービス	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第8回	地方の介護事業所の状況 地方の介護事業の状況 変容する地域ニーズが求めるサービス 事紹介 地域を支える介護サービスの安定供給と多業種との有機的連携 介護産業の見通しと経営 高齢というマーケット 介護市場と関連領域の拡大 介護サービスの「経営」	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

授業科目名	医療・福祉とICT			科目コード	W131-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	情報と人間		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	医療・福祉の現場では、情報通信技術(ICT)による業務の効率化および負担の軽減が進められている。情報通信技術を利用した介護ロボットなどの医療・福祉情報システムを利用するには、そのシステムの構成や ICT に関する知識を求められるものではない。しかし、システム導入や更新などの際に、ICT の知識は役立つ。本講義では、医療・福祉を支える情報通信技術(ICT)について学ぶ。								
学習目標	各種の介護ロボットを支える情報通信技術(ICT)について理解する。								
キーワード	医療 福祉 介護ロボット 情報通信技術 ICT システム								
テキスト・ 参考書等	講義において適宜紹介する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療・福祉を支える情報通信技術(ICT)に関する基本的な知識を身に着けている。								
LO-2	医療・福祉を支える情報通信技術(ICT)に関する基本的な技能を身に着けている。								
LO-3	医療・福祉を支える情報通信技術(ICT)に関する知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	医療・福祉を支える情報通信技術(ICT)に関して、その動向に関心を向けることができる。								
LO-5	情報通信技術(ICT)を利用して利用者の生命および生活を健全に支援できる豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100			15			115
LO-1			40			3			43
LO-2			15			3			18
LO-3			15			3			18
LO-4			15			3			18
LO-5			15			3			18
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション「医療・福祉とICT」 問題	
	【予習】なし	0分
	【復習】もんだい医療・福祉とICTのかかわりについて調べてみよう	90分
第2回	「眠りスキャン」をささえる技術(1) 眠りスキャンの機能と構成	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第3回	「眠りスキャン」をささえる技術(2) 組み込みプロセッサ	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第4回	「眠りスキャン」をささえる技術(3) 情報ネットワーク	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第5回	「眠りスキャン」をささえる技術(4) センサー技術	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第6回	「眠りスキャン」をささえる技術(5) サーバの構成	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第7回	「眠りスキャン」をささえる技術(6) 画像処理	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第8回	「眠りスキャン」をささえる技術(7) AI-人工知能	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第9回	「眠りスキャン」をささえる技術(8) まとめ	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第10回	「ハナスト」をささえる技術(1) ハナストの機能と構成	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分

第11回	「ハナスト」をささえる技術(2) スマートフォン	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第12回	「ハナスト」をささえる技術(3) 情報の統合	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第13回	移乗型ロボットをささえる技術(1) 移乗型ロボットの機能と構成	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第14回	移乗型ロボットをささえる技術(2) センサーとアクチュエータ	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分
第15回	医療・福祉とICT まとめ	
	【予習】テーマとなっている技術について調べてみよう	45分
	【復習】テーマとなっている技術についてまとめよう	45分

授業科目名	富山型福祉特別講義			科目コード	W131-13				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	学内の教員や学園内の教員の他外部の非常勤講師を交えたオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	社会福祉業界を幅広く捉え、社会福祉業界を俯瞰して見れる視野を身に付けると共に今後のキャリア形成時の参考とする。								
キーワード	富山型福祉								
テキスト・ 参考書等	資料配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第2回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造性を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第3回	富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第4回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第5回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第6回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第7回	富山県内の特色ある法人の取組みを理解し、ビジネスにおける創造性も高める。	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第8回	富山県内の特色ある法人の取組みを理解し、ビジネスにおける創造性も高める。	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

授業科目名	介護福祉経営論			科目コード	W131-14				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	福祉ビジネス、介護事務概論、医療事務概論								
資格等 取得との関連	介護福祉経営士2級								
授業の概要	安定した介護福祉事業経営を実現し、より良質な介護福祉サービスを提供すること、さらに介護保険だけではカバーできない地域ニーズに対応する新しいサービスを開発するなど、介護福祉を基盤とした改革を進めるために、「介護福祉経営士」の合格を目指すものである。								
学習目標	介護福祉経営に関して法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識が必要となすが、その基本的知識を修得する。								
キーワード	・医療の理解、高齢者の医療と健康、実施指導、監査、多様化するサービス、保険外収入等								
テキスト・ 参考書等	介護福祉経営士入門研修テキストはじめて学ぶ介護福祉のマネジメント								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	介護福祉経営士として介護福祉士経営に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	介護福祉経営士として介護福祉士経営においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	高齢化の進展と拡大する介護サービス市場	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第2回	地域包括ケアを学ぶことで地域での役割を理解する	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第3回	介護人材の見通しと確保の対策	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第4回	介護人材の見通しと確保の対策	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第5回	介護保険制度のしくみ	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第6回	介護福祉事業経営を理解する	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第7回	介護福祉事業経営を理解する	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第8回	介護福祉サービスにおける行政機関の役割	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第9回	介護福祉サービス経営に必要な6つの要素	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第10回	介護福祉サービス経営に必要な6つの要素	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

第11回	リーダーシップ論	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第12回	リーダーシップ論	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第13回	社会に貢献する組織をつくる	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第14回	まとめ	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

授業科目名	インターンシップ			科目コード	W131-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫 吉牟田 裕					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護事務概論		後継科目	医療事務概論、福祉ビジネス、介護福祉経営論					
関連科目									
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	医療機関（病院又は診療所）や介護保険関連施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）で医療事務、介護事務、福祉ビジネス企業の見学及び体験を行う。								
学習目標	医療・介護福祉の現場において医療事務や介護事務、福祉ビジネスなどの仕事を見学し、その業務の一部を体験することによって、医療事務・介護事務の役割及び福祉ビジネス企業を理解するとともに、その仕事に必要な知識・技能・態度を身につけることをねらいとする。								
キーワード	医療機関、介護保険、サービス、請求事務、福祉ビジネス								
テキスト・ 参考書等	インターンシップ手引き								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみや福祉ビジネスなどを理解する。								
LO-2	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスで必要な技能を理解している。								
LO-3	医療・介護の事務組織の役割や福祉ビジネスについて考察することができる。								
LO-4	実習目的を自覚して意欲的に行動できる。計画的に取り組むことができる。マナーをきちんと守り、明るく、身だしなみを整えて行動することができる								
LO-5	医療機関、介護保険施設・事業所、福祉ビジネス企業と多職種との連携・協働のあり方を理解できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			20		20				40
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					30				30
LO-5			10						10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論のテキストの該当項目を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る	60分
第2回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論テキストの該当箇所を読んでくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第3回	介護保険事務の流れや受付業務、介護請求事務のしくみを理解できる。	
	【予習】介護保険制度のサービス内容を調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第4回	福祉ビジネス分野の多様なサービスを理解する 福祉用具、販売事業 サービス付高齢者住宅	
	【予習】介護保険制度における福祉用具貸与・購入について調べてくる。	60分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	60分
第5回	(1) インターンシップで観察・体験したことをワークシートにまとめる。 (2) 観察・体験したことを発表・意見交換することで、学びを共有する。	
	【予習】4日間の見学体験したことを振り返る。	60分
	【復習】インターンシップ全体を通して、学んだことをまとめる。	60分
第6回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料を作成してくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う。	60分
第7回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料を作成してくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う	60分
第8回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料を作成してくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う	60分
第9回	インターンシップ報告書作成のための基礎資料をまとめる	
	【予習】基礎資料の作成をしてくる	60分
	【復習】基礎資料の見直しを行う	60分
第10回	インターンシップ報告書作成	
	【予習】インターンシップを振り返る	60分
	【復習】報告書としての体裁を整える	60分

第11回	インターンシップ報告書作成	
	【予習】インターンシップを振り返る	60分
	【復習】報告書の体裁を整える	60分
第12回	インターンシップ報告書の作成	
	【予習】インターンシップを振り返る	60分
	【復習】報告書としての体裁を整える	60分
第13回	インターンシップ報告会	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】発表内容の振り返り	60分
第14回	インターンシップ報告会	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】発表の振り返り	60分
第15回	インターンシップ報告会	
	【予習】発表の練習	60分
	【復習】振り返り	60分

授業科目名	介護事務概論			科目コード	W131-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護事務演習					
関連科目	医療事務概論、医療事務演習、福祉ビジネス、介護福祉経営論								
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験、介護福祉経営士2級								
授業の概要	介護福祉に関する組織の中で働く意義、役割を理解し、介護福祉に従事する責務と倫理、介護保険法、老人福祉法に関する法規、規則についての基礎知識を習得する。介護保険制度のしくみやサービス利用、介護給付費の請求に関する知識および技術を習得する。								
学習目標	介護保険制度における介護サービス利用の流れとサービスの種類について説明できる。介護報酬の基本構造およびサービス費用の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる。ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。								
キーワード	介護保険制度、介護事務、介護報酬								
テキスト・ 参考書等	授業時に資料等を配布								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの種類、介護報酬の基本知識を身につけている。								
LO-2	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。								
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ケアクラーク取得に関するガイダンス	
	【予習】ケアクラークの資格について調査してくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第2回	経営の視点から介護サービスを捉える	
	【予習】" 制度ビジネス " について調査してくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第3回	介護サービスを経営の視点から捉える	
	【予習】配布教材の「介護保険と高齢者福祉の手引き」を読んでくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第4回	介護サービスを経営の視点から捉える	
	【予習】配布した教材「介護保険と高齢者福祉の手引き」を読んでくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第5回	介護報酬の仕組みの理解（介護報酬とは、介護報酬の算定構造 ～ 、介護報酬改定の流れ）	
	【予習】教材「介護報酬の仕組みの理解」を読んで、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第6回	介護報酬の仕組みの理解（介護報酬とは、介護報酬の算定構造 ～ 、介護報酬改定の流れ	
	【予習】教材「介護報酬の仕組みの理解」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本授業で学習した内容を振り返る。	90分
第7回	介護報酬の請求の流れ（契約、介護報酬の請求 から ）	
	【予習】教材「介護報酬の請求の流れ」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本授業時で学習した内容を振り返る。	90分
第8回	介護報酬の請求の流れ（契約、介護報酬の請求 から ）	
	【予習】教材「介護報酬の請求の流れ」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分

授業科目名	介護事務演習			科目コード	W131-31				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	松島 紘子 小平 達夫					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	福祉ビジネス、介護福祉経営論					
関連科目	介護事務概論、福祉ビジネス、介護福祉経営論								
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験								
授業の概要	介護報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、報酬明細書（レセプト）の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。								
学習目標	ケアプランの記載事項を把握できるようにする。 ケアプランから介護報酬明細書（レセプト）が作成できるようにする。								
キーワード	介護事務、レセプト、介護報酬（加算・減算含む）								
テキスト・ 参考書等	介護事務講座 介護保険請求事務テキスト1 社会福祉と人間関係テキスト2 介護保険請求実務別冊（ニチイ学館）,配布資料								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	介護事務に必要な介護報酬の知識を身につけている。								
LO-2	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。								
LO-3	多職種連携チームの一員として、介護経営の視点から介護報酬について考える力を身につけている。								
LO-4	介護業界の動向に関心を向け、主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護保険制度（１）介護保険法（２）介護保険制度の仕組み	
	【予習】介護保険制度について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第2回	●介護給付費・介護予防給付費 ●保険者の事務 ●介護保険財政・重層的な支え合い ●介護保険制度と関連法規要 ●介護認定の流れ	
	【予習】介護事務について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第3回	介護報酬請求事務（１）居宅サービス介護給付費の理解 訪問介護・訪問入浴・訪問看護	
	【予習】訪問介護、訪問入浴、訪問看護のサービスの内容について調べておく	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第4回	介護報酬請求事務（１）居宅サービス介護給付費の理解 通所介護、通所リハビリ	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】復習を行う。	45分
第5回	介護報酬請求事務（１）居宅サービス介護給付費の理解短期入所生活介護、福祉用具貸与、居宅介護支援、居宅療養管理指導	
	【予習】復習の内容を確認しておく。介護保険施設について概要を理解しておく。	45分
	【復習】授業の復習を行う・基礎問題集 p 17～19	45分
第6回	介護報酬請求事務 施設サービス等介護給付費の理解 介護福祉施設 介護老人保健施設	
	【予習】復習内容の確認を行う。介護保険施設について理解しておく。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第7回	介護報酬請求事務 介護医療院サービス費・介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の復習。テキスト（青）、別冊（緑）、コード表を持参すること。	45分
	【復習】第7回資料・訂正 授業内容の振り返りをする。授業アンケートの入力。 厚生労働省・介護医療院とは	45分
第8回	介護報酬請求事務 1.居宅サービス介護給付明細書の作成訪問介護・訪問入浴・訪問看護	
	【予習】前回の復習。課題を提出すること。テキスト（青）、別冊（緑）、コード表を持参すること。	45分
	【復習】1.復習問題 2.授業アンケート入力。	45分
第9回	介護報酬請求事務（１）居宅サービス介護給付明細書の作成 通所介護、通所リハビリ	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】通所介護・通所リハグループの解答授業内容の振り返りをする。	45分
第10回	介護報酬請求事務（１）施設サービス等介護給付費明細書の作成 介護保健施設	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。授業アンケートの入力。	45分

第11回	介護報酬請求事務（１）施設サービス等介護給付費明細書の作成 介護医療院	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第12回	介護報酬請求事務 居宅・施設サービス明細書の記入丹羽一郎・大沢冬子	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第13回	介護報酬請求事務 居宅・施設サービス等介護給付費明細書の作成 田中夏子、楡野律	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】田中夏子・楡野律解答例授業内容の振り返りをする。 介護医療院とは	45分
第14回	区分支給限度額について介護報酬請求事務 居宅・施設サービス等介護給付費明細書の作成 試験対策問題	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】令和6年6月カレンダー授業内容の振り返りをする。学科問題解答	45分
第15回	介護報酬請求事 居宅・施設サービス等介護給付費明細書の作成 試験対策問題	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをし、試験に向けて問題集や課題に取り組んでください青木やえ解答訂正大石亘・解説と解答 基礎問題集のやり残しがないようにする。	45分

授業科目名	医療事務概論			科目コード	W131-40				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	医療事務演習					
関連科目	インターンシップ、福祉ビジネス、介護福祉経営論								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク 介護福祉経営士								
授業の概要	我が国及び世界における医療の歩みを理解し、医療の目的及び健康状態の維持・増進について理解を深める。そして、医療組織の中で働く意義、役割を理解し、医療者に必要とされる責務と倫理、医療に関する法規、規則、感染症等のガイドラインの基礎知識を習得する。								
学習目標	患者接遇マナーの理解 医療保険制度の基礎知識の習得 後期高齢者医療制度と診療報酬の理解 健康保険法による保険給付の種類と内容医療機関の分類の理解								
キーワード	医療保険制度 医療マネジメント 患者対応 等								
テキスト・ 参考書等	医療事務講座								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療保険制度、レセプトコンプライアンス、医療マネジメント、レセプトマネジメントの基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	患者接遇の基本が身についている。（窓口対応、電話対応）								
LO-3	医療チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考えることができる。								
LO-4	医療業界の動向に関心を向けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション ・医療事務技能審査試験の概要について ・医療業界について ・医療、介護の連携について	
	【予習】「医療事務講座」テキストを読んで、分からない用語を事前に調べて、理解しておくこと。	90分
	【復習】医療業界についての理解を深める。	90分
第2回	患者接遇マナー ・患者接遇の基本・患者受付の対応・医療人として守るべきこと・職場のコミュニケーション	
	【予習】「医療事務講座」テキストにて該当箇所を事前に読んでくること。	90分
	【復習】患者接遇マナー ・患者接遇の基本・患者受付の対応・医療人として守るべきこと・職場のコミュニケーションについて理解をする。	90分
第3回	医療保険制度の基礎知識 ・保険診療とは・医療機関と医療事務・医療保険制度・医療保険の種類	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第4回	後期高齢者医療制度と診療報酬 ・医療保険の種類 ・後期高齢者医療制度・公費制度・介護保険制度	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第5回	健康保険法による保険給付の種類と内容医療機関の分類 ・現物給付と現金給付・病床による分類 ・機能による分類等・富山の医療	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第6回	電子カルテシステム・保険外併用療養費とDPC制度 ・医療情報とIT化と電子カルテ・電子カルテシステム等・評価療養、患者申出療養、選定療養・DPC制度について・その他に公費と労災等	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第7回	医療のあらましと医療に関連する法規 ・国民生活と社会保障・日本における医療の歴史・医療法規の概要、医療法、医療従事者に関する法規等	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第8回	まとめと振り返り ・介護福祉経営士資格について	
	【予習】これまでの授業で理解できなかった箇所を把握する。	90分
	【復習】介護福祉経営士資格の重要性について理解する。	90分

授業科目名	医療事務演習			科目コード	W131-41				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	インターシップ		後継科目						
関連科目	医療事務概論								
資格等 取得との関連	医療事務技能審査試験								
授業の概要	診療報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、カルテの読み方・診療報酬明細書（レセプト）の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。								
学習目標	基本診療料と特掲診療料からなる診療報酬点数表を説明できるようにする。 カルテの記載事項を把握できるようにする。 カルテから診療報酬明細書（レセプト）が作成できるようにする。								
キーワード	医療事務、レセプト、診療報酬（加算・減算含む）								
テキスト・ 参考書等	1 医療事務講座（医療保険制度）、2 医療事務講座（患者接遇マナー）、3 医療事務講座（診療報酬点数算定）、4 医療事務講座（診療報酬明細書）、医療事務講座（慣用点数早見表、記載要領等）診療報酬点数表								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	医療事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。								
LO-2	窓口対応に必要な接遇や診療報酬請求業務に必要な技術を身につけている。								
LO-3	医療チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。								
LO-4	医療業界の動向に関心を向け、主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	診療報酬請求業務 医科診療報酬に係る事項（出来高・DPC制度）	
	【予習】診療報酬請求業務 について理解を深めてくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第2回	医学一般（１）各器官系の名称・構造・機能（２）人体解剖と病理（３）疾病の原因と治療	
	【予習】こことからだのしくみ のテキストを読んでくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第3回	薬学一般（１）医薬品の種類と薬効分類	
	【予習】医薬品の種類と薬効分類について理解を深めてくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第4回	診療録（１）医科医療用語・略語（２）その他カルテ解読に必要な事項（３）電子カルテシステム	
	【予習】どのような医療用語があるのかを事前に確認してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第5回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第6回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第7回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第8回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第9回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第10回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第11回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第12回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第13回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第14回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第15回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W141-20				
科目区分	専門科目 - キャリア支援		担当教員名	小平 達夫 関 好博 井上 理絵					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	職業人として知識・技術・熱意の3条件が必要です。知識については、社会経験で培われた実践的		後継科目	なし					
関連科目									
資格等 取得との関連	卒業要件に係る資格取得全て								
授業の概要	自分は何をしたいのか、どのような仕事をしたいのか、将来なりたい自分に向けてキャリアプランを描きます。また、仕事をするうえで必要な社会人基礎力を理解し、社会での活用を目指す。また自分のキャリア形成の幅を広げるために社会福祉分野、介護分野、ビジネス分野より自分の進路を考える。								
学習目標	1．自分の将来設計（ライフプラン）を考え、明らかにする。 2．自分自身を分析し、特別講座をとおして、自分に適した仕事・職場を見つける。 3．社会人としてのマナーを身につける。 4．学び続ける姿勢を維持続ける。								
キーワード	社会人基礎力、キャリアプラン、接遇、人間関係、キャリア形成								
テキスト・ 参考書等	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。								
LO-2	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。								
LO-3	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。								
LO-4	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75		15			25			115
LO-1	15		15			5			35
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（介護福祉士資格について多方面より考える）介護福祉士での世界での活躍の場においてベトナムの事例から考える。また、外国人介護士との協働について考える。	
	【予習】各種媒体にて、社会で求められる人材について調査する。	30分
	【復習】今後社会で求められる人材について、再度理解を深め、日常生活の中で実践する。	30分
第2回	キャリアと仕事へのアプローチ（働く意識・仕事への取り組み方・会社の基本とルール）と仕事の基本となる8つの意識（顧客意識・品質意識・納期意識・時間意識・目標意識・協調意識・改善意識・コスト意識）コミュニケーションとビジネスマナーの基本と指示の受け方と報告・連絡・相談	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第3回	話し方と聞き方のポイントと来客対応と訪問の基本マナー	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第4回	会社関係でのお付き合い等	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第5回	仕事への取り組み方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第6回	ビジネス文書の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第7回	電話応対	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第8回	統計・データの読み方・まとめ方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第9回	情報収集とメディアの活用	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第10回	会社を取り巻く環境と経済の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

第11回	特別講座 学科長講話	
	【予習】自分の興味のある進路先及びその業界について調査してくる。	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第12回	特別講座 福祉分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第13回	特別講座 介護分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第14回	特別講座 福祉ビジネス分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業の振り返りをしてくる。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W141-30				
科目区分	専門科目 - キャリア支援		担当教員名	吉牟田 裕 井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護福祉士指定科目の全て		後継科目	介護福祉総合演習					
関連科目	介護福祉士指定科目の全て								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」の3領域を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験（基礎編・実力編）を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習します。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験、人間と社会の領域、こころとからだのしくみ領域、介護領域、基本知識								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト、配布資料、模擬問題集またはワークブック								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	3領域（人間と社会・こころとからだのしくみ・介護）の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解していくことができる。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点が取得できる。								
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させていくことができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	30							100
LO-1	40	10							50
LO-2									
LO-3	10	10							20
LO-4	10	10							20
LO-5	10								10
備考	毎回の小テスト、模擬試験、で習熟度でグループ編成し、授業をします。成績は、期末試験・毎回の小テスト・模擬試験で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本科目に関するガイダンス 前期のすすみ方、自己の学習の仕方、模擬試験について説明 2回の実力試験範囲分かる	
	【予習】本シラバスを読み講義の概要・目的を抑え、科目の進み方が分かる	90分
	【復習】次回の実力試験に向けて 理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
第2回	実力試験 1 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験1回目で、間違えた個所を調べ重要なポイントをプリントに記述する。	90分
第3回	実力試験 2 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験 2 回目で、間違えた個所を調べ重要なポイントをプリントに記述できる	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けたみじたく・移動・食事・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解する。	
	【予習】自立に向けたみじたく・移動・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解不足のところをテキストで、振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第7回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けた住居環境・家事援助について理解する。	
	【予習】自立に向けた住居環境・家事援助において基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第8回	領域介護：介護過程 介護過程の意義と目的、情報集とアセスメント、介護過程の展開、チームアプローチについて必要な知識を理解する。	
	【予習】介護過程の意義と目的、アセスメントの定義と方法、情報収集の方法と解釈、介護過程の展開、評価について基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第9回	領域：こころとからだのしくみ 人体を構成している各組織や器官の構造を理解する。生体の機能を維持していくために、各器官が、どのように働いているか理解する。	
	【予習】人体の構造と機能について医学一般の授業で使ったテキスト・授業時のノートから振り返る。理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第10回	領域：こころとからだのしくみ 人体の構造や機能と生活行為がどのように連動しているか理解する。生活行為・動作に関する基本的な知識を知り、生活支援技術に關ず仕組みを理解する。	
	【予習】人体のしくみから様々な生活行為を関連させておく。姿勢・移動動作、入浴・清潔動作、身支度の動作、食神関する動作、睡眠などの基本的な知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見る。また、理解不足のところや苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分

第11回	領域：人間と社会 社会の理解 介護保険制度、社会保障制度のしくみ、個人を守る制度、障害者総合支援法など制度のしくみとサービスの内容等社会福祉の基本的な部分を理解する。	
	【予習】社会福祉の歴史、介護保険制度のしくみ、障害者自立支援、総合支援法のしくみ、日本の社会保障制度等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第12回	領域：こころとからだのしくみ 認知症の理解 認知症を取り巻く状況、医学的側面からの認知症（中核症状・B P S D・周辺症状）、認知所症ケアについて正しく理解する。	
	【予習】認知症の原因疾患の症状・特徴、認知症による障害を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第13回	領域：こころとからだのしくみ 障害の理解と発達と老化のしくみ 障害の概念 障害者福祉の基本理念、障害の医学的側面を含めた基礎的な知識を理解する。人の成長・発達について理解する。高齢者に多い疾患と症状の現れ方について分かる。老化について生活への影響を、心理的・社会的・生理的側面からとらえ基礎的な知識を理解する。	
	【予習】障害者福祉法、ノーマライゼーションの意義・歴史的経緯、障害の医学的側面御基礎的知識（身体機能意障害・内部障害・視覚聴覚障害・言語障害）、障害者の心理的側面等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る。発達課題、老化のメカニズム等テキストや資料で振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分
第14回	前期外部模擬試験 （基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分
第15回	前期外部模擬試験 （基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分

授業科目名	総合的研究			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 総合支援 - 研究		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年後期・2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士（介護福祉学）								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心をもち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進る際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け) 研究室配属希望調査	
	【予習】なし	0分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(3)	45分
第3回	研究テーマの確定1 (分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】研究テーマを考える	30分
第4回	研究テーマの確定2 (リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(4) 研究テーマの深化	45分
	【復習】研究の動機、目的をまとめる	30分
第5回	研究テーマの確定3 (研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】研究の動機、目的をまとめる	30分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1 (調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】研究手法について予習する	30分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2 (グループ別文献検索指導)	
	【予習】文献検索するキーワードについて予習する	30分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1 (先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】研究計画を構想する1	30分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2 (先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】研究計画を構想する2	30分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1 (調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分

第11回	調査の準備と実施2 (調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3 (調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1 (中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2 (中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3 (中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】中間まとめの資料作成	45分
	【復習】中間まとめの資料作成	30分
第16回	中間まとめ	
	【予習】中間まとめの資料作成	45分
	【復習】中間まとめの資料作成	30分
第17回	中間発表の準備1 (調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2 (調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3 (調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察 (調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	30分
	【復習】調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】記録集作成準備ならびに執筆	30分
	【復習】記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】記録集作成準備ならびに執筆	30分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】1校の校正	30分
	【復習】1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】2校の校正	30分
	【復習】2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】3校の校正	30分
	【復習】3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】4校の校正	30分
	【復習】4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】発表原稿の準備	30分
	【復習】発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】発表の練習	30分
	【復習】発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】発表の練習	30分
	【復習】リハーサルの総括、発表原稿などの改善	30分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】発表の練習	45分
	【復習】発表の振り返り	30分

授業科目名	健康福祉論				科目コード	W511-10			
科目区分	教養科目 - 健康			担当教員名	中島 眞由美				
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	運動と健康			後継科目	アクティビティ概論				
関連科目	健康スポーツ、こころとからだのしくみ ～、障害者ケア論・、認知症ケア論・								
資格等 取得との関連	資格取得に直接的に必要な科目ではないが、基礎となる科目である。								
授業の概要	SDG s における健康と福祉、ライフサイクルや災害、環境と健康、WHO の健康の定義、well-being、社会的包摂等、人々の健康としあわせについて幅広く学ぶ。								
学習目標	ライフサイクルと健康、災害、感染症、環境と健康、健康づくり施策等を知る。 Well-being、社会的包摂について理解し、人の健康としあわせについて考えることができる								
キーワード	健康、well-being、ポジティブヘルス、社会的包摂								
テキスト・ 参考書等	なし。適宜プリントを配布予定。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	すべての人が健康で幸せな毎日をおくるための基礎的知識がある。								
LO-2	すべての人が健康で幸せな毎日をおくるための基礎的技術がある。								
LO-3	病気や障害、生きづらさを抱えた人が健康で幸せな毎日を送るための思考力、判断力がある。								
LO-4	人や社会の動きに関心を持ち、人の健康と幸せについて主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	誰一人取り残すことなく人を温かく包み込む人間性・社会性がある。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他Aは授業でのグループワークや個人ワーク								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	健康とは何か	
	【予習】健康の定義について調べておく	90分
	【復習】健康とは何か、授業を振り返り、自分の言葉でまとめる	90分
第2回	SDGs目標3 すべての人に健康と福祉を	
	【予習】すべての人に健康と福祉をとはどういう意味か、世界の課題を調べてくる、	90分
	【復習】すべての人の健康と福祉を実現するための方法を考える	90分
第3回	ポジティブヘルス	
	【予習】オランダで生まれたポジティブヘルスについて調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノート进行まとめる	90分
第4回	well-beingとは何か、well-beingが叫ばれる理由、well-beingの指標	
	【予習】well-beingについて調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノート进行まとめる	90分
第5回	人とのつながり、ネットワークと健康	
	【予習】つながることの効用を調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノート进行まとめる	90分
第6回	ライフサイクルと健康、災害、感染症、環境と健康	
	【予習】災害、感染症と健康について調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノート进行まとめる	90分
第7回	健康日本21、保健医療2035、ムーンショット研究プロジェクト	
	【予習】健康日本21について調べてくる	90分
	【復習】授業を振り返りノート进行まとめる	90分
第8回	健康と幸せと福祉、社会的包摂	
	【予習】健康と幸せと福祉、社会的包摂について調べてくる	90分
	【復習】健康と幸せと福祉についてまとめる	90分

授業科目名	運動と健康			科目コード	W511-20				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	アクティビティ概論					
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連	公認初級バラスポーツ指導員　ウォーキングトレーナー								
授業の概要	学生生活を通し健康・体力を維持するための基礎理論と関わる諸問題について学ぶ。また、健康支援や介護予防、地域社会など広く活用できる運動やスポーツについて学ぶ。								
学習目標	学生生活の健康課題、生活習慣病や地域社会、介護予防に関わる基礎的な事項として運動・身体活動の重要性を理解する。また、健康・福祉・介護・地域社会に向けた運動やスポーツの状況について把握する。								
キーワード	運動、体力、スポーツ、健康、健康体操プログラム								
テキスト・ 参考書等	ウォーキングトレーナー養成講習会テキスト(第6版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康・体力を維持するための運動やスポーツの必要性を理解している。目的にあわせた健康・体力づくりの理論と方法について理解している。								
LO-2	【技能】個人の健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価し、自らの健康・体力づくりを行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツ・健康に関する問題を捉え、その実践的な問題解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分のコンディションについての関心を高めさらに維持・向上させようとすることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		70				30			100
LO-1		20							20
LO-2		30							30
LO-3		20							20
LO-4						15			15
LO-5						15			15
備考	小テストを行う。ミニッツペーパーより質問等に答える。　　その他：A　LO-4・LO-5 課題への取組による関心度から考慮する。授業態度(グループへの関与)の参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、地域の健康運動、スポーツと資格制度 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】授業の概要、評価方法、を整理しておく 配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第2回	スポーツに求められるもの - インテグリティ、スポーツマンシップ - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第3回	多様なスポーツ、運動の価値を考える 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第4回	体力とは何か、体カトレーニング	
	【予習】配布資料、テキストを読んでおく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第5回	筋収縮の種類とエネルギー代謝の経路	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第6回	歩行と有酸素運動 - 自分に合った運動強度 - ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】配布資料、テキストを読んでおく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分
第7回	まとめと確認ワーク	
	【予習】これまでのメモや資料を整理しておく	45分
	【復習】振り返り、資料と照合しておく	45分
第8回	運動・福祉施設による安全管理 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連用語について調べておく	45分
	【復習】配布資料、メモ類を整理しておく	45分

授業科目名	健康スポーツ			科目コード	W511-21				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	無し		後継科目	アクティビティ概論					
関連科目	運動と健康								
資格等 取得との関連	公認初級パラスポーツ指導員 ウォーキングトレーナー								
授業の概要	各自が生涯にわたり身体を動かすことを楽しみ、学生生活をより健康に生活できるようになるための授業を行う。授業はレクリエーションやパラスポーツを中心に行い、ストレッチやヨガを実践し心地よさを感じるようなプログラムを行なう。さらに学外においてウォーキングの実施、パラスポーツ大会での交流を通し資格取得をめざす。								
学習目標	スポーツやそのほかの運動を通じて、楽しさや体を動かす心地よさを感じられるようにする。スポーツや運動を授業だけではなく学生時代の一部として取り入れ、生涯の健康づくりに運動を嗜む意識を身につける。								
キーワード	心地よさ 運動の機会 健康づくり レクリエーション パラスポーツ ウォーキング								
テキスト・ 参考書等	ウォーキングトレーナー養成講習会テキスト(第6版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康が活動の土台であることを理解し、自ら健康の維持・向上に努めようとする。身体への適切な負荷のかけ方や自身の身体への対話方法を見つけるように努める。								
LO-2	【技能】ボールや用具の使い方において基本的な技術を身につける。自分に合った運動強度を知りその維持・向上に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】チームプレーでの課題を見出しその解決に努められるようにする。苦手な運動要素についてその課題を克服できるような方法を知る。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の身体を知り維持・向上させることにより自己肯定感が高まる。仲間とともに活動することにより互いを認め合い粘り強く取り組めるようになる。								
LO-5	【人間性・社会性】健全な友達関係を構築し、その他の授業においても互いに尊重し合う活動できるようにする。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						50			50
LO-3						5			5
LO-4						5			5
LO-5						30			30
備考	その他Aについて：LO1.5は、ミニッツペーパー及び活動の状況を見て総合的に判断する。 LO3 . 4は、チームプレーでの勝敗や活動の主体性を見て判断する。LO2は、ボール操作技術、基礎的な運動についての能力向上の状態を見て評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、ストレッチングの導入、レクワーク ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】内履きシューズ、運動着を準備しておく。コンディションを整えておく	20分
	【復習】学生のしおりとシラバスを確認する	25分
第2回	ソフトバレーボール(1)	
	【予習】チームを作るので、メンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第3回	ソフトバレーボール(2)	
	【予習】チーム対抗戦の実施予定 ルールの確認をしておく	20分
	【復習】チームのメンバーと次回に向けたミニ・ミーティングをし、各班でメモをし共有する。	25分
第4回	ラダーゲッター 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分
第5回	ヨガ教室	
	【予習】ヨガの目的と効果について調べておく。ヨガマットまたは身長大のバスタオルを準備する。	20分
	【復習】インストラクターよりの説明をノートに整理する。ポーズを自宅で復習する。	25分
第6回	障害のある人とのバラスポーツ交流(1) - 障害者スポーツ大会での運営を通して - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】大会の行程や開催場所を調べておく	20分
	【復習】どのようなアスリートが参加していたか、運営スタッフとの関りなど振り返る。	25分
第7回	障害のある人とのバラスポーツ交流(2) - 障害者スポーツ大会での運営を通して - 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】6回目と同じ	20分
	【復習】6回目と同じ	25分
第8回	ウォーキング(1) - 歩き方と運動強度 - ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第9回	キンボール	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分
第10回	ウォーキング(2) - ノルディックウォーキング - ウォーキングトレーナーの必須単元	
	【予習】8回目と同じ	20分
	【復習】8回目と同じ	25分

第11回	バドミントン(1) 基本の打ち方 ゲーム(ダブルス)の進め方の確認と練習	
	【予習】バドミントンについて興味をもって技術練習やゲーム方法を調べる	20分
	【復習】ルール、試合の進行、コートの準備片付けを整理しておく	25分
第12回	バドミントン(2) ゲーム(ダブルス)の実践	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておく。	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第13回	ショート・テニス / フレッシュ・テニス(1)	
	【予習】基本の打ち方と試合方法を整理・練習しておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第14回	ショート・テニス / フレッシュ・テニス(2)	
	【予習】グループ対抗戦のため、チームメンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】授業全体を振り返り、自身の日常に活用/応用できるスポーツ活動を考える	25分
第15回	ボッチャ 公認初級バラスポーツ指導員の必須単元	
	【予習】興味のある関連項目を調べておく	20分
	【復習】水分を補給し、熱中症の予防と疲労回復に努める	25分

授業科目名	アクティビティ概論				科目コード	W511-30			
科目区分	教養科目 - 健康				担当教員名	小椋 一也			
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康・レクリエーション・アクティビティの分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期				授業の方法	講義			
必修・選択	選択				単位数	2単位			
前提科目(知識)	健康福祉論 健康と運動 健康スポーツ				後継科目	無し			
関連科目	介護福祉論 介護福祉論 生活支援技術 生活支援技術 介護過程 こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	アクティビティ・ワーカー								
授業の概要	ここでいうアクティビティとは対象者(利用者)の方々の心身・生活の活性化と捉える。さらにアクティビティ・サービスとは、その視点に立ち、そのためのすべてのサービスを考え提供(支援)することになる。ここではアクティビティ・サービス論として必要な基礎理論を学習する。								
学習目標	(1)アクティビティ・サービスの基礎理論を学ぶ。 (2)アクティビティ・サービスにおける援助の概況を学ぶ。								
キーワード	アクティビティ 心身/生活の活性化 心地よさ 生きがい 日常生活								
テキスト・ 参考書等	適宜資料を配布予定								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】アクティビティ・サービスの基礎的な理論・援助論について理解し、正しく答えられる。								
LO-2	【技能】対象者(利用者)のニーズを踏まえ、個別性に留意した取り組みができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】対象者(利用者)のアクティビティ・サービスにおけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者(利用者)に関心をもち、自分自身も適正なアクティビティに努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						30			30
LO-2						15			15
LO-3						15			15
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	アクティビティ・サービスとは ～レクからアクティビティ・サービスへの成り立ち	
	【予習】シラバスを読んでおく	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第2回	レクからアクティビティ・サービス ～快/心身の活性化	
	【予習】次回(2回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第3回	アクティビティ・サービスの身近な素材とアレンジ	
	【予習】前回の配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第4回	アクティビティ・サービスの期待される効果	
	【予習】配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第5回	対象と必要なコミュニケーション 生活支援学とアクティビティ・サービス	
	【予習】配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第6回	生活支援学の成り立ち～価値、健康、尊厳～	
	【予習】配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】抄読した資料の読み返し、ノートしたところを振り返る。	90分
第7回	実習生から見たアクティビティ・サービス	
	【予習】各実習におけるアクティビティサービスのメモ類を整理し、まとめておく	90分
	【復習】ノートしたところを振り返る。	90分
第8回	求められるアクティビティ・サービス～数年間の系譜より～	
	【予習】関連する文献資料を読んでおく	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第9回	アクティビティ導入の黎明史	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第10回	ASの計画/基本的考え方 個別アクティビティの概要	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分

第11回	集団アクティビティの概要 AWに求められる姿勢/5H(1)	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第12回	AWに求められる姿勢/5H(2) Aプログラムの留意点(1)	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第13回	リスクマネジメント、Aプログラムの9要素	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第14回	Aプログラム立案の基本項目	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第15回	ASの事例から評価を学ぶ	
	【予習】今までの配布資料、ノートしたところを整理しておく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分

授業科目名	人間の尊厳と自立			科目コード	W521-10				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	コミュニケーション論、生活と社会		後継科目	なし					
関連科目	社会保障								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について共に考え、介護場面における倫理的課題に対応できるための基礎を学びます。具体的には、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討し、複雑な現代社会で「善く生きる」（納得のいく人生を歩む）ための心得を学習します。そうした学習を通じて、「人生という物語」に対する共感的な理解の能力を高めながら、福祉・介護関連の仕事に携わることの責任を自覚し								
学習目標	1．人間の尊厳と自立・自律の意義を理解する。 2．人権の歴史や基本的人権の概念を理解する。 3．多様な価値観・人生観を理解し、寛容の精神を培う。 4．介護場面における倫理的課題を理解する。								
キーワード	人間の尊厳、基本的人権、自立・自律、権利擁護、認知症、尊厳死・安楽死、児童虐待、発達障害								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解（最新 介護福祉士養成講座 1）』（中央法規出版、2019）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教科書に出てきた専門用語や授業中に補足説明した関連事項を正確に整理し、基礎知識を体系的に獲得している。								
LO-2	人間の尊厳、自立、人権の概念の歴史、意味、意義に関する知識を有する。								
LO-3	人間の多様な価値観、文化を理解し、寛容の精神を培い、介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を有する。								
LO-4	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を有する。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	成果発表については、 ケーススタディ（教材ドラマを用いたグループワーク）の取り組み姿勢、 ミニッツペーパー（講義内容に関する個別のコメント）の記述内容、以上の2点に基づいて評価を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 国家資格「介護福祉士」試験における「人間の尊厳と自立」	
	【予習】Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第2回	人間の尊厳と人権・福祉理念(1) 人間の尊厳と利用者主体	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第3回	人間の尊厳と人権・福祉理念(2) 人権思想の潮流とその具現化	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第4回	人間の尊厳と人権・福祉理念(3) 人権や尊厳に関する日本の諸規定	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第5回	人間の尊厳と人権・福祉理念(4) 人権や尊厳に関する日本の諸規定	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第6回	人間の尊厳と人権・福祉理念(5) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－人は人をどう援助しようとしてきたか	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第7回	人間の尊厳と人権・福祉理念(6) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－人は人をどう援助しようとしてきたか	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第8回	人間の尊厳と人権・福祉理念(7) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－戦後の新たな福祉のあり方への模索	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第9回	人間の尊厳と人権・福祉理念(8) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－戦後の新たな福祉のあり方への模索	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第10回	人間の尊厳と人権・福祉理念(9) 人権尊重と権利擁護	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分

第11回	人間の尊厳と人権・福祉理念(9) 人権尊重と権利擁護	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第12回	自立のあり方(1) 自律の概念の多様性	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第13回	自立のあり方(2) 自立とは	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第14回	自立のあり方(3) 介護を必要とする人々の自立と自立支援	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第15回	自立のあり方(4) 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分

授業科目名	コミュニケーション論			科目コード	W521-20				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	チームマネジメントの基礎					
関連科目	コミュニケーション技術 ・								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。								
学習目標	対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する。								
キーワード	自己覚知、他者理解、ラポール、自己開示、パーソナリティ、グループダイナミックス、アサーティブネス、ポライトネス、パーソナルスペース、バISTECKの原則、マイクロカウンセリング、感情の転移、容、共感、傾聴、言語的コミュニケ								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できている。								
LO-2	【技能】コミュニケーション技法の基礎を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲を有している。								
LO-5	【人間性・社会性】福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の尊厳と利用者主体、人権思想の潮流とその具現化、人権や尊厳に関する日本の諸規定等	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第2回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷、社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷等	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第3回	社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷、人権尊重と権利擁護	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第4回	自立の概念の多様性、自立とは	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第5回	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第6回	介護を必要とする人の自立と自立支援	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第7回	介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係、人間の誕生と介護の関係、自分と他者の理解	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第8回	自分と他者の理解、発達心理学から見た人間関係	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第9回	社会心理学からみた人間関係	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第10回	人間関係とストレス	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分

第11回	コミュニケーションの概念、コミュニケーションの基本概念、コミュニケーションの基本構造、コミュニケーションの手段	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第12回	コミュニケーションの手段	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第13回	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション、対人援助における基本的態度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第14回	援助的人間関係の形成とバイテックの7つの原則	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第15回	組織におけるコミュニケーション	
	【予習】これまでの授業をふり返ってくる。	90分
	【復習】ノートの整理をとおして授業で学んだことをまとめる。	90分

授業科目名	チームマネジメントの基礎				科目コード	W521-21			
科目区分	教養科目 - 人間と社会				担当教員名	小平 達夫			
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期				授業の方法	講義			
必修・選択	選択				単位数	2単位			
前提科目(知識)	コミュニケーション論				後継科目				
関連科目	コミュニケーション論、コミュニケーション技術I、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶ。								
学習目標	介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。								
キーワード	チームマネジメント、リーダーシップ、フォロワーシップ、キャリア形成、キャリア開発、組織運営、組織管理								
テキスト・ 参考書等	人間の理解（中央法規）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケーションの定義・環境・技法の知識を身につけている。								
LO-2	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能を身につけている。								
LO-3	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を身につけている。								
LO-4	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護サービスの特性と求められるマネジメント（介護サービスと他サービスとの相違点）	
	【予習】マネジメントについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第2回	組織と運営管理（福祉サービスの組織の機能と役割、組織の構造と管理、コンプライアンスの遵守）	
	【予習】コンプライアンスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第3回	チーム運営の基本（チームの機能と構成、リーダーシップ・フォロワーシップ、リーダーの機能と役割、業務課題の発見と解決の過程）	
	【予習】リーダーシップとフォロワーシップについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第4回	人材の育成と管理（人材育成の方法系、モチベーションマネジメント）	
	【予習】モチベーションと職務満足について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第5回	ヒューマンサービスとしての介護サービス	
	【予習】介護サービスのヒューマンサービスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第6回	介護現場で求められるチームマネジメント、介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	
	【予習】多職種連携について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第7回	ケアを展開するために必要なチームとその取り組み	
	【予習】介護現場での考えられる職種について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第8回	チームでケアを展開するためのマネジメント	
	【予習】多職種の職種と役割について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第9回	チームの力を最大化するためのマネジメント	
	【予習】リーダーシップの種類について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第10回	介護福祉職のキャリアと求められる実践力	
	【予習】キャリアの定義について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

第11回	介護福祉職としてのキャリアデザイン	
	【予習】自己啓発について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第12回	介護福祉職のキャリア支援・開発	
	【予習】自分のキャリア・職業人生について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第13回	介護サービスを支える組織の構造	
	【予習】報告・連絡・相談の機能について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第14回	介護サービスを支える組織の機能と役割	
	【予習】組織の階層構造、職種・職位、組織図について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第15回	介護サービスを支える組織の管理	
	【予習】介護現場での委員会と労務管理について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

授業科目名	情報処理演習				科目コード	W521-31			
科目区分	教養科目 - 人間と社会			担当教員名	吉牟田 裕				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	日本語文書処理演習			後継科目	日本語文書処理演習				
関連科目									
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士（ ）ビジネス実務士（ ） 上級情報処理士（ ）情報処理士（ ）日商PC検定（文書作成）2級試験								
授業の概要	効果的なビジネス文書について学ぶ。前期での実践的な技能をさらにスキルアップするとともに、企業でのITを利活用できるように応用力を養う。なお、日商PC検定文書作成3級を目指す。								
学習目標	適切なビジネス文書を適切に発信していく技術は、ビジネスパーソンにとって必須であることを理解するとともに、情報を正確に伝える・記録として残すのに必要な文書作成の基本的知識・技術の習得を目標とする。								
キーワード	word、文章作成・編集、表作成、図作成、クリップアート、ワードアート、スマートアート								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 公式テキスト＆問題集 Word 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	Word2016を利用し、目的にあった文書作成と高品質なデザインのビジネス文書作成ができる。								
LO-2									
LO-3	Wordを用いた基本的なビジネス文書を作成することができる。								
LO-4	積極的な学習態度がみられ、予習・復習をしっかりと行うことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日商PC3級 文書作成とはどんな試験か	
	【予習】教科書付録「日商PC検定試験の概要」を読んでおく	20分
	【復習】教科書の「日商PC検定試験の概要」を読む	25分
第2回	ビジネス文書 文書の有用性/ビジネス文書の基本/社内文書 タッチタイピングの練習 https://toyama-c-kf.edclub.com/	
	【予習】教科書の該当部分について復習する。 7月26日までにタッチタイピングの練習を Lesson 126 まで終了する。	20分
	【復習】教科書の該当部分について復習する。	25分
第3回	ビジネス文書 - 社外文書 基本的なビジネス文書の作成 - 作成する文書の確認 / 文章の入力	
	【予習】教科書第1章 社外文書の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第4回	第1章 確認問題 ビジネス文書のライティング技術 - 日本語の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 文書の編集 / 文字の配置 / 文字の装飾 / 文書の保存	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第5回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第6回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の応用 / 文章構成 表のあるビジネス文書の作成 - 表の作成 / 表のレイアウトの変更 / 表の書式設定	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第7回	ビジネス文書のライティング技術 - 敬語 / 確認問題(P.79) ビジネス文書 - 確認問題(P.79) 表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	25分
第8回	表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題（解説） 電子メールのライティング技術 - 電子メールの基本 / 文例とポイント / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第9回	ビジネス図解の基本 - 図解とは / 図解の基本パターン / 図解の作成方法 / グラフの利用 / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成 第4章 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第10回	ビジネス文書の管理 - 文書管理の基本 / 文書のライフサイクルと各プロセスの役割 / 確認問題 模擬試験第1回 実技科目	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分

第11回	第3章 確認問題 模擬試験第1回 知識科目 模擬試験第2回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第12回	第5章 確認問題 模擬試験第2回 知識科目 模擬試験第3回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第13回	模擬試験第1回 知識科目 日商PC模擬試験（実技） ダウンロード: 商工会議所 ネット試験システム インストーラー	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第14回	日商PC模擬試験（実技）模擬試験 1 知識科目問題集 共通分野 1 - 1 0 日商PC模擬試験（実技）模擬試験 2	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第15回	日商PC検定試験 文書作成3級解説 教科書 模擬試験問題 2 知識科目	
	【予習】第1章から第8章・模擬試験 1 ～ 3 までを見直す	20分
	【復習】試験結果の反省 追再試験の対象者へ レポート課題指示	25分

授業科目名	情報処理演習				科目コード	W521-32			
科目区分	教養科目 - 人間と社会			担当教員名	吉牟田 裕				
実務経験									
開講時期	1年後期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)	生活と情報			後継科目					
関連科目	医療・福祉とICT								
資格等 取得との関連									
授業の概要	効果的なデータの活用について学びます。生活と情報で学んだ表計算の基礎を発展させ、福祉施設や企業でのデータ数値の分析をできるよう応用力を養います。なお、日商 P C 検定データ活用3級の資格取得を目指す。								
学習目標	日商PC検定データ活用3級は、売上などの粗(RAW)データから商品や支店ごとの単純集計や、ピボットテーブルを使ったクロス集計が出題されます。本演習では、日商PC検定データ活用3級資格取得に足るデータ活用能力を身につけることを目標とします。								
キーワード	パソコン、表計算、単純集計、クロス集計、データ分析								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト＆問題集 Excel 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する応用知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 日商PC 3 級の問題（文書作成・データ活用）の問題を解いてみる	
	【予習】	0分
	【復習】学習ファイル（fpt2011.zip）をダウンロードし、解凍しておく。 わからなかったところを調べてみる・難しかったところを復習する。	45分
第2回	取引の仕組みと業務の流れ(1) 取引の仕組み	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第3回	取引の仕組みと業務の流れ(2) 業務の流れ 【確認問題】	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第4回	取引の仕組みと業務の流れ(3) 取引で使用する書類 共通分野 問題 1-10	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	取引の仕組みと業務の流れ(4) 財務諸表	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第6回	業務に応じた計算・集計処理(1) 基本的な計算処理 業務で使用する計算処理	
	【予習】教科書の該当部分を予習する 前回まで	45分
	【復習】	0分
第7回	業務に応じた計算・集計処理(2) 業務で使用する集計処理	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第8回	業務データの管理 第2章 確認問題	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第9回	表の作成(1) データ入力 / 書式設定 / 表示形式	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第10回	表の作成(2) 相対参照と絶対参照 票の編集	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分

第11回	表の作成・確認問題	
	第3章 確認問題	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	15分
	【復習】確認問題	30分
第12回	データの集計	
	【予習】第3章確認問題	0分
	【復習】確認問題	45分
第13回	グラフの作成	
	【予習】	0分
	【復習】確認問題	45分
第14回	模擬試験（第1回） 知識問題回答フォーム	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験 日商PC模擬問題 3-1 日商PC模擬問題 3-2	45分
第15回	模擬試験（第2回） 知識問題回答フォーム 日商ネット模擬試験	
	【予習】	0分
	【復習】模擬試験（第1回～第3回）の復習日商PC模擬問題 4-1 日商PC模擬問題 4-1 日商PC模擬問題 4-2	45分

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W521-40				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	社会保障論、高齢者福祉論、障害者福祉論、地域福祉論　・								
資格等 取得との関連									
授業の概要	テキストを毎回一章ごと進めていきながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用しながら、後期末となる1月末までに1回以上参加して、感想をレポートにまとめることも課題とします。								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	「初めて学ぶ地域ボランティア活動」小倉常明・松藤和生　著　KT福祉研究所								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を身につけている。								
LO-3	ボランティアとはどういう行為なのか考え、その場にふさわしい行動をとれる。また、言葉でも表現できる。								
LO-4	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて、自分なりに思いを深めるなどの取組みができています。								
LO-5	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に共感できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	成績は、学科で指定するボランティア活動のいずれかに参加して、その感想を提出してもらうことを含めます。指定の活動は別途案内します。併せて、授業で扱った章のいずれかを選んで、自分で掘下げたレポートも出してもらいます。「その他」の評価対象は授業態度です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格、理念などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章と第2章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や類似の用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	45分
第2回	ボランティア活動の歴史について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアの歴史をまとめておく。	45分
第3回	ボランティア活動の歴史について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】インターネットで日本における篤志家の活動を探し、それぞれの趣旨や目的などを把握しておく。	45分
第4回	ボランティアに関する法と制度を学ぶ。	
	【予習】富山県民ボランティア総合支援センターのホームページで、県内のNPO法人の登録状況を見てくる。	45分
	【復習】ボランティア活動を支援する法と制度をまとめてみる。	45分
第5回	ボランティア活動のさまざまな担い手について理解する。	
	【予習】収集ボランティア活動について調べておく。	45分
	【復習】。ボランティア推進組織について整理しておく	45分
第6回	ボランティア関係機関について理解する。	
	【予習】社会福祉協議会のボランティアセンターについて調べておく。	45分
	【復習】ボランティア推進組織について整理しておく。	45分
第7回	地域社会とボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】住んでいるまちの自治会活動における福祉活動を調べておく。	90分
	【復習】自治会が取り組む福祉活動をまとめておく。	90分
第8回	社会福祉施設とボランティア活動について理解する。	
	【予習】自分の住んでいる地域の施設にどのようなボランティアがあるかを確認してくる。	45分
	【復習】施設ボランティアの長所と短所をまとめる。	45分
第9回	障害者スポーツ大会について理解する。地域社会とスポーツにおけるボランティアについて理解する。	
	【予習】地元では、どんな組織や団体で、どんなスポーツボランティアが活動しているかを押さえてくる。	45分
	【復習】身近な地域でのスポーツボランティア活動の様子や障害者スポーツ大会の実際を調べてまとめる。	45分
第10回	災害支援とボランティアの関りを学ぶ	
	【予習】過去の災害時におけるボランティアの存在意義や役割を調べてくる。	45分
	【復習】直近の災害現場で行われているボランティア活動を調べてまとめておく。	45分

第11回	企業の社会貢献活動とボランティアの関りを考える。	
	【予習】経団連のホームページで、大手企業の社会貢献活動の様子を見てくる。	45分
	【復習】社会貢献活動に取り組む企業の様子をまとめておく。	45分
第12回	国際的なボランティア活動について理解する。	
	【予習】県内のNGOについて調べてくる。	45分
	【復習】国際委ボランティア活動について学んだことを整理しておく。	45分
第13回	ボランティアコーディネーターとボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】ボランティアコーディネーターの活動の様子を調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアコーディネーターが果たす役割をまとめる。	45分
第14回	有償ボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】有償ボランティア活動について、各自で調べてくる。	45分
	【復習】各地の有償ボランティアの様子を整理する。	45分
第15回	これからのボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】ボランティアサポーターや福祉教育アドバイザー制度などについて調べてくる。	45分
	【復習】ボランティア活動の可能性についてまとめてみる。	45分

授業科目名	教養演習				科目コード	W521-50			
科目区分	教養科目 - 人間と社会			担当教員名	吉牟田 裕 関 好博				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	演習				
必修・選択	必修			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	総合的研究								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	担当教員ごとに少人数を割り振ってのゼミクラス方式を取り入れての学習を進める。基礎的な学習をまず合同でおこなった後、グループに分かれてそれぞれの設けたテーマでの調査をおこない、その結果をもちよっての発表会を開催する。								
学習目標	学生の自発的・主体的な学習意欲の喚起と、教員やクラスメイトとの交流によるチームワークづくり、さらには短大生として求められる基礎的な国語能力の修得など。								
キーワード	導入教育								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	大学生としての基礎的な国語能力と調査に関する知識を習得している。								
LO-2	読み書きや聴き話し、さらには人前での発表に関する力を修得している。								
LO-3	聴く、話すの両面において、その場にふさわしい態度で演習課題に取り組める。								
LO-4	学習意欲や向上心を持ち、自主的・主体的調査研究に必要な学習態度を身につける。								
LO-5	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			150			30	20		200
LO-1			75			15	10		100
LO-2			15						15
LO-3						15			15
LO-4			30						30
LO-5			30				10		40
備考	LO-5は担当教員による、発表会までの取組み方での評価をもとにおこなう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（教養演習のテーマとねらい、過去の発表の様子など）	
	【予習】なし	0分
	【復習】本日の過去の教養演習の発表内容を参考にしつつ、自分の発表内容の題材について考える	60分
第2回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解する	
	【予習】これまでの教養演習の成果物を読んでおく	45分
	【復習】資料	60分
第3回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解し、自分の研究のテーマを考える	
	【予習】自分の研究のテーマを考える	45分
	【復習】資料	60分
第4回	新聞の読み方について学び、自分の興味関心のある記事を見つけ出し次回の授業にて発表する	
	【予習】新聞に関心を持ち、記事を読む習慣を身に着ける	30分
	【復習】自分の関心のある記事についてインターネットなどで調査する	60分
第5回	前回の授業を受けて各自が調査した内容を発表し意見交換を行う	
	【予習】各自が調査した内容のプレゼンテーション準備	30分
	【復習】意見交換のまとめ	60分
第6回	各自の興味関心あるテーマについて意見交換し、各自テーマを決定する。	
	【予習】各自の興味関心あるテーマをリストアップする	30分
	【復習】意見交換し、各自テーマを決定する。	60分
第7回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第8回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第9回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第10回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分

第11回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第12回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】調査の準備	30分
	【復習】調査のまとめ	60分
第13回	調査結果を基にしたグループ発表	
	【予習】発表の準備	30分
	【復習】発表の振り返り	90分
第14回	調査結果を基にした個人発表	
	【予習】発表の準備	30分
	【復習】発表の振り返り	90分
第15回	グループ毎の振り返りとまとめ	
	【予習】発表の振り返りのプレゼンテーション準備	30分
	【復習】なし	0分

授業科目名	英語			科目コード	W531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語		担当教員名	山西 宏明 デイヴィッド・ホーズリー					
実務経験	国際協力機構（JICA）やNGOでの海外駐在経験があり、それらの業務を通じて得られた知識・経験を、英語の授業で還元することを意識して指導を行う。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	キャンパス＆ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連									
授業の概要	山西：英語4技能をフルに活用しながら、ケアワーカーに必要な英語を楽しく学びます。 Horsley：Lessons are communicative and student-centered. Students often work in pairs or groups of three. Lessons contain a textbook component and a conversation component. The conversation component is at the end of the class and based on a discussion point presented in the textbook.								
学習目標	山西：福祉に関する基礎的な英語を習得して、活用できるようになる。 Horsley：Students will use the English they have studied to communicate and express themselves with improved intonation and blending skills.								
キーワード	語彙 文法 福祉								
テキスト・ 参考書等	山西/Horsley: A Helping Hand, by Masako Shimizu, NAN'UN-DO Co., Ltd								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語の基本的な語彙と表現を修得している。								
LO-2	【技能】短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】英文を読み、自分の考えを英語または日本語で表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20				30	20	30	100
LO-1		10				10		10	30
LO-2		10				10			20
LO-3						10			10
LO-4							10	10	20
LO-5							10	10	20
備考	【授業担当者】前半7回は山西、後半8回はHorsleyが担当します。								
	【成績評価方法】 山西：第7回の授業時に筆記試験（60％＝その他A）を行い、授業での発表・取り組み姿勢・ウェブシラバス記入（40％＝								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Unit 1: The Four Keys to Successful Caregiving (前半) 7ページの 1 Vocabulary Checkの予習・答え合わせ。6ページに戻り英文和訳をする。構文や難しい表現を黒板に記入します。 授業の進め方の説明。パソコン準備。	
	【予習】7ページの 1 Vocabulary Checkの予習・	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第2回	Unit 1: The Four Keys to Successful Caregiving (後半) 前回の授業の復習、P 9 の単語の練習、P 8 の対話文の内容の理解と練習	
	【予習】前回の授業の復習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第3回	Unit 2: Using Mobility and Lifting Aids (前半) Checkの予習・答え合わせ。10ページに戻り英文和訳をする。構文や難しい表現を黒板に記入します。 授パソコン準備。11ページの 1 Vocabulary	
	【予習】11ページの 1 Vocabulary Checkの予習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第4回	Unit 2: Using Mobility and Lifting Aids (後半) 前回の授業の復習、P13の単語の練習、P12の対話文の内容の理解と練習	
	【予習】前回の授業の復習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第5回	Unit 3: Helping People with Meals (前半) Vocabulary Checkの予習・答え合わせ。14ページに戻り英文和訳をする。構文や難しい表現を黒板に記入します。 パソコン準備。15ページの 1	
	【予習】15ページの 1 Vocabulary Checkの予習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第6回	Unit 3: Helping People with Meals (後半) 前回の授業の復習、P17の単語の練習、P16の対話文の内容の理解と練習	
	【予習】前回の授業の復習	60分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第7回	Unit 4: Helping People Use the Toiletと確認テスト (Unit1 ~ Unit4) 前半はUnit4の単語や重要表現の解説。後半は確認テスト実施。	
	【予習】確認テストに向けた準備	180分
	【復習】筆記試験の見直し	60分
第8回	Unit 5 授業では次の活動を行います。 マッチング活動 (語彙を増やすことが目的) 毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check. (教科書の長文と、理解度確認チェックを行います)	
	【予習】	0分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第9回	Unit6 授業では次の活動を行います。 マッチング活動 (語彙を増やすことが目的) 毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check. (教科書の長文と、理解度確認チェックを行います)	
	【予習】	0分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第10回	Unit7 授業では次の活動を行います。 マッチング活動 (語彙を増やすことが目的) 毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check. (教科書の長文と、理解度確認チェックを行います)	
	【予習】	0分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分

第11回	Unit8 授業では次の活動を行います。 マッチング活動（語彙を増やすことが目的）毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check.（教科書の長文と、理解度確認チェックを行います）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第12回	Unit9 授業では次の活動を行います。 マッチング活動（語彙を増やすことが目的）毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check.（教科書の長文と、理解度確認チェックを行います）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第13回	Unit10 授業では次の活動を行います。 マッチング活動（語彙を増やすことが目的）毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check.（教科書の長文と、理解度確認チェックを行います）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第14回	Unit11 授業では次の活動を行います。 マッチング活動（語彙を増やすことが目的）毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check.（教科書の長文と、理解度確認チェックを行います）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第15回	評価テスト 授業では次の活動を行います。 マッチング活動（語彙を増やすことが目的）毎回、マークシートを配布します。 リーディングとComprehension Check.（教科書の長文と、理解度確認チェックを行います）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分